

山 北 町
第6次総合計画策定に関する
町民アンケート調査 報告書

令和5年3月
山 北 町

目次

I 調査概要	1
II 調査結果	3
1 ご自身のことについて	3
(1) 性別	3
(2) 年齢（令和5年2月1日現在）	3
(3) 居住地区	4
(4) 山北町以外の居住経験	5
(5) 山北町の居住年数	5
(6) 幸せ度	6
2 まちの印象について	8
(7) 山北町に住むようになった理由	8
(8) 山北町は住みよいところだと思うか	9
(9) 山北町に住み続けたいと思うか	32
3 まちのこれまでの取り組みについて	34
(10) 23の取り組みの満足度・重要度	34
4 人口減少・少子高齢化対策について	41
(11) 山北町の人口対策をどのようにしたら良いと思うか	41
(12) 山北町の人口を増やすまたは減らさないために大事だと思うこと	42
(13) 推進すべき定住施策	43
(14) 山北町が力を入れるとよい対策	45
5 協働のまちづくりについて	47
(15) 自治会・地域コミュニティ活動で感じていること、気になること	47
(16) あなたが積極的に参加したいと考えるまちづくり活動	50
(17) 参加したいと思わない理由	52
6 防災について	53
(18) 自治会（自主防災組織）で定めている一時避難場所の認知度	53
(19) 避難情報などの防災に関する情報	54
(20) 日ごろから備えている災害対策	55
(21) あなたの近所に自力で避難できない人がいるか	57
(22) 今後、山北町がすすめるべき優先順位の高い防災対策	58

7	まちからの情報発信について	60
	(23) 山北町に関する情報の入手手段	60
	(24) 町政について日ごろから知りたいと思っている情報	62
	(25) どのような機器を使用しインターネットを利用しているか	64
	(26) 利用しているSNS	66
	(27) SNS等を活用した山北町からの情報提供や収集への関心	67
	(28) 地域社会のデジタル化が進むなかで期待すること	68
8	教育について	69
	(29) 山北町の教育の関心度	69
	(30) 課題と感ずること	70
	(31) 課題を解決するために必要な対策	71
9	生活環境について	72
	(32) 必要な環境にやさしいまちづくりの取り組み	72
10	土地の利活用について	73
	(33) 開発と保全についての考え	73
	(34) 土地の利用について特に重要な取り組み	75
11	生活交通について	77
	(35) 普段利用している交通手段・主な利用駅	77
	(36) 日常生活において交通手段に困っていること	79
	(37) 新たな整備・拡充を望む交通手段	81
	(38) 「新東名高速道路（仮称）山北スマートインターチェンジ」に、期待する効果	82
12	産業について	83
	(39) 山北町の将来を考えた場合の農林業	83
	(40) 山北町の今後の工業についての考え	85
	(41) 山北町にとって望ましい商店街	86
	(42) 活用し整備するのが望ましい山北町の観光資源	88
13	SDGsについて	90
	(43) SDGsの17のゴールでの考え	90
14	今後のまちづくりについて	93
	(44) 感染症によって私たちの生活スタイルが変化する中、今後重要だと思うこと	93
	(45) まちづくりを進めていく中で、特に力を入れてほしいこと	94
	(46) 自由意見 未来の山北町について	103
	(47) 自由意見 総合計画で町が取り組むべき施策や提案したい事業について	118

I 調査概要

1 調査目的

アンケート調査により町民の皆さんからご意見を頂き、令和6年度（2024年）から始まる「山北町第6次総合計画」に反映するための基礎資料とするために実施しました。

2 調査項目

No.	項目	町民アンケート	職員アンケート
1	ご自身のことについて	○	○
2	まちの印象について	○	—
3	まちのこれまでの取り組みについて	○	○
4	人口減少・少子高齢化対策について	○	○
5	協働のまちづくりについて	○	—
6	防災について	○	○
7	まちからの情報発信について	○	○
8	教育について	○	—
9	生活環境について	○	○
10	土地の利活用について	○	○
11	生活交通について	○	○
12	産業について	○	○
13	SDGs について	○	○
14	今後のまちづくりについて	○	○

3 調査方法

	町民アンケート	職員アンケート
調査対象	満18歳以上の町民（3,000名）	山北町役場職員
抽出方法	無作為抽出	全数
調査方法	郵便配布・郵便回収	庁内配布
調査期間	令和5年2月14日(火)～3月6日(月)	令和5年4月3日(月)～4月14日(金)

4 回収状況

	町民アンケート	職員アンケート
発送数	3,000	—
回収数	1,273	152
有効回収数※	1,271	152
有効回収率	42.40%	—

※有効回収数とは、調査票に記入がない白票や、著しく回答が少ない調査票を除いた数。

5 この報告書の見方

※回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。

※百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。このため、百分率の合計が100%にならないことがあります。

※1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合があります。

※この調査は、無作為抽出により対象者を抽出したので、標本誤差は次式で近似できます。

$$\varepsilon = 2 \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

ε : 標本誤差
 n : 標本の大きさ
 P : 回答比率

※回答者総数（3,000人）を100%とする質問で、ある回答選択肢に対する回答比率が50%であるとする、母集団（18歳以上の山北町民全体）の回答比率は47.2%～52.8%の間であると推定されます。

回答比率	標本誤差
50%	±2.8%
60%または40%	±2.8%
70%または30%	±2.6%
80%または20%	±2.2%
90%または10%	±1.7%

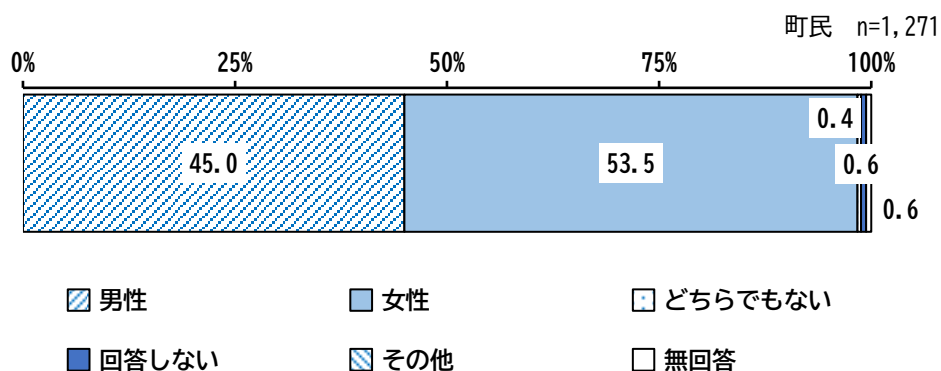
II 調査結果

1 ご自身のことについて

(1) 性別

Q：あなたの性別を教えてください。(○は1つだけ)

【町民F 1、職員ー】

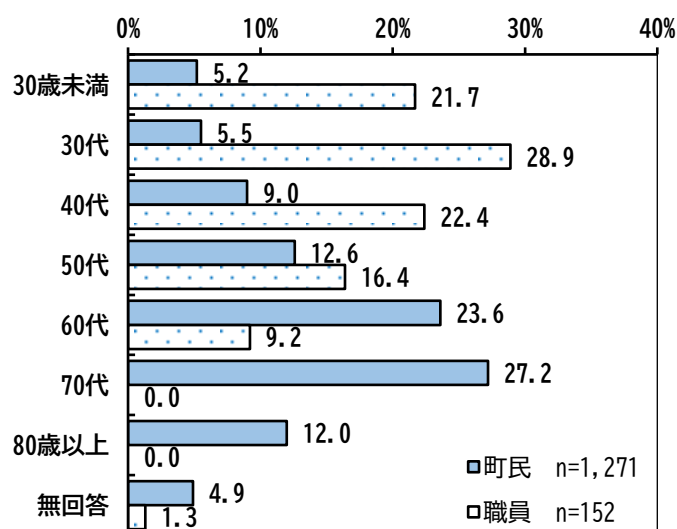


町民：「女性」53.5%が最も多く、以下「男性」45.0%、「回答しない」0.6%、「どちらでもない」0.4%となっています。

(2) 年齢（令和5年2月1日現在）

Q：あなたの年齢（令和5年2月1日現在）を教えてください。(数字を記入)

【町民F 2、職員Q 1】

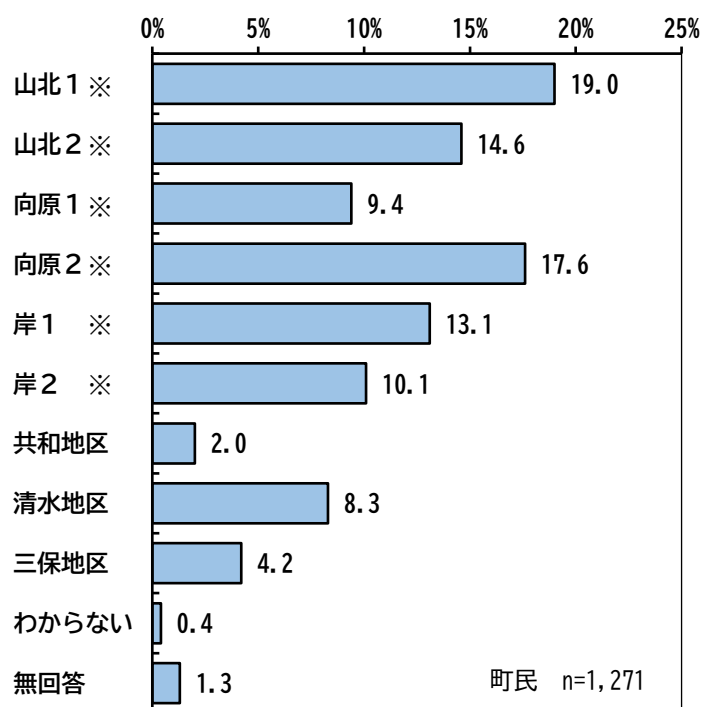


町民：「70代」27.2%が最も多く、以下「60代」23.6%、「50代」12.6%、「80歳以上」12.0%、「40代」9.0%となっています。

(3) 居住地区

Q：お住まいの地区を教えてください。(○は1つだけ)

【町民F3、職員-】



町民：「山北1」19.0%が最も多く、以下「向原2」17.6%、「山北2」14.6%、「岸1」13.1%、「岸2」10.1%となっています。

※地区内訳

山北1 (平山、台、萩原、萩原下、馬場、田中、鶴野、鶴野南、上清水、中下清水、堂山)

山北2 (田屋敷、万随、根下、城山、宮地、仁道、怒杭文化)

向原1 (尺里西、尺里中、尺里東、高松、山下)

向原2 (上本村、下本村、本村東、村雨、前耕地、水上)

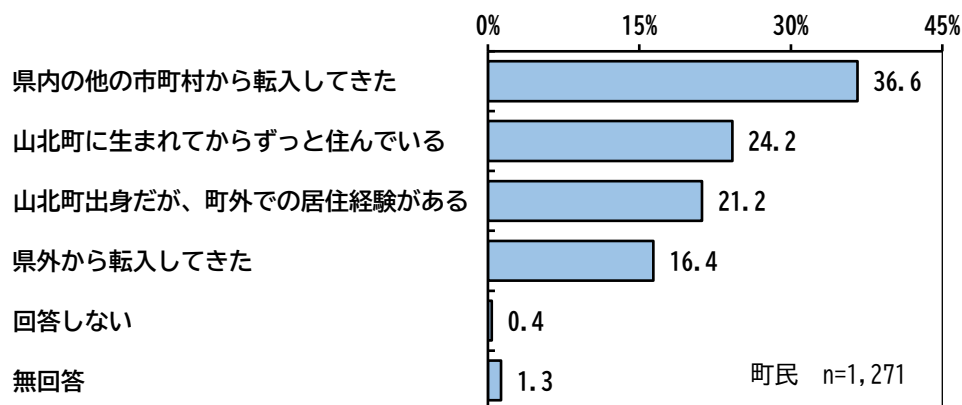
岸1 (越地、南原、湯坂)

岸2 (宿、斑目、原耕地)

(4) 山北町以外の居住経験

Q：山北町以外に住んだことはありますか。(○は1つだけ)

【町民F 4、職員ー】

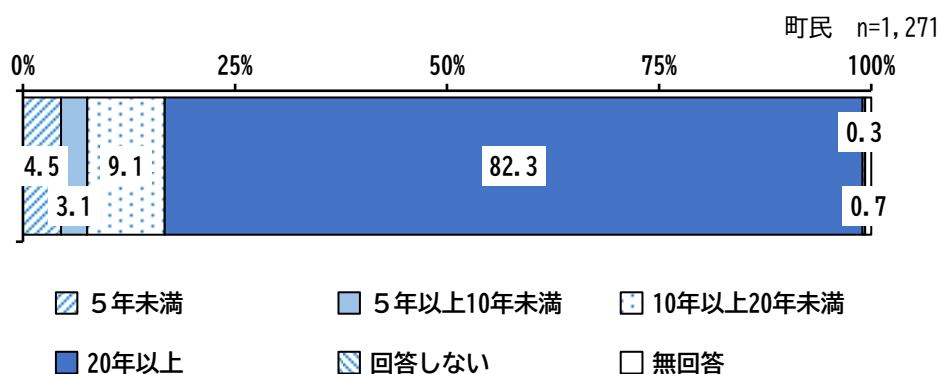


町民：「県内の他の市町村から転入してきた」36.6%が最も多く、以下「山北町に生まれてからずっと住んでいる」24.2%、「山北町出身だが、町外での居住経験がある」21.2%、「県外から転入してきた」16.4%、「回答しない」0.4%となっています。

(5) 山北町の居住年数

Q：山北町の居住年数を教えてください。(○は1つだけ)

【町民F 5、職員ー】



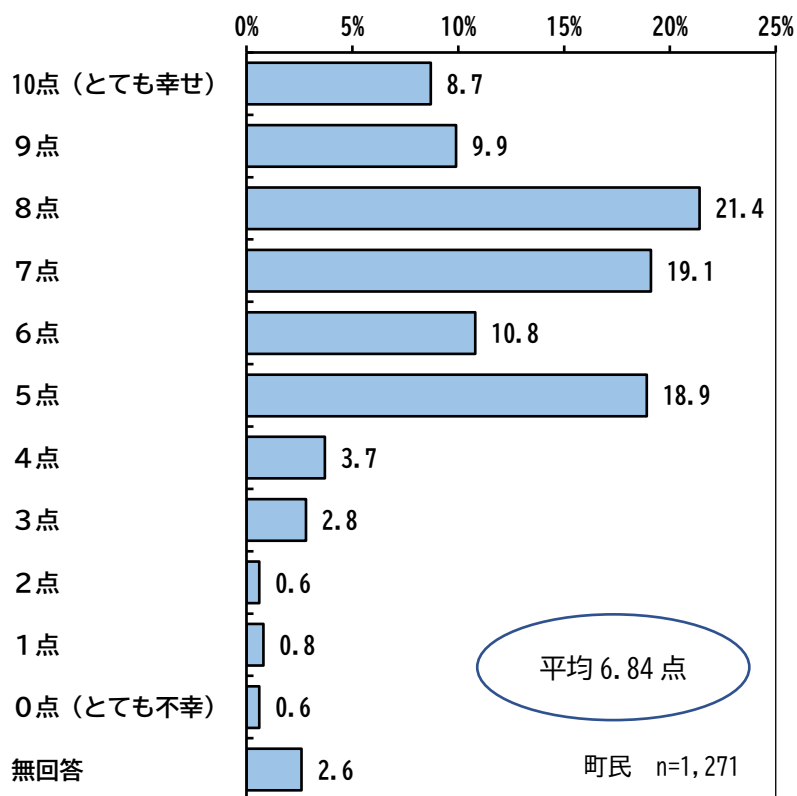
町民：「20年以上」82.3%が最も多く、以下「10年以上20年未満」9.1%、「5年未満」4.5%、「5年以上10年未満」3.1%、「回答しない」0.3%となっています。

(6) 幸せ度

Q：あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は点数に1つだけ)

【町民F 6、職員ー】

※「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、ご記入ください。



町民：「8点」21.4%が最も多く、以下「7点」19.1%、「5点」18.9%、「6点」10.8%、「9点」9.9%となっています。

クロス集計 地区別

(単位：%)

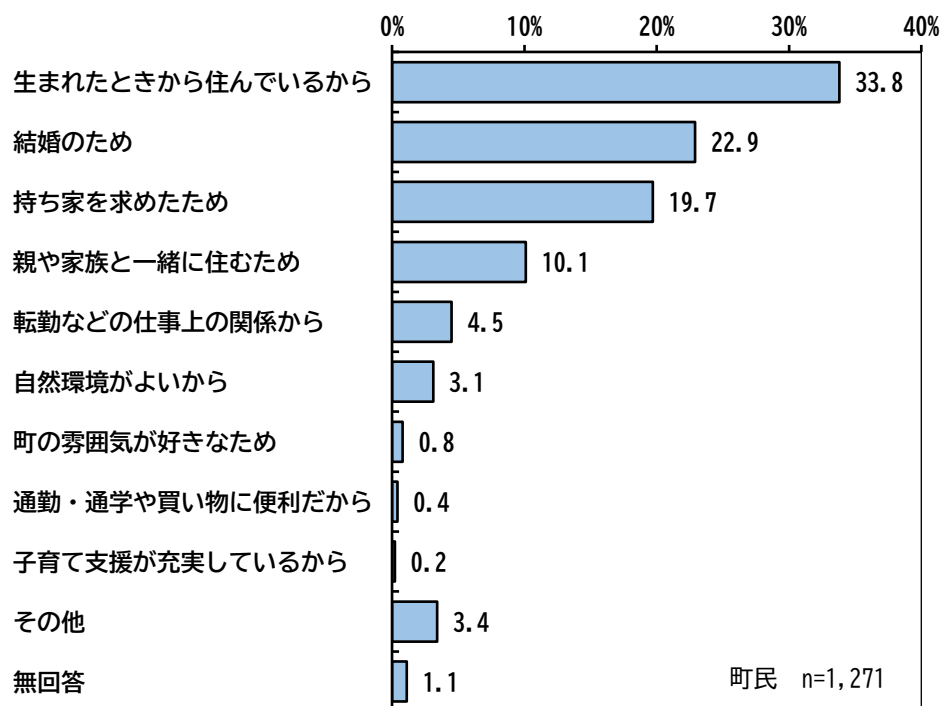
	調査数 (人)	10点 (とても幸せ)	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点 (とても不幸)	無回答	平均 (点)
全体	1,271	8.7	9.9	<u>21.4</u>	19.1	10.8	18.9	3.7	2.8	0.6	0.8	0.6	2.6	6.84
山北1	242	7.0	10.3	17.4	19.0	12.8	<u>23.6</u>	4.1	2.5	0.0	0.8	0.4	2.1	6.68
山北2	185	8.1	5.9	21.1	20.0	10.3	<u>21.6</u>	3.2	3.8	0.0	0.5	1.1	4.3	6.67
向原1	120	10.8	11.7	<u>20.0</u>	17.5	11.7	16.7	5.0	1.7	0.8	0.0	0.8	3.3	6.99
向原2	224	8.5	13.4	<u>28.1</u>	19.2	7.1	14.7	2.2	2.7	0.4	0.4	0.9	2.2	7.16
岸1	166	10.8	10.8	<u>22.9</u>	16.9	12.0	18.7	3.0	2.4	0.0	1.2	0.0	1.2	7.02
岸2	129	13.2	7.0	<u>22.5</u>	19.4	10.1	15.5	5.4	1.6	2.3	0.8	0.0	2.3	6.96
共和地区	26	7.7	3.8	19.2	<u>23.1</u>	11.5	15.4	11.5	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.42
清水地区	105	3.8	9.5	21.9	<u>24.8</u>	10.5	20.0	1.0	2.9	1.0	2.9	1.0	1.0	6.59
三保地区	53	7.5	11.3	11.3	<u>18.9</u>	17.0	<u>18.9</u>	7.5	3.8	1.9	0.0	0.0	1.9	6.54

2 まちの印象について

(7) 山北町に住むようになった理由

Q：山北町に住むようになった理由を教えてください。(○は主なもの1つだけ)

【町民Q1、職員-】



町民：「生まれたときから住んでいるから」33.8%が最も多く、以下「結婚のため」22.9%、「持ち家を求めたため」19.7%、「親や家族と一緒に住むため」10.1%、「転勤などの仕事上の関係から」4.5%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査

(単位：%)

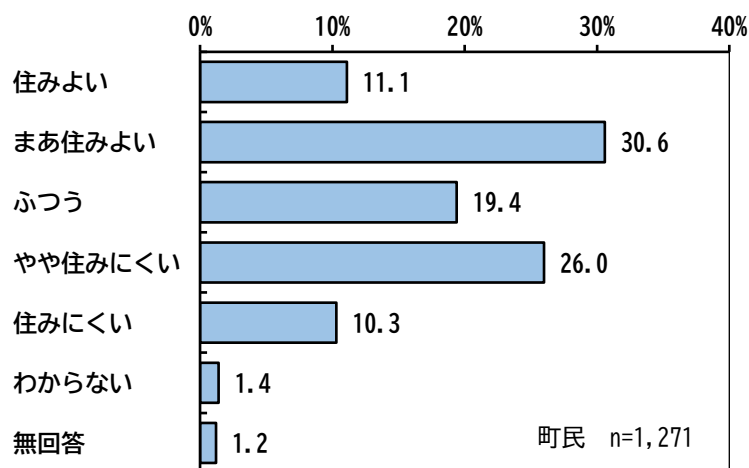
	調査数 (人)	生まれたときから住んでいるから	結婚のため	持ち家を求めたため	親や家族と一緒に住むため	転勤などの仕事上の関係から	自然環境がよいから	町の雰囲気が好きのため	通勤・通学や買い物に便利だから	子育て支援が充実しているから	その他	無回答
R5調査	1,271	33.8	22.9	19.7	10.1	4.5	3.1	0.8	0.4	0.2	3.4	1.1
H30調査	1,307	37.1	22.0	18.4	10.9	4.3	2.6	0.3	0.3	0.6	3.0	0.5

(8) 山北町は住みよいところだと思うか

Q：山北町は住みよいところだと思いますか。(○は1つだけ)

【町民Q2、職員－】

また下段に、「なぜそう思うか」理由を具体的にご記入ください。



町民：「まあ住みよい」30.6%が最も多く、以下「やや住みにくい」26.0%、「ふつう」19.4%、「住みよい」11.1%、「住みにくい」10.3%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査

(単位：%)

	調査数 (人)	住みよい	まあ住みよい	ふつう	やや住みにくい	住みにくい	わからない	無回答
R5調査	1,271	11.1	<u>30.6</u>	19.4	26.0	10.3	1.4	1.2
H30調査	1,307	12.9	<u>25.8</u>	24.0	22.3	11.6	1.5	1.8

「住みよい」と思う理由

- 強風がない。
- 自然豊かだから。
- 環境が良く学校給食が充実している。
- 自然が多く有名な観光地も近いから。
- 車を運転できる今は、職場も近く、買い物にも困らないので。
- ご近所との付き合いの中で色々なことが分かる。
- 清水で生まれ育ち、結婚・勤めも山北。大好きな清水山北自然に恵まれ皆さんの絆、強く心のあた
いから。
- 自然がありがたか。
- 災害等が少ないため。
- 生活しやすい。
- 山々の景色、丹沢の水など、自然が豊かで充足していると感じる。
- 近くにドラッグストア、スーパーマーケットがあり便利です。自然環境が良く、まちとの距離感も
良く、満足しています。
- 自然もいっぱいあり、子育て支援がしっかりしているから。
- 近所の方が助け合うところ。
- 豊かな自然の中で子育てができる。水が美味しい。買い物ができる。車さえあれば不便を感じない。
- 自然環境、空気、音、色々な生物。星がきれいに見える事。人との接することが少ない。
- 駅が近いし近くにスーパー、ドラッグストアがあるので住みよいです。本当によかったです。
- 自然が豊かで、気候が良い。
- 災害が少ない。周りの環境が良い。
- ずっと住んでいて不便がないから。
- 人混みがないから。
- 住み慣れた土地だから。
- 自然が良い。
- 不便だがそれ以上に自然が豊かで落ち着く。
- 環境が良くて気候が良い。
- 大井松田 I C まで近いこと。東山北で 90% の買物が完結すること。
- 住めば都。
- 自然環境が抜群でどこへでかけるにも立地条件がちょうどよい。
- 自然が豊かで、空気が良いから。
- 最初は不便さを感じていたが、子育てすることにより、町からのサポートが他市町村より手厚い。
- 自然環境がよいから。
- 都心が遠くないが自然が豊かなので。
- 川も近くにあり、散歩にも良い。
- 自然災害もなく、穏やかな人間関係で家族も安心して各々成長しています。
- 交通量が少ない。
- 他町での生活は一切ないので、山北町が一番だと思っています。

- 鉄道、買い物、日帰りで東京に行ける自然がいっぱい。畑ができる等ありがたいです。
- 生活環境が良いため。
- 幼稚園又は学校に行き、そして環境の良い生活ができればできることならば良いことではないかと思う。
- 個人的な思いですが、スーパー等が近くにあり、今のところ日常の生活には便利と思っています。山北は環境も良い市、心豊かに暮らせると思います。
- 自然が多い。
- 昔から住み慣れているから。
- 気候が良いから。
- 自然環境が良く子育てに最適。大人も人の密度が低く落ち着ける。空気が良い。
- 車があれば便利。
- 福祉や子育てに手厚く穏やかな生活ができるため。
- 自然が豊かで人情味が厚いからです。
- 自然があり、都心にも比較的出やすい。買い物にも不便はあまりなく満足している。
- 自然環境が良い。
- 静かでもいいが、買い物が不便、飲食店がない。
- 静かでのんびり暮らせるから。
- 温暖であるから。
- 自然がたくさんあるからです。
- 自然が多い。交通の便は良いとは言えないが、車があれば不便は感じない。子育てもしやすいと思う。
- 富士山が見える。
- 自然がある。ご近所さんがよい。交通の便も歩けるうちは良い。車の運転ができるうちは良い。
- 交通の便が悪いと感じる時もあるが、今は車で動ける。老後は心配もするが、町も具体的に考えてくれると期待する。
- 穏やか。
- 自然だから。
- 静か。自然が多い。市街地まで近い。交通の便が意外と良い（新幹線近い）。
- 住めば都、長い間住んでいて、他は分からない。
- 自然も豊かで買い物にも困らない、生活しやすい。
- 自然に恵まれていて、交通（公共）や買い物に少しの不便は感じますが、自家用車さえあれば生活の不便さはなく、水も豊富で気候も良好。
- 山北町の自然は特別です。どこを歩いても気持ちが良いです。
- 買い物に不便（食品の店が無い、乗り物不便）。
- 自然に恵まれている。

「まあ住みよい」と思う理由

- 自然環境が良い。
- 生まれてからずっと住んでいるので慣れているから。
- 都心部に近く、アクセスは悪くない。
- 自然豊かで水・空気が良い。でもお店が少ない。
- 自然が多く良いが、お店が少ない。
- 一応、電車も通っていて、近くにスーパーなども出来たから。
- 子育てしやすい。
- 今は車があるので不便を感じません。友人、仲間が多数いるため（趣味活動に参加すると仲間がどんどん増えた）。
- 生まれてから山北町以外に住んでいないため、他の町は分からない。
- 自然が多く、のんびり暮らせる所。
- 公共交通の便問題。
- 自然に恵まれているところ。
- 交通、買い物はやや不便。
- 田舎の良さと自然の良さ。
- 車がないとどこにも行けませんが、都会にはない自然が大きい公園があつてよい。
- 自然豊かでのんびり生活ができる。
- 気候が穏やかなため。
- 自然環境に恵まれている。
- 自然
- 自然が多い。車がないと不便なところもあるが、心地はよい。
- 環境も良く、長年住んでいるから。
- お年寄りにやさしい町だから。
- 不便そうに思うが、今は車があればそれほど問題ないので。
- 水、空気がきれい。
- 気候的にはとても穏やかで住みやすく災害などもあまりないので。
- マイカー（車）時代になって、自分の好きな事をできる。そして地域の人が皆気楽であります。
- 特に理由はなし。
- 町外に出なくとも暮らすことが可能だから。
- 季節感、自然は心地よいですが、車を運転できなくなったら？バスなど配達など力を入れてほしい。
- ほどほどの田舎の環境で、住みやすく、スーパーなども出来て生活しやすくなったから。
- 天候もよし、災害もなし。
- 虫が多く電車が少ない。
- 一通りの施設がある。
- 人が優しい、空気が美味しい。
- 交通の便が悪く不便だが、環境は良いので住みやすい。
- 自然豊か。
- 交通の便が悪い。

- 自然がたくさんある。
- 近所づきあいが近すぎず、遠からずで、ちょうどよい。
- 犬や動物と住んだりは大変良い。
- 環境が良いから、人が良い。
- 電車があるため。
- 郊外型の暮らしがしやすい。
- 静かなところ。多少時間はかかるが都会にも出かけられる。昔からの近所づきあいも変わらない。
- 特に不満を感じていない。
- 以前は松田に行くバスがあったが、無くなって、駅までは歩きが大変になった。
- 今のところ運転できるから。
- 不便を感じないから。
- 人間関係は鬼も角、静かな自然が良い。
- 近くにお店がある。病院もある。今は運転ができるので、住みよい。
- 自然豊かで静かな町である。
- 自然が豊かだから。
- 通勤に便利だから。
- よそから来た人は住みにくいと思うが住めば都です。
- 不便な点はあるが子育てしやすい。
- 温暖であること。子育て支援が充実している。
- 歩いて行ける所にスーパーがある。
- 自然環境、商業施設もやや整い、日常生活が成り立つ。
- 自然環境が良い。
- 住み慣れたので悪くはない。
- 自然環境がよく、治安も良い。
- 自然がある。
- 今は車も乗れる。
- ご近所さんづきあいがまあ良い。
- ガソリン代がかかる。ラジオ、テレビの電波が悪い。
- バスが少なすぎる。それ以外は特になし。
- 神奈川県内で程々便利。
- 治安の良さ。
- 山北町で生まれ住んでいる人が多いので安心できる面はあるが、若い人たちにとって、職場、教育、交通の点において不満があると思う。
- 三保地区に住んでいた時はとても不便に感じていたが、向原地区に越してからは不便なく生活できている。
- 自然豊か、子どもたちを温かく見守る大人がたくさんいる。子どもたちがのびのびおおらか。噂話が早く、色々な個人情報知られやすい。安いお店が徒歩圏にない。
- 住んでいてあまり困ったことが無い。

- 都会の喧騒がないが、交通の便が悪い。商業施設も乏しい。
- スーパーやお店が少ない。
- 不便なところ、煩わしいことなども多いが、それもこの町の味。「愛郷心」が強いのかも知れない。
- 災害がない。静かな事。
- 自然環境。
- 自治会、組長等などの役員が無ければ更によし。
- 慣れ親しんだ風景。
- 自然のバランスが良い。
- 道路、商店、交通、緑に恵まれている。
- 緑豊かで空気がきれいである。
- 都心にも出やすく、箱根、丹沢、御殿場に出やすい。程よい田舎な所。
- 自然環境に恵まれている。
- 環境は良いが、交通の便が悪い。車が無ければ生活できない。
- 気候が温暖だから。
- 近くにコンビニが無いところが少し住みにくい。
- 他で暮らしたことが無いので比べられないが、人付き合いはしやすいと思う。しかし交通面が不便。
- 買い物が。
- 自然環境が良く、人間関係も程よい距離間で過ごせる。
- 田舎な感じ。
- 災害が起きることもなく、安全に暮らせるし、スーパーがあるので買い物弱者ではないし、自然豊かでとても良い。
- 買い物に不便あり。
- 人が少なく割と自由だから。
- 通学が不便すぎる。
- 生まれた時から住んでいるから。
- 徒歩圏内の駅があり、スーパードラッグストアがある。
- 自然環境は大変良いが、公共交通が少ない。
- 温暖な気候と程よい田舎ですが、道路インフラが整っており、車移動が便利。ただし、公共交通機関での移動は不便。
- 住み慣れている。もっと良い町に出来ると思う。
- 自分で車を運転できる限り、利便性も良い。
- 買い物が不便。自然が豊かなところが気に入っている。
- 自然が多いからです。
- 自然に恵まれ、今のところは運転ができるので生活にもあまり不便はしない。
- 自然豊かで、まあ住みよいが、電車の本数など少し不便な点はある。
- 子育て支援が充実していると思う。
- 今は車でどこにでも行かれるから、スーパーや買い物に行かれるけど、これから先が。
- 交通の便はやや悪いが、高齢者や子どもが暮らしやすい。
- 交通の便も良く、不便ではないから。
- 自然が好きだから。

- 美味しい水、豊かでのどかな自然、人との程よい距離感。ただ仕事の上では不便なこともある。
- 交通が不便、自治会の役が負担。
- 緑が多く、夜は静かで星がとてもきれい。
- 田舎の穏やかな感じが良い。買い物ができるところが昔より増えた。
- 住めば都です。
- 店がいっぱいできたから。
- 災害が無い。
- 環境はとても良い（自然が多い）が、車が無いとその他の交通手段があまりない。
- 田舎。
- 車が無いと不便。
- 自然が豊かだから。
- 自然が穏やか。
- 近くに店、病院等があり、生活に困らない。鉄道も本数は少ないが有効。
- 本数はともかく御殿場線の駅が2駅あるので町外にも外出しやすい。プールと温泉の施設も近くにあり、町民として手ごろな料金で利用できる。健康のための町の体操教室（ニコニコ）も気に入っています。
- 駅、スーパー、医院が近くにある。
- 車を持って、運転できなくなったら不安がある。
- 現在、健康で仕事も出来ているので、自然もいっぱいのも。
- 自然が豊かである。
- 自然に恵まれている。
- 交通の便が良ければもっと住みやすくなる。
- 東山北駅、スーパーに近くて便利。
- 住む環境は良いが（自然等）、交通の便が悪い。
- 適度な田舎。
- 自然豊かなところ。
- 気候と環境が良い。
- 慣れ。
- 自然豊かなのに各方面（都内など）のアクセスが良い。
- 住み慣れているから。車が運転できれば、そんなに不便な感じはないから。
- 他町に住んだことがないから、比較できない。
- ただ交通の便が少なすぎる。
- 自然がいっぱい。地域力がある。
- 現在まだ車でどこでも行ける状態ですが、高齢者になるにつれて買い物などが不安。
- 自然に囲まれてること。
- 大きな害がなく、空気もよい。ただ人間関係の付き合いが良くない。
- 自然が多く静かな環境が良い。ただ坂道が多いため、冬になると道路が凍る心配がある。
- 車があれば移動に困らず暮らしていけます。静かでいいところだと思います。
- 適切な自然環境、静かな町が良い点。もう少し高齢になったら、店までが遠いことが難。
- 生活環境が良い。

- 買い物にあまり不自由しない。町のバスが出ている。
- 交通や商店の数は不満だが、車があるので何とかなっている。
- 交通の便が悪い（御殿場線）。
- 地域に知り合いが多い。
- 環境的には住みよいが、買い物、病院、通学などの点（移動手段）で不便を感じる。車が運転できなくなったとき不安である。
- 向原に住んでいる限り、スーパー、ドラッグストアなどが歩いて生きる距離にあり、小田急線にも車で15分、246号で都内にもアクセスが良い。そして自然環境が良い。住みやすいトカイナカだと思う。
- 数は少ない物の公共交通機関があるため。
- 自然豊かで、ご近所づきあいも穏やか。ただ買い物や交通の便が良いとは言えない事、年齢が大きくなって感じます。
- 自然が豊か。鉄道の列車本数が少ない。
- 子育て支援が充実しているから。
- ある程度の生活に必要な店、病院、ATM等コンパクトながら揃っている。自然豊かで静かで安全・安心を感じることができる。
- 今は車を運転できているから、色々不都合がないので。
- 周りの人の雰囲気が良い。
- 災害が少ない。
- 気候や人柄が良い。
- 慣れたため。車の運転ができるため。
- 都心へもそこまで遠くないし、車で動けば困ることもない。
- 生まれた時から住んでいるため。
- 自然環境が良い。
- 交通の便が悪い。
- 自然に囲まれ自然災害もなく、綺麗な空気に恵まれている町が住みよい。はじめは不便と感じていたが、今は近くにスーパー、ホームセンター、ドラッグストアもあり、便が良くなった。
- 自然が多く、空気がきれい。静か。
- 水が豊富で災害が少ない。
- 自然が豊かで住民もまあまあ優しい。
- 自然豊か。
- 自然豊か。最近、スーパーなどができ、便利になった。
- 何もなくて良い。週末の渋滞が腹立つ。電車が不便。
- 生まれた時から住んでいて慣れているから。
- 以前は住みよかったが、現在は商店がほとんど開いてなく、買い物に行くにも車が無いと不便である。バスを利用するにも、大きなもの、重たい荷物を持つときは非常に不便だと思う。
- 生まれて山北しか知らないため。
- 車を運転できれば生活には困らない。都心に近く自然豊かだから。
- （車を所有していること前提で）自然が多い。人が少ない。土地勘がある。
- 緑が多く静か。

- 温暖な気候である。
- 少し交通が不便。
- 自然環境が良い。
- 自然環境が良い。
- 周辺に自然が多い。
- 高齢者になり車の運転ができなくなってからの買物をどうしたらよいか。
- 電車やバスがあればもっと住みよくなる。
- テレビが映らない。
- 小田百、クリエイトが出来た事で便利になった。
- 治安がいい。
- 緑が多くて静かだから。
- 自然豊か、温暖。
- 静かで自然もたくさんあり、住みやすいが、町外へのアクセスが悪い。
- 他の所に住んでいなく比較できないため。
- 自然に触れられることが多い。
- 自然が多い。
- 自然が多く、長閑です。
- 近所づきあいがやや煩わしい。
- 風光明媚。
- 適度に田舎。自然があり、ゆったりとした空気感。
- 自然が多く平和。スーパーが少なく、コンビニもないのが残念。
- 自然豊か、渋滞が少ない、緑が多い、山が多い、星がきれい、人口が少ない、富士山に近い。
- 静かで自然豊かではあるが交通の面で必ずしも「住みよい」わけではない。
- 自動車で移動可能な年齢であるので、商店・交通に関して、あまり不便を感じないため。
- 車があれば不自由はない。

「ふつう」と思う理由

- 交通が不便。
- 交通の便が悪くなった。
- 環境は良いが、買い物が不便。
- 東山北は比較的買い物に便利。学校、病院も近い。
- 東名があるけどまあまあ空気がきれい。山・湖が近い。緑が近い。演習の音・草刈りの音がうるさい。都会から遠い。電車が1時間に1本以下。交通の便が悪い。
- 自然があるところは良いけど、店が少なく不便。
- 良いところは、自然がたくさんある。不便なところは、習い事が少ない。子どもが少ない、交通の便が悪い。
- 静かで良い。
- 比較的治安が良く、静かです。空気もきれいな方だと思います。
- 田舎ではあるが、人が親切であり、温暖で再概査少なく、そこそこである。しかし交通の便がよくない。コミュニティバスは路地に入るように。
- ふつうだから、上でも下でもない。
- 車の運転ができないため、移動が限られる。
- 年齢で、車が無いと出かけることが不便。御殿場線が少なく、町外に出かけるのが大変だから。
- 交通の便は悪いが、静かでのどかで生活できるところは良いと思う為。
- お店が欲しい。
- 公共交通機関がもう少し充実していればなと思う。
- 自然が良い。
- 緑が多いところは好きです。
- 交通の便が悪いため。
- 今は良いが、高齢になると買い物に困ってしまいそう。買い物するための移動手段が心配。
- 自分の家は好きだが、まわりの環境が良くない。
- 家の前が町道だが大きな（重量ある）車がもうスピードで通過。家が振動で揺れる（道路に段差があってだが、見回りすらない）。
- 歳をとると住みにくくなりそう。
- 自然豊か、交通の便が悪い。
- 若いころはそんなに不自由とは思いませんが、歳を重ねると不便を感じます。交通、買い物、病院、また坂が多くて歩くのに大変です。
- 住む地域によって交通手段の格差、生活に格差がありすぎる。
- 他が山が無いため。
- 店が少ない。
- 交通の便が悪い。支援が少ない（一面）。近所づきあいが良い。仲間意識が高い。自治会仲良い（十面）。
- 公共交通機関が充実していない。
- 三保地区なので買い物が不便。
- 必要な買い物をしたいとき、車で20~30分かけていかななくてはいけないのが不便。

- 自然環境は恵まれているが、公共交通に不便を感じる。
- 運転が出来なくなったときのことを考えると医者通いなどに不便を感じる。
- 交通の便がよくなることと、飲食店がもう少しあるとよい。
- 静かで住みよいが、不便。買い物や食事は他町へ行くことが多い。
- 免許証を返納後の交通手段への不安。
- 買い物が少し不便。
- アットホームな雰囲気です。子育てはしやすい一方、交通手段が不便で、こどもの進学を考えるとその点はマイナス面かと思う。
- 住めば都の気持ちです。清水は山があり、自然がたくさんあり良いです。
- 全体的に良いところだが、不便さもある。
- 十分な交通手段がなく、自家用車に頼らざるを得ない。
- 前に住んでいた川崎市に比べて、交通不便、焼成サービス×。自然環境は良い。
- 車を持っていないと不便。御殿場線利用しづらい。でも大井松田 I C や小田原（新幹線）が利用しやすい。
- 車が無いと不便。
- 自然環境は豊かだが、生活していく上で不便な点がある。
- 環境は良いと思うが交通が不便。
- 環境は良いが、交通の便が悪い。
- 自然環境は良いが、交通の便が不便。
- 自然がいっぱいある。
- 交通の便が悪い。
- 車を運転できるうちは良いが、出来なくなった後が生きていけない。
- 高齢になると交通が不便だったり、生活面で支障が出てくると思う（店、医療機関が少ないなど）。
- 補助金制度が充実しているし、スーパーなどが増えてきた。小学校に行くのはバスがあつて楽だったが、帰りは無いので歩いて通学するには大変だったから。
- 可もなく不可もない。
- 少々不便なところがある。
- 今は車も運転できるので交通の便も心配なく、買い物も自分でどこへでも行けるので困らない。病院等が少し遠くて不便なくらいなので。
- 車が使えるうちは東名も近いし新幹線、小田急、J R も乗りやすく、スーパーなど買い物や外出など問題なく住めるが、車が使えなくなると陸の孤島感は否めないなので、間を取って普通。
- 交通の便が悪いです。
- J R バスの運行が少ない。
- 静かで近くにスーパーが出来て良い。
- 昔からの家と新しい家の差があると思う。
- 排気ガス（246号、東名、新東名）。
- 自然豊かで子育てには良さそう。車が無いと生活は不便なこともありそうなので。
- 自然環境は良いが、交通・買い物など不便。

- 買い物が不便。医療関係。
- 自然豊かな点は魅力的だが、買い物等の不便もあり善し悪しがあるため。
- 自然に恵まれているが交通がもう少し便利になってほしい。
- 山間部のため、雪がとても心配です。
- 今は普通だが、高齢になると住みにくい。
- 車があれば不自由は感じないが、車がなければ生活できないと思う。
- 自然は豊かだが、交通の便が悪い。
- 静かで住み心地は良いが、店が少ない、交通が不便。
- 他を知らないから「当たり前」と思ってきた。
- 車を運転しなくなると不便さを感じると思う。
- 交通の便があまりよくない。
- 自然がよいけれど、交通が不便。
- 買い物や娯楽に不便だが、のんびり生活できるところ。
- 自然環境がよいから。
- 他に住んだことがない。
- 車があれば不自由はない。
- 交通の便が悪く住みにくく感じていたが、住み慣れ買い物も多少便利になった。
- 高齢になり買物、通院が大変です。免許返納したら生活できません。心配です。返納後も安心して暮らしたい。
- 自然環境は良いが買い物などは不便。
- 緑の山々が多く空気も良いと思う。
- どこに住んでも同じだと思う。
- 良い点は自然が多い環境。悪い点は交通面が不便。
- 車が無いと移動が不便。
- 他の場所に住んだことが無いので、現在の自分の感覚です。
- 空気があまりよくない。喘息の感じがする。実家に帰ると治る。
- 他の地区について分からないので。
- 自然豊かで水も美味しい静かで良いが、車が無くなった時はどうするかと不安。
- 空気がきれい。閑散としている。交通の便が悪い。JR東日本～東海の間でスイカが使えない。富士山がきれい。丹沢湖の紅葉が美しい。桜並木が美しい。
- 自然が豊か。
- 交通の面は不便だが、自然に囲まれつつも、車があれば、都内に通えないこともない。コンビニもあって、ありがたい。

「やや住みにくい」と思う理由

- 買い物が不便。
- 交通の便があまり良いと言えない。高齢者が多い町である分、行動のとりやすさは重要と感じる。また、夕方から外が暗すぎる。
- 交通手段が少ない。
- 車が無いと買い物等移動が不便。電車の本数が少ない。
- 町が町を良くしようとしているのかよく分からない。保育園や幼稚園、学校が遠い。買い物が1か所で終わらない。コインランドリーがない。
- 買い物、通院、不可欠の外出が、今後心配。
- 駅前に商店街が無くととても不便。
- 交通事情。
- 交通面。老後を考えると不安。
- 交通の便が悪い。
- お店が無い。移動手段がない。
- 色々な面で不便。
- 山北地区にスーパーが無い。車の運転が出来なくなったときに不安を感じられる。
- 車を使用しないと買い物できないから。
- 交通の便が悪い。公共交通の本数が少ない。
- 車がないと不便。
- 買い物、外食等が不便。やりにくい（店が少ない）。
- 望んでもいないのに、話しかけてくる。ちょっとしたことでやっかみを言われた。それから言葉につまるようになった。うっかりしたことを言えない。気をつかって話すのは疲れる。挨拶も辛い。
- 買い物に不便。
- 交通が不便（電車時間）
- 自然環境は素晴らしいが、徒歩で気軽に買い物できる施設がない。
- 交通の便が悪い。
- 夜遅くの交通の便が少ない。同じく飲食店、スーパー等も閉店が早い。
- 交通面
- 交通が不便。買い物するお店が少ない。働く場所が少ない。
- 災害や犯罪の無いのはいいが、高齢者には不便になりつつある。
- 交通の便が悪い。買い物するところがない。
- J R御殿場線は、パスモ・スイカがJ R東日本と連携していない。
- 猫の糞害で苦勞が絶えない。
- 交通の便の悪さ。
- 病院および買い物が不便。
- バスや電車が少ない。
- 電車・バスの本数が少なく、外出しづらい。
- 古い人が多い。新しい気風を受け入れにくい。
- 免許返納してから全く不便。日常の買い物ができない。

- 交通の便がよくない。商店が少ない。
- 交通の便（電車）が悪い。車がないと買い物が不便。
- 品ぞろえが充実しているスーパー（食材店）が一軒もない。我が家が駅や公園に近いので、観光客や人々の声や行動、特に道に無断駐車（停車）が多く、危険かつプライバシーが侵される。実際に一度、盗難に遭っている。
- 便が悪い。
- 車がないと移動に困る。店が少ない。
- 交通アクセスが悪い上に、バスの本数が少ないので車を持っていないと生活できない。
- 車の移動はそこそこ便利で良いが、電車・バスでの移動は不便。
- 車がないと移動に困難。公共交通の不便さ。
- 自然災害（地震・噴火・台風など）のリスクが高い。山北駅の周辺に駐車場がなく、車を置いて電車で出かけることがままならない。
- 交通が不便。
- 地域など人間関係は良いが、移動は車が前提。また町内に仕事が少ない。
- 交通の便が良くないが、穏やかで良いところだと思う。
- 病気になったときに、受け入れられる病院が限られている。
- 公共交通の不便。総合病院等の医療機関が無い(個人のみ)。町内での購買先がない。
- 駅周辺に生活のための商店（八百屋、魚屋など）が無くて大変不便。
- 交通の便がよくない。
- 交通が不便。
- 交通が不便。
- アクセスが悪い。
- 交通の不便。店が少ない。
- 交通が不便、店がない。
- 病院、買い物等、遠く不便。
- 車がないと生活しにくい。
- 坂が多い。公共機関の本数が少ない。
- 交通の便。
- デリバリーがない。
- 交通の便が良くない。御殿場線バス（富士急）ともに非常に少ない。
- 交通不便、買い物するところが少ない。
- 交通の便が悪いのと福祉が遅れている。
- 交通の便、昔ながらのしきたりが多い。
- バス停が遠い。坂道が辛い（高齢になったら）。この2つ以外は大好き。最期を迎えるまでいたいです。
- スーパーマーケットがない。
- 徒歩圏内にお店がない。
- 生活において不便を感じる。
- 近くにコンビニが無い。備蓄を兼ねた店があれば防災になるし観光客にも喜ばれると思う。

- 住宅の共益費を祓わない人がいて、大変困る。役場はどう対応して頂けるのか（町営住宅）。組長はともかく、健康等級員などの役が回ってくる。仕事も休むようだ。
- 商店が少ない。
- 元8軒。いまは2人だけ。
- 買い物に不便であるから。
- 交通が不便。
- 商店が充実していないため。スーパーが少ない。
- 交通が不便。
- 交通の便が悪い。
- 交通が少し悪いと思います。
- 交通の便が悪く、車が無いと不便、高齢化に向け不安である。
- 電車の本数が少ない。
- 交通の便が悪い。
- 地元のつながりが強すぎて居心地が悪い。
- 交通、買い物不便、人口減少。
- もう少しいろいろなものが帰る場所が欲しい。
- 交通が不便（マイカーが無いと）。
- 身近に商業施設がない。
- 交通の便が悪い。
- 運転が危ない。ほとんどの人がキープライト。センターラインをはみ出すのは日常的。
- 車がないと不便。
- 御殿場線の本数。バスの本数が少ないため。
- 人間関係が難しい（他から来た人間については他も同じか？）。
- 買い物が不便。今は車の運転ができるが、出来なくなったとき、子どもたちが県外にいるため、どうするか不安。
- 交通の不便により、買い物、病院・通院等とか難儀になる。
- 交通手段がすくないため。
- 交通が不便。
- 買い物には車が必須。
- 買い物（生鮮食品や日用品）が不便。徒歩圏内では足りない。医療も町内では足りないので安心感がない。
- 交通の便が悪い。
- 交通が不便、買い物も車が必要。
- 車がないと行動できない。
- 行政区域がバラバラ。消防分団、自治会、組、道祖神組内など。人口減で活気がない。
- 近所との付き合いが大変。
- 交通の便が悪い。
- スーパーに行かなければ日用品を売る店が無い。交通機関が不便。年齢によって住みにくさに変化。店が少なく野菜を売る店が近くにもない。
- 交通が不便である。いろいろなお店が少ない。

- 電車の本数が少ない。
- 御殿場線の本数が少なすぎる。
- 老人には買い物、その他の交通など不便の事が多めにあります。
- 近くにスーパーがない。
- 交通が不便。
- 地元意識が強すぎる。
- 車がないから買い物が不便。
- 山北駅の近くに店屋が無くなった。
- スーパーがなく、買い物ができず非常に困っている。
- お店が無い。
- 自然はあるが不便。
- 大きなショッピングモールが遠い。
- 交通が不便。駅近くに大きなスーパーが欲しい。
- 車以外の交通の便が悪い。
- 御殿場線の本数が少ない。大型ショッピングモールが無い。
- 交通の便が少ない。飲食店が少ない。
- 道路が狭い。坂が多い。
- 車が無いと生活が不便。さらに公共交通機関の数が少なすぎる。
- 交通が不便。
- 公共交通機関の利便性が悪い。
- 新松田駅までの交通手段が欲しい。
- 行政の対応が他の町では見られないほど良いが、交通・買い物・病院がとても不便。
- 日常の生活がちょっと不便。
- 若い人が他県・他町へ行き、帰ってこない。
- 買い物が不便。
- 自然に恵まれている反面、交通が不便。
- 自家用車が必須。
- 人口減少。
- 利便性に不安。
- 交通の便が悪い。近所にスーパーが無い。
- 交通の便が不便だから。
- 車が無いと不便。
- 交通の便が悪い。お店や飲食店が少ない。高齢者が多く、コミュニケーションがうまく取れない。
- 今は車を運転し行動できているが、将来運転できなくなったら、徒歩で行動できる範囲が（買い物・通院等）近くに無いのが心配です。
- 不便（通学、通勤、買い物）。
- 駅前の店（買い物）が少なく、早い時間に閉まってしまう。御殿場線の本数が少なく移動時に待つ時間が多い。
- 車が無いと不便だから。
- 交通が不便。

- 交通が不便。
- 買い物のため町外や県外へ行かないといけない（近くに店が無い）。御殿場線の本数が少ない。バスも近くを通らない。
- 不便である。買い物がしにくい。
- 交通の便が悪い。
- 「自然が豊か」といえば聞こえは良いが、放置山林が多く、杉などの花粉飛散量も多いのに対策が進んでいるとは言い難い。人口減少。高齢化による地域の担い手不足が深刻。
- お店が少ない。交通の便が悪い。
- 利便の悪い交通、災害の危険が心配。
- 交通の便が悪い。
- 買い物場所が遠い。
- 交通手段がいまいち。
- 交通の便が良くない。商業施設もない。
- 交通の便が良くない。
- 今後、高齢になれば車がなければ移動しづらい。買い物、通院、巡回バスがもっと近くに来てくれれば便利です、
- 交通の便が悪い（車はあるがあまり使いたくない）。
- バスの本数が少ない。
- 買い物が不便のため。
- 交通の便が悪い。
- 交通の便が悪い。電車は1時間に約1本。バスも少なく、タクシーも捕まらない時がある。駅前の商店はほぼ閉店しており、食用品や日用品の買い物に車が必須と思うため。
- 買い物が不便。
- 交通が不便。
- 買い物や公園に行くのに、距離があり、徒歩ではどこも難しい。
- 神奈川県は東京に続く都会化した県だと思われているが、やはり田舎だと感じるが多々ある。
- 市部へのアクセスの悪さ。
- 交通の便が悪い。
- 自然が豊かで落ち着いていて、大好きですが、不便です（交通やお店の面で）。
- 交通手段が不便（公共交通）。
- 交通、買い物が不便。自然があつて環境は良い。
- 交通が少ない。町外に出ないと日常必要な物品が揃わない。
- コンビニが少ない。交通の便が悪い。町道がガタガタ。
- 自然災害が多い。山が崩れてくると思うので。
- 公共交通が不便。
- 交通手段が少ない。買い物に不便。
- 歩いて行ける範囲にお店、飲食店や公園、施設などが少ない。
- 交通の便が悪い。
- 自然があつてよいのだが、スーパー、駅、バス停など車が無いといけない。

- ご近所との人間関係。自分本位な人たちがいるので、自治会の行事に協力的でなくやりにくい。関わりたくなくても関わらざるを得ないのでストレスが強い。東山北駅付近にコンビニ、コインランドリー、100円ショップ、衣料品店（しまむら等）出来てほしい。車が無いので不便。
- 車が無いと生活できない。色々な面で選択肢が少ないがない。年末年始、具合が悪いとき、どこにも診てもらえず怖い思いをしました。
- 電車やバスの交通手段が悪い。
- 交通の便が悪い。
- 交通が不便だから。
- 交通が不便。
- 買い物に徒歩で行けるお店が少ない。
- 便利さでいったら、住みにくい（公共交通はない、車が無ければ生活ができない等）だが、環境の良さや地域の交流が厚く、その点で住みやすいところもある。
- 通常生活にやや不便を感じる。
- 交通が不便。商業施設が少ない。
- どこに行くにも遠い。町の人たちの元気がない。
- 交通の不便さ。商店の数が減少。
- 交通の便、また買い物も車をつかわないといけない。
- 買い物が遠いから、自動車が今後不安。
- 交通が不便。税金が高い。町の経済が活発でない。教育に力を入れていない（設備、取り組みなど）。
- 交通が不便（今は運転できるが）。
- 買い物したり、電車・バスの本数が少ないので車が無いと生活が不便。組に入らないとゴミが出せないと言われました。
- 活気がない。町の特色が無い。施設が無い。体育館・駐車場。
- 交通が不便。
- 御殿場線があるので住みやすいですが、それ以上に、平地が少なく傾斜地が多いため、日々の生活に苦労します。
- 買い物に行くのにバスで1時間以上かかる。
- 交通の便が悪い。自治関東のしびりが強いと感じる。
- 交通の不便。
- スーパーが近くにいない。デリバリーが来ない。
- 交通が不便。町内バスも高い。1回100円が妥当。
- 交通が不便。駅前で日用品が帰る店が少ない。
- 買い物・交通が不便。
- 交通の便が悪い。
- 交通の便が悪い。食料品を買う店がない。
- 交通の便が悪い。
- 車が無いと不便。携帯電話が繋がりにくい。
- 店が少ない。交通が不便。
- 田舎で転入や転出が無いので、古い習慣が根強く残り煩わしい。
- 人口が減少していて先行きが不安。

- 昔からの地区の風習が存続している。
- 町内に店が少ない。
- 車がないと生活できない。
- 車が無いと不便だから。
- 工事のための大きなトラックが多いため、音で落ち着かないこともある。また、買い物も車が無いと1週間に何度も商店に通わなくてはいけない。
- 三保地区に住んでいますので、車が欠かせなく、車にかかる経費がバカになりません。また、子育て世代にとっては学校の送迎などもあります。便利に思えるところは全然ありません。
- 商店（スーパー）がない。
- 移動するのに車が必要であること。今は元気ですが、病気になったとき、対応してくださる医療機関が少ない。電車・バスなど交通手段が、本数が少ない。
- 交通機関、商業施設への利便性。
- 外食店がない。小児専門の病院がない。交通の便が悪い。文具・子ども用品・玩具・衣料品等扱っている商業施設がない。
- 交通の便、商店がない。
- 交通が不便。買い物が不便。
- 交通の便があまりよくないから。
- 山北地区内に買い物店が少ない。車乗れないと不便。
- JRの便、バスの本数が少ない。
- 交通の便が悪い。
- 交通の便が悪い。
- 交通の便が悪い（バス・電車の本数が少ない）。
- 交通が少ない。
- 交通の不便さを感じる。
- 御殿場線の本数が少ない。
- 昭和1桁生まれが少なくなってしまった。
- 買い物が娯楽の施設が少ない。
- 今は良いが、老後の生活（車が無いと住みにくい）。
- 近隣とのトラブル。隣の家から日当たりが悪くなるとかカラスや鳥の被害について、苦情を言われる。

「住みにくい」と思う理由

- 子育てしづらい。
- 交通の便が悪いから。
- 御殿場線の本数が少なく、車が無いと生活できない。
- 公共交通機関が少なく、生活のすべてを町内で完結できない。
- 人間関係等は良いが、ショッピングや習い事に不便を感じる。楽しさを感じない。
- お金があれば他の所に住んでみたい。
- 飯屋、飲食店が少ない。ピザ宅配来ないなど。
- すべてにおいて不便。
- 買い物に不便。
- 子どもは幼稚園から大学まで通学时以外でもすべて車で送迎。病院・買い物も車をつかわないとどこにも行けない。
- これからのプランが無い。
- 商店がない。
- 地区の行事や様々な役が回ってくる。
- 交通の便が悪い。
- 車が無いと生活できない。
- 交通悪いし店が少ない。遊びの場所がほしい。
- 車を返納したため。78歳のため。
- 交通が不便。
- 生活環境と人間関係。
- 交通の不便。
- 交通の便が悪い。人が集まりにくい。
- 環境は良いが不便ある。
- 自然があってよいと思うが、交通が悪かったり、買い物も町内で賄えないところがあるので。
- 周囲のお年寄りが若者に対して過干渉。町内行事のお仕事の押し付けが多いのに不満や文句の押し付けが多すぎる。
- 人と人との交流及び触れ合いがとても悲しい。
- 何もかも不便すぎる。
- とにかくお店が少ない。開成・大井・小田原くらいまで出なければならない。
- 交通が不便。
- 家族が少なくなり交流がなくなった。
- 子どもの支援が手厚くない。
- 差別的な発言をする人などがいてすごく嫌だ。
- 交通の便が悪い。車が無いと日々の買物ができない。
- 昔ながらの習慣が残っているから。
- 交通の便が悪すぎる。
- 交通が不便。買い物、働く場所がない。
- スーパーが少なく買物が不便。

- 交通、買い物、病院等。
- お店が少なすぎる。歩いて行けるくらいの場所にもう少し生活必需品を購入できる店が欲しい。
- 交通手段が充実していないため。
- 病院が少ない。子育て支援が充実していない。
- 地域に公共インフラが少なく、とっても不便。
- 交通が不便。スーパーが少ない。
- 公共交通機関があまり充実していないため。
- 交通の便が悪い。文化に触れにくい。若い人が少ない。
- 移動や買い物が大変。
- 何事も不便。
- 中学校の登下校で雨が降ると送迎していかなければならない。バスの時間が合わず、正社員として働くのは難しい。
- 交通の便が悪い。スーパーが遠い。
- 交通（鉄道、バス、ほか）が不便。
- 交通の便が悪い（公共の電車、バスの本数が少ない）。
- 交通の便が悪い。
- 電車・バスが不便（山北から都会へ行く交通（駅）にアクセスが悪い（ない））。買い物が不便（スーパーマーケット等が少なすぎる）。
- 共和地域には夜間や祝日に使える公共交通機関がないため。
- 公共交通機関が充実していない。
- スーパーがないから。電車のダイヤが少ない。バスのダイヤが少ない。
- 交通の便が悪い。生活に必要なものを変える商店が無い。
- 各種施設にお店などが少ない。
- 交通が不便。
- 近隣に商店やスーパーがなくなり、買い物に不自由だから。
- 近くの商店が無くなったから。
- 過疎化してしまったから。
- 商店があまりない。買い物ができないため困っています。
- 買い物に不便である。
- 交通が不便で買い物が不便。
- 公共交通機関が充実していないのにも関わらず、店などがいないため公共交通機関をつかわないと生活できない。
- 交通が不便。学校、福祉施設などが少ない。
- 交通の便、医療の不足。
- 車が無いと就職もままならない。鉄道は本数が少なく、運休などで信頼できない。県内他地域の人からは、山北は辺境の地やド田舎と思われ大変イメージが悪い。
- 話し相手があまりいない。
- 不便に感じるものがたくさんある（交通・買い物など）。

- 交通の便が悪い。
- 高齢者が日常の買い物ができない。交通の便が悪すぎる。
- 車がないと、買い物・通勤・通学が出来ない。駅が遠い。
- 電車の本数が少ない。お店が少ない。
- 買い物をする店が無い。交通の便が悪い。
- 山だから。
- 交通が不便。
- 店がない。
- 交通の便が無い。働き先がない。
- 人付き合い。
- 人口が減っている割にはイベントが多く、ボランティアで駆り出される。若者の負担が多くなっている。
- 交通アクセスが不便。ピザが届かない。
- 色々な面で不便（交通、楽しみがない）。
- 交通手段が限定されている。買い物するところが少ない。
- 交通が不便。
- 交通が不便（車の運転ができなくなったら孤立しそう）。買い物が不便。
- 車に乗れない人には住めないところ。私は乗れないので、電車で買い物してた。今はいけない自分がさみしいです。
- 仕事・通勤に不便。
- 公共交通機関の不便。

「わからない」と思う理由

- 基準が何なのか不明なので。
- 地区によっては住みやすいところもあるが、自分の住んでいるあたりはスーパーなどないので車の運転を辞めた時に買い物できるところがない。
- 生まれた時から住んでいるから他が分からない。
- 御殿場線の本数が少ない。
- 他の地区に住んだことがない。
- 考えたことがない。

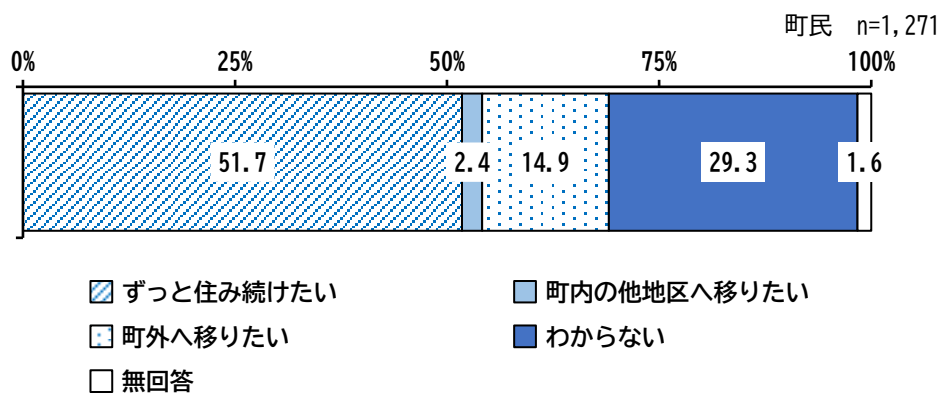
無回答者の理由

- 山北駅前にお店があったらいいです。
- 自然もあり、都市近郊でもあるところ。
- 自然豊かで人柄も良い。246号にすぐアクセスできる。JRもある。反面、東名は少しうるさく、JRの本数は少ないが歴史や文化がある町だと思う。
- 慣れ親しんだ場所だから。
- 結婚当時はまあまあでしたが、年々不便を感じるさびしい町になっている。

(9) 山北町に住み続けたいと思うか

Q：山北町に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

【町民Q3、職員－】



町民：「ずっと住み続けたい」51.7%が最も多く、以下「わからない」29.3%、「町外へ移りたい」14.9%、「町内の他地区へ移りたい」2.4%となっています。

クロス集計 地区別

(単位：%)

	調査数 (人)	ずっと住み続けたい	町内の他地区へ移りたい	町外へ移りたい	わからない	無回答
全体	1,271	<u>51.7</u>	2.4	14.9	29.3	1.6
山北1	242	<u>54.1</u>	1.7	15.7	27.3	1.2
山北2	185	<u>53.0</u>	1.6	17.3	26.5	1.6
向原1	120	<u>49.2</u>	4.2	12.5	32.5	1.7
向原2	224	<u>56.3</u>	0.9	14.7	27.7	0.4
岸1	166	<u>51.8</u>	1.8	16.3	28.9	1.2
岸2	129	<u>56.6</u>	2.3	7.8	32.6	0.8
共和地区	26	<u>46.2</u>	7.7	7.7	30.8	7.7
清水地区	105	<u>47.6</u>	2.9	12.4	35.2	1.9
三保地区	53	30.2	11.3	24.5	<u>32.1</u>	1.9

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査 (単位：%)

	調査数 (人)	ずっと住み続けたい	町内の他地区へ移りたい	町外へ移りたい	わからない	無回答
R5調査	1,271	<u>51.7</u>	2.4	14.9	29.3	1.6
H30調査	1,307	<u>52.0</u>	1.8	16.8	27.8	1.8

3 まちのこれまでの取り組みについて

(10) 23の取り組みの満足度・重要度

Q：山北町では、次の23の取り組みを推進してきました。それぞれについて、満足度と重要度に5点満点で点数をつけてください。(満足度と重要度のそれぞれに1つずつ〇をつけてください)

【町民Q4、職員Q2】

町民 満足度 n=1,271

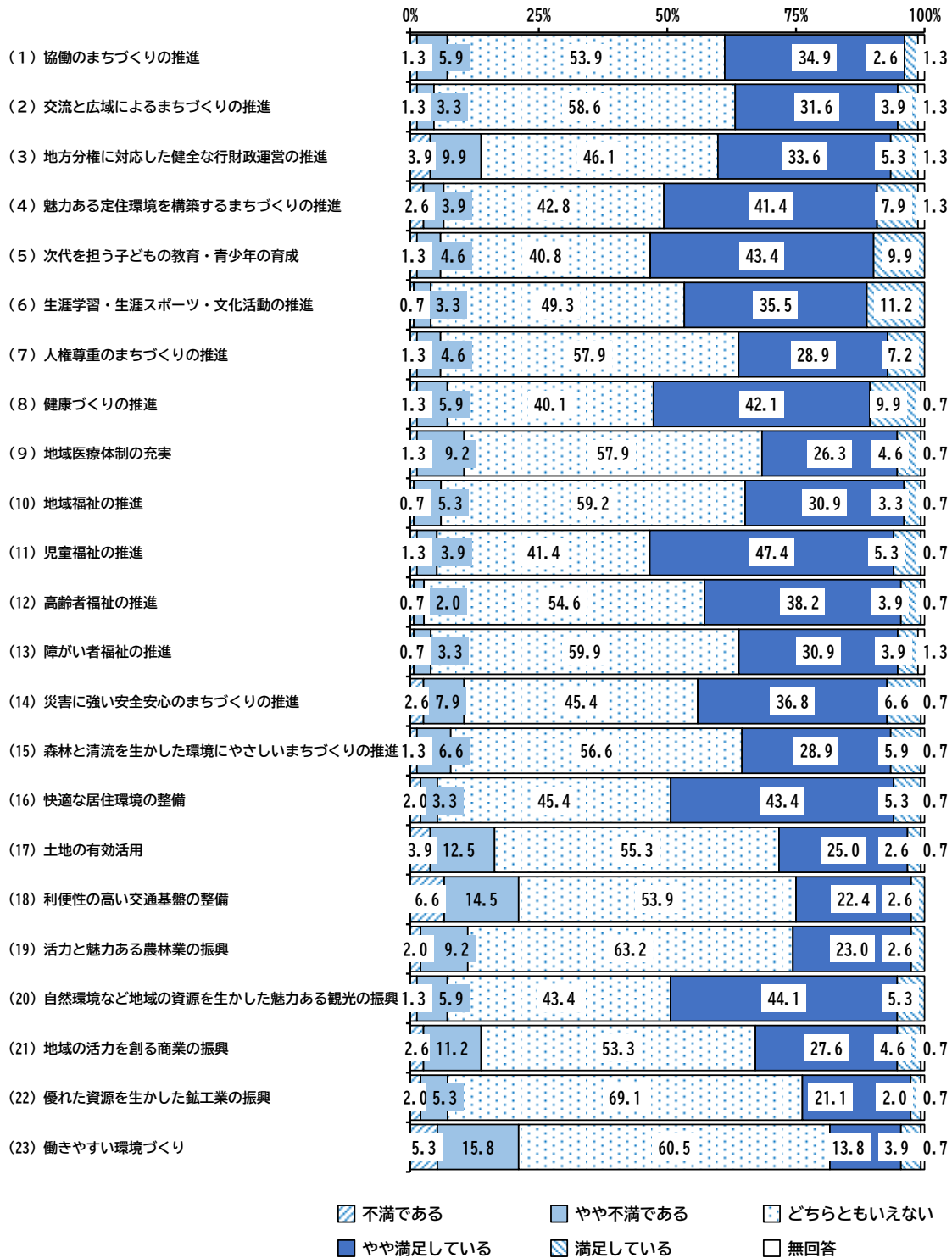
<町民 満足度>



不満である やや不満である どちらともいえない
 やや満足している 満足している 無回答

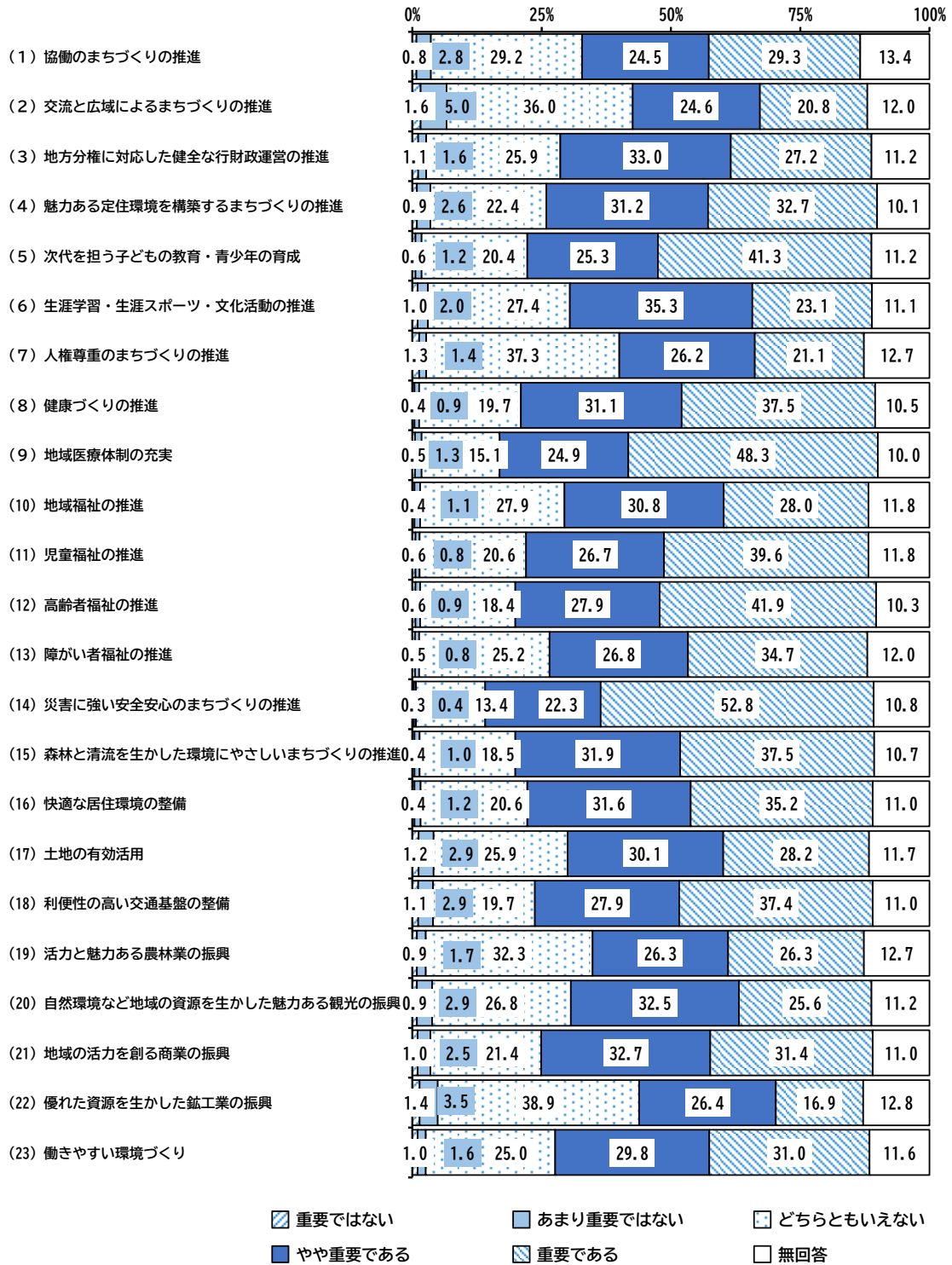
<職員 満足度>

職員 満足度 n=152



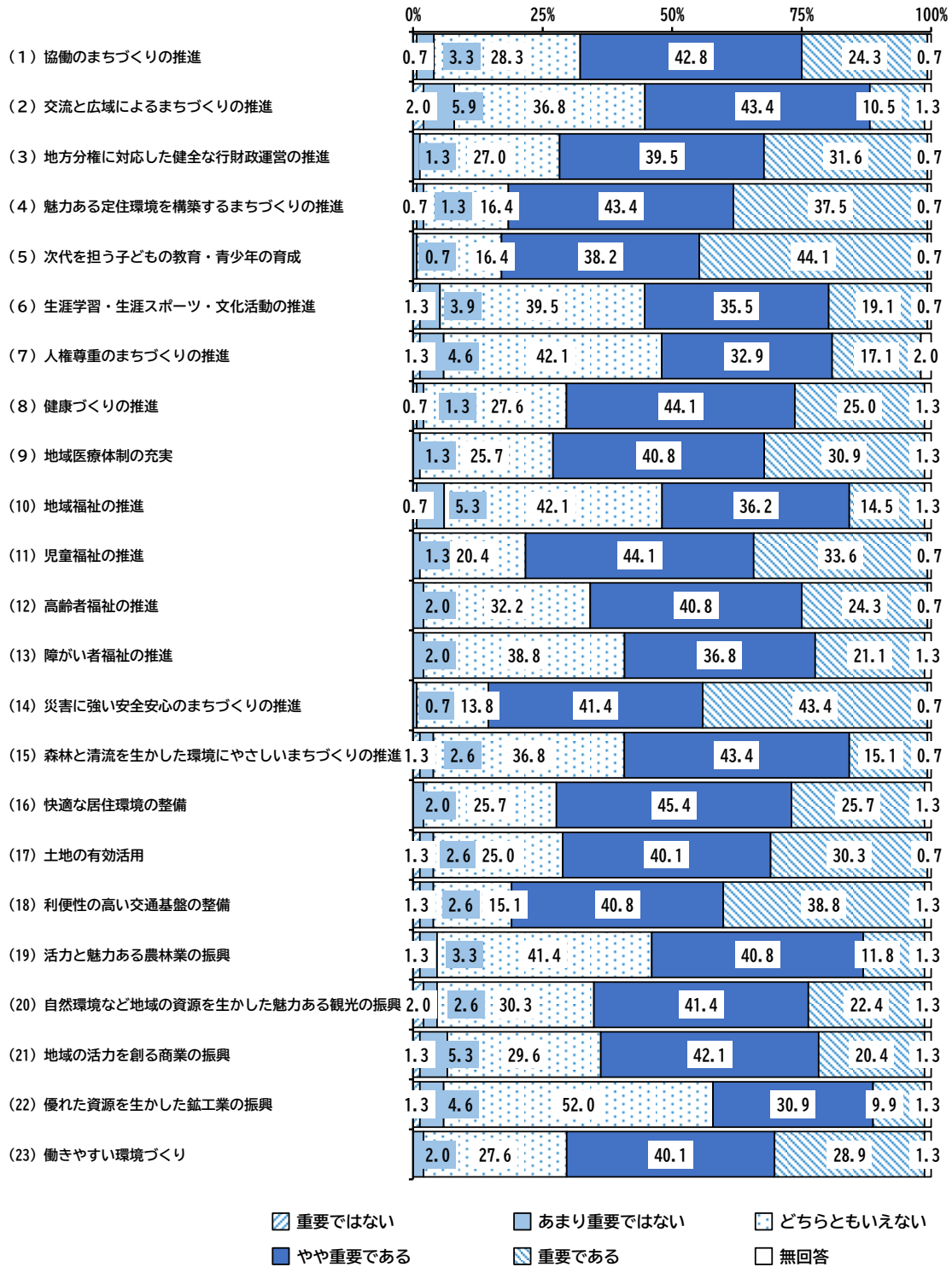
<町民 重要度>

町民 重要度 n=1,271



<職員 重要度>

職員 重要度 n=152



町民 満足度：「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している』は、“(8) 健康づくりの推進” 50.4%が最も多く、以下“(16) 快適な居住環境の整備” 37.0%、“(6) 生涯学習・生涯スポーツ・文化活動の推進” 34.1%となっています。

一方「やや不満である」と「不満である」を合わせた『不満である』は、“(21) 地域の活力を創る商業の振興” 31.0%が最も多く、以下“(18) 利便性の高い交通基盤の整備” 27.8%、“(23) 働きやすい環境づくり” 22.9%となっています。

職員 満足度：『満足している』は、“(5) 次代を担う子どもの教育・青少年の育成” 53.3%が最も多く、以下“(11) 児童福祉の推進” 52.7%、“(8) 健康づくりの推進” 52.0%となっています。

一方『不満である』は、“(23) 働きやすい環境づくり”と“(18) 利便性の高い交通基盤の整備”が21.1%と多く、以下“(17) 土地の有効活用” 16.4%となっています。

町民 重要度：「重要である」と「やや重要である」を合わせた『重要である』は、“(14) 災害に強い安全安心のまちづくりの推進” 75.1%が最も多く、以下“(9) 地域医療体制の充実” 73.2%、“(12) 高齢者福祉の推進” 69.8%となっています。

一方「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた『重要ではない』は、“(2) 交流と広域によるまちづくりの推進” 6.6%が最も多く、以下“(22) 優れた資源を生かした鉱工業の振興” 4.9%、“(17) 土地の有効活用” 4.1%となっています。

職員 重要度：『重要である』は、“(14) 災害に強い安全安心のまちづくりの推進” 84.8%が最も多く、以下“(5) 次代を担う子どもの教育・青少年の育成” 82.3%、“(4) 魅力ある定住環境を構築するまちづくりの推進” 80.9%となっています。

一方『重要ではない』は、“(2) 交流と広域によるまちづくりの推進” 7.9%が最も多く、以下“(21) 地域の活力を創る商業の振興” 6.6%、“(10) 地域福祉の推進” 6.0%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査

(単位：%)

	調査数 (人)	不満である(非常に悪い)	やや不満である(悪い)	どちらともいえない(普通)	やや満足している(良い)	満足している(非常に良い)	無回答	『不満である(悪い)』	『満足している(良い)』
(1) 協働のまちづくりの推進	R5調査 1,271	2.6	9.0	<u>52.0</u>	24.7	3.8	7.9	11.6	<u>28.5</u>
	H30調査 1,307	1.5	8.3	<u>65.2</u>	15.9	1.3	7.8	9.8	<u>17.2</u>
(2) 交流と広域によるまちづくりの推進	R5調査 1,271	2.4	6.7	<u>59.5</u>	19.0	3.1	9.4	9.1	<u>22.1</u>
	H30調査 1,307	1.3	10.2	<u>68.2</u>	12.2	0.7	7.4	11.5	<u>12.9</u>
(3) 地方分権に対応した健全な行財政運営の推進	R5調査 1,271	3.1	9.8	<u>51.2</u>	23.8	3.5	8.5	12.9	<u>27.3</u>
	H30調査 1,307	1.8	12.2	<u>65.6</u>	12.1	0.6	7.7	<u>14.0</u>	12.7
(4) 魅力ある定住環境を構築するまちづくりの推進	R5調査 1,271	3.8	12.7	<u>49.2</u>	21.7	3.5	9.0	16.5	<u>25.2</u>
	H30調査 1,307	2.6	20.0	<u>50.8</u>	18.6	1.4	6.7	<u>22.6</u>	20.0
(5) 次代を担う子どもの教育・青少年の育成	R5調査 1,271	2.8	7.4	<u>48.5</u>	26.9	4.6	9.8	10.2	<u>31.5</u>
	H30調査 1,307	1.1	8.6	<u>57.5</u>	23.5	1.9	7.3	9.7	<u>25.4</u>
(6) 生涯学習・生涯スポーツ・文化活動の推進	R5調査 1,271	1.8	8.2	<u>46.9</u>	28.2	5.9	9.0	10.0	<u>34.1</u>
	H30調査 1,307	0.5	7.4	<u>59.9</u>	23.4	2.1	6.7	7.9	<u>25.5</u>
(7) 人権尊重のまちづくりの推進	R5調査 1,271	2.0	6.1	<u>62.2</u>	15.7	2.6	11.3	8.1	<u>18.3</u>
	H30調査 1,307	1.1	4.4	<u>67.7</u>	17.8	1.8	7.1	5.5	<u>19.6</u>
(8) 健康づくりの推進	R5調査 1,271	1.0	5.7	34.6	<u>37.7</u>	12.7	8.3	6.7	<u>50.4</u>
	H30調査 1,307	0.8	4.7	<u>56.5</u>	29.2	3.4	5.4	5.5	<u>32.6</u>
(9) 地域医療体制の充実	R5調査 1,271	5.0	15.0	<u>37.9</u>	27.2	6.8	8.0	20.0	<u>34.0</u>
	H30調査 1,307	3.3	19.1	<u>53.8</u>	16.0	2.0	5.9	<u>22.4</u>	18.0
(10) 地域福祉の推進	R5調査 1,271	1.8	8.4	<u>57.8</u>	18.8	3.7	9.4	10.2	<u>22.5</u>
	H30調査 1,307	1.5	8.0	<u>63.5</u>	19.6	1.4	6.1	9.5	<u>21.0</u>
(11) 児童福祉の推進	R5調査 1,271	1.9	5.1	<u>55.9</u>	20.8	5.4	10.9	7.0	<u>26.2</u>
	H30調査 1,307	1.3	6.5	<u>63.4</u>	19.3	1.6	8.0	7.8	<u>20.9</u>
(12) 高齢者福祉の推進	R5調査 1,271	2.6	9.4	<u>50.4</u>	23.4	5.8	8.4	12.0	<u>29.2</u>
	H30調査 1,307	1.8	8.6	<u>58.5</u>	23.1	2.2	5.8	10.4	<u>25.3</u>
(13) 障がい者福祉の推進	R5調査 1,271	1.6	5.5	<u>60.5</u>	16.9	4.6	10.9	7.1	<u>21.5</u>
	H30調査 1,307	1.8	7.7	<u>68.1</u>	14.5	0.9	7.0	9.5	<u>15.4</u>

	調査数 (人)	不満である(非常に悪い)	やや不満である(悪い)	普通) どちらともいえない(普通)	やや満足している(良い)	満足している(非常に良い)	無回答	『不満である(悪い)』	『満足している(良い)』
(14) 災害に強い安全安心のまちづくりの推進	R5調査 1,271	2.6	11.3	<u>45.1</u>	26.4	6.8	7.8	13.9	<u>33.2</u>
	H30調査 1,307	3.7	19.4	<u>61.3</u>	8.7	0.5	6.4	<u>23.1</u>	9.2
(15) 森林と清流を生かした環境にやさしいまちづくりの推進	R5調査 1,271	3.5	11.2	<u>45.5</u>	25.3	6.4	8.3	14.7	<u>31.7</u>
	H30調査 1,307	1.4	8.8	<u>63.4</u>	17.3	1.8	7.3	10.2	<u>19.1</u>
(16) 快適な居住環境の整備	R5調査 1,271	3.1	8.1	<u>42.9</u>	29.5	7.5	8.9	11.2	<u>37.0</u>
	H30調査 1,307	3.3	15.8	<u>56.8</u>	16.1	1.5	6.6	<u>19.1</u>	17.6
(17) 土地の有効活用	R5調査 1,271	4.8	14.1	<u>50.0</u>	18.0	3.1	10.0	18.9	<u>21.1</u>
	H30調査 1,307	7.4	34.0	<u>45.1</u>	6.5	0.4	6.5	<u>41.4</u>	6.9
(18) 利便性の高い交通基盤の整備	R5調査 1,271	8.5	19.3	<u>43.5</u>	16.8	3.1	8.7	<u>27.8</u>	19.9
	H30調査 1,307	15.1	<u>44.1</u>	29.8	4.3	0.5	6.1	<u>59.2</u>	4.8
(19) 活力と魅力ある農林業の振興	R5調査 1,271	4.3	11.3	<u>59.3</u>	10.9	3.0	11.1	<u>15.6</u>	13.9
	H30調査 1,307	3.4	20.1	<u>60.8</u>	6.8	0.8	8.0	<u>23.5</u>	7.6
(20) 自然環境など地域の資源を生かした魅力ある観光の振興	R5調査 1,271	3.1	12.0	<u>46.6</u>	24.5	5.0	9.0	15.1	<u>29.5</u>
	H30調査 1,307	5.6	30.2	<u>48.0</u>	9.4	0.5	6.3	<u>35.8</u>	9.9
(21) 地域の活力を創る商業の振興	R5調査 1,271	9.7	21.3	<u>41.8</u>	16.0	2.5	8.7	<u>31.0</u>	18.5
	H30調査 1,307	10.5	38.3	<u>39.7</u>	4.6	0.6	6.4	<u>48.8</u>	5.2
(22) 優れた資源を生かした鉱工業の振興	R5調査 1,271	3.0	9.6	<u>63.3</u>	10.5	2.0	11.6	<u>12.6</u>	12.5
	H30調査 1,307	5.7	28.6	<u>52.9</u>	3.1	0.4	9.2	<u>34.3</u>	3.5
(23) 働きやすい環境づくり	R5調査 1,271	6.6	16.3	<u>55.0</u>	9.8	2.2	10.1	<u>22.9</u>	12.0
	H30調査 1,307	10.2	34.9	<u>44.2</u>	4.1	0.3	6.4	<u>45.1</u>	4.4

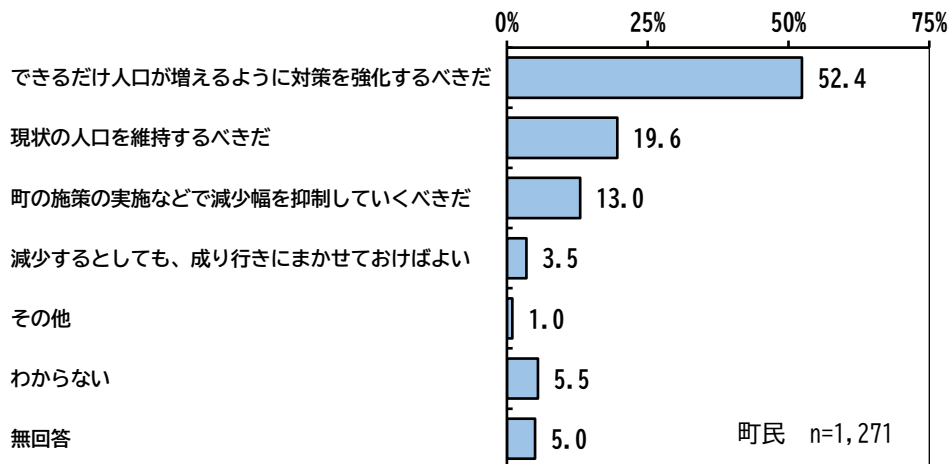
※H30調査は、「非常に悪い」、「悪い」、「普通」、「良い」、「非常に良い」。

4 人口減少・少子高齢化対策について

(11) 山北町の人口対策をどのようにしたら良いと思うか

Q：今後、山北町の人口対策をどのようにしたら良いと思いますか。(○は1つだけ)

【町民Q5、職員-】



町民：「できるだけ人口が増えるように対策を強化するべきだ」52.4%が最も多く、以下「現状の人口を維持するべきだ」19.6%、「町の施策の実施などで減少幅を抑制していくべきだ」13.0%、「わからない」5.5%、「減少するとしても、成り行きにまかせておけばよい」3.5%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査 (単位：%)

	調査数 (人)	できるだけ人口が増えるように対策を強化するべきだ	現状の人口を維持するべきだ	町の施策の実施などで減少幅を抑制していくべきだ	減少するとしても、成り行きにまかせておけばよい	その他	わからない	無回答
R5調査	1,271	52.4	19.6	13.0	3.5	1.0	5.5	5.0
H30調査	1,307	53.3	18.8	11.3	3.8	1.7	8.6	2.4

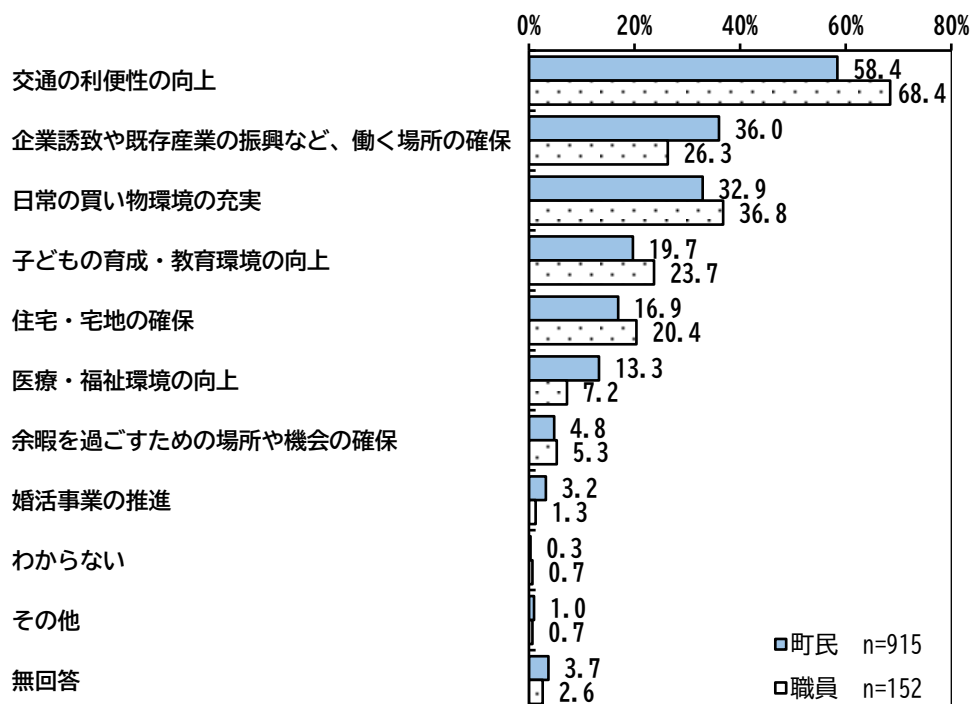
(12) 山北町の人口を増やすまたは減らさないために大事だと思うこと

Q：山北町の人口を増やすまたは減らさないためには、どのようなことが大事だと思いますか。

(○は主なもの2つまで)

【町民Q5-1、職員Q3】

※町民は、問5で「できるだけ人口が増えるように対策を強化するべきだ」または「現状の人口を維持するべきだ」と回答された方のみ。



町民：「交通の利便性の向上」58.4%が最も多く、以下「企業誘致や既存産業の振興など、働く場所の確保」36.0%、「日常の買い物環境の充実」32.9%、「子どもの育成・教育環境の向上」19.7%、「住宅・宅地の確保」16.9%となっています。

職員：「交通の利便性の向上」68.4%が最も多く、以下「日常の買い物環境の充実」36.8%、「企業誘致や既存産業の振興など、働く場所の確保」26.3%、「子どもの育成・教育環境の向上」23.7%、「住宅・宅地の確保」20.4%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査

(単位：%)

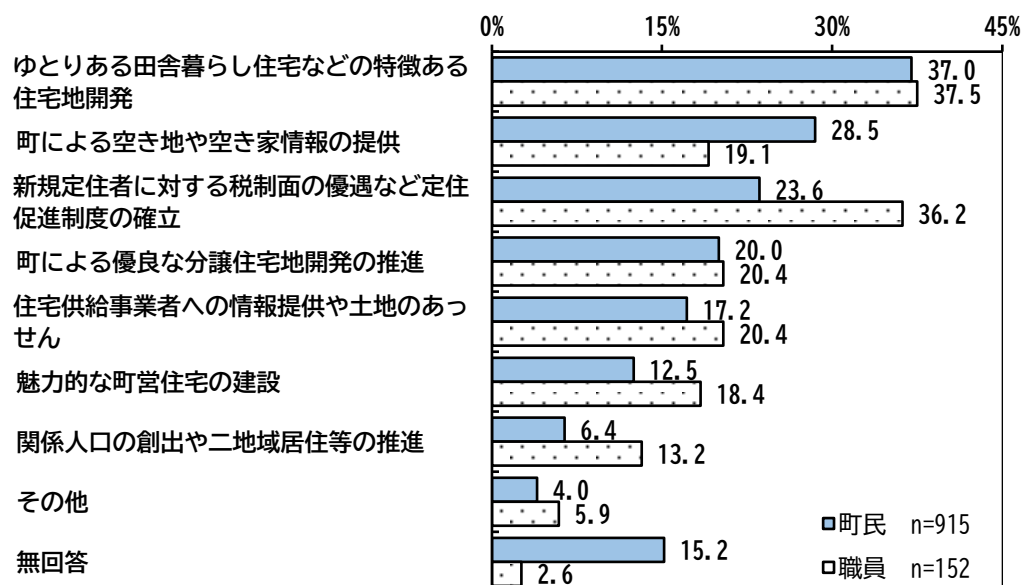
	調査数 (人)	交通の利便性の向上	企業誘致や既存産業の振興など、働く場所の確保	日常の買い物環境の充実	子どもの育成・教育環境の向上	住宅・宅地の確保	医療・福祉環境の向上	余暇を過ごすための場所や機会の確保	婚活事業の推進	わからない	その他	無回答
R5調査	915	58.4	36.0	32.9	19.7	16.9	13.3	4.8	3.2	0.3	1.0	3.7
H30調査	942	55.2	46.4	30.1	17.2	14.9	12.4	4.1	3.9	0.0	1.7	3.1

(13) 推進すべき定住施策

Q：どのような定住施策を推進すべきだと思いますか。(○は主なもの2つまで)

【町民Q5-2、職員Q4】

※町民は、問5で「できるだけ人口が増えるように対策を強化するべきだ」または「現状の人口を維持するべきだ」と回答された方のみ。



町民：「ゆとりある田舎暮らし住宅などの特徴ある住宅地開発」37.0%が最も多く、以下「町による空き地や空き家情報の提供」28.5%、「新規定住者に対する税制面の優遇など定住促進制度の確立」23.6%、「町による優良な分譲住宅地開発の推進」20.0%、「住宅供給事業者への情報提供や土地のあっせん」17.2%となっています。

職員：「ゆとりある田舎暮らし住宅などの特徴ある住宅地開発」37.5%が最も多く、以下「新規定住者に対する税制面の優遇など定住促進制度の確立」36.2%、「町による優良な分譲住宅地開発の推進」と「住宅供給事業者への情報提供や土地のあっせん」が20.4%、「町による空き地や空き家情報の提供」19.1%となっています。

経年比較 町民アンケート R5年調査・H30調査 (単位：%)

	調査数 (人)	ゆとりある田舎暮らし住宅などの特徴ある住宅地開発	町による空き地や空き家情報の提供	新規定住者に対する税制面の優遇など定住促進制度の確立	町による優良な分譲住宅地開発の推進	住宅供給事業者への情報提供や土地のあっせん	魅力的な町営住宅の建設	※関係人口の創出や二地域居住等の推進	※団塊世代を対象とした交流居住の推進	その他	無回答
R5調査	915	37.0	28.5	23.6	20.0	17.2	12.5	6.4	—	4.0	15.2
H30調査	942	34.8	37.3	28.3	19.6	15.1	13.4	—	6.5	2.9	10.9

※「関係人口の創出や二地域居住等の推進」は、R5調査のみ。

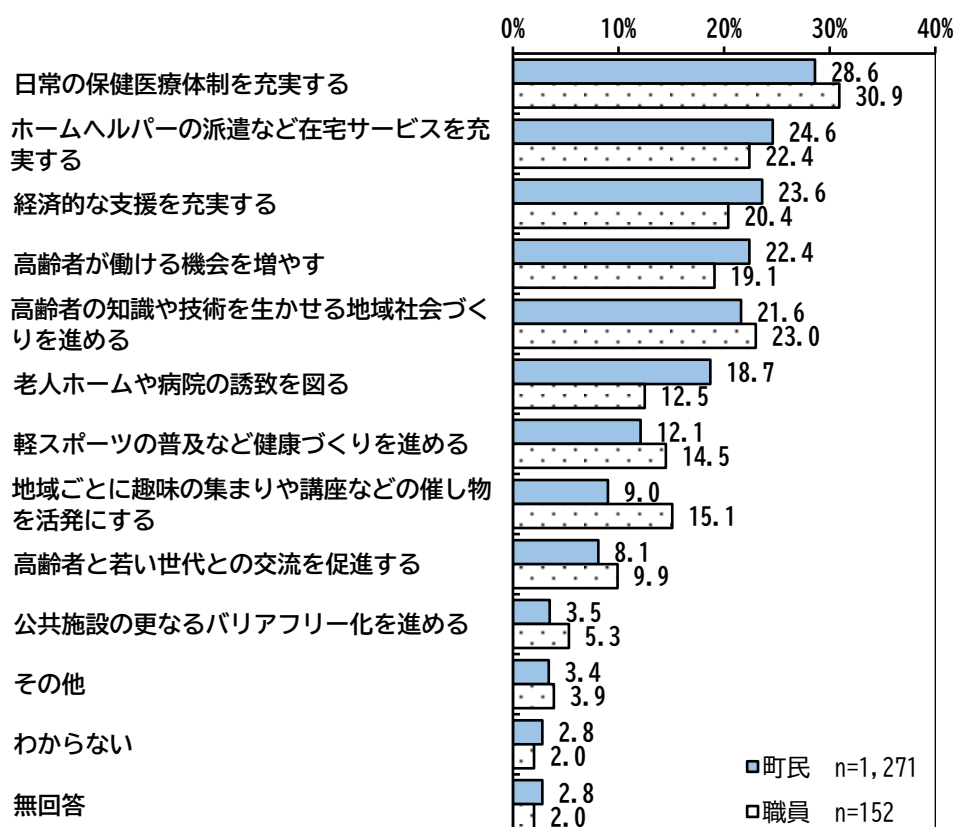
※「団塊世代を対象とした交流居住の推進」は、H30調査のみ。

(14) 山北町が力を入れるとよい対策

Q：山北町では、高齢者人口が年々増加しており、高齢化が急速に進行しています。

町では今後どのような対策に力を入れるのがよいとお考えですか。(〇は主なもの2つまで)

【町民Q6、職員Q5】



町民：「日常の保健医療体制を充実する」28.6%が最も多く、以下「ホームヘルパーの派遣など在宅サービスを充実する」24.6%、「経済的な支援を充実する」23.6%、「高齢者が働ける機会を増やす」22.4%、「高齢者の知識や技術を生かせる地域社会づくりを進める」21.6%となっています。

職員：「日常の保健医療体制を充実する」30.9%が最も多く、以下「高齢者の知識や技術を生かせる地域社会づくりを進める」23.0%、「ホームヘルパーの派遣など在宅サービスを充実する」22.4%、「経済的な支援を充実する」20.4%、「高齢者が働ける機会を増やす」19.1%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査

(単位：%)

	調査数 (人)	日常の保健医療体制を充実する	ホームヘルパーの派遣など在宅サービスを充実する	※経済的な支援を充実する	高齢者が働ける機会を増やす	高齢者の知識や技術を生かせる地域社会づくりを進める	老人ホームや病院の誘致を図る	軽スポーツの普及など健康づくりを進める	地域の催し物を活発にする	地域ごとに趣味の集まりや講座など高年齢者との交流を促進する	公共施設の更なるバリアフリー化を進める	その他	わからない	無回答
R5調査	1,271	28.6	24.6	23.6	22.4	21.6	18.7	12.1	9.0	8.1	3.5	3.4	2.8	2.8
H30調査	1,307	20.0	22.7	30.1	22.9	21.8	18.7	10.9	10.3	7.0	4.3	1.6	3.7	2.1

※H30調査は、「介護手当など経済的な支援を充実する」

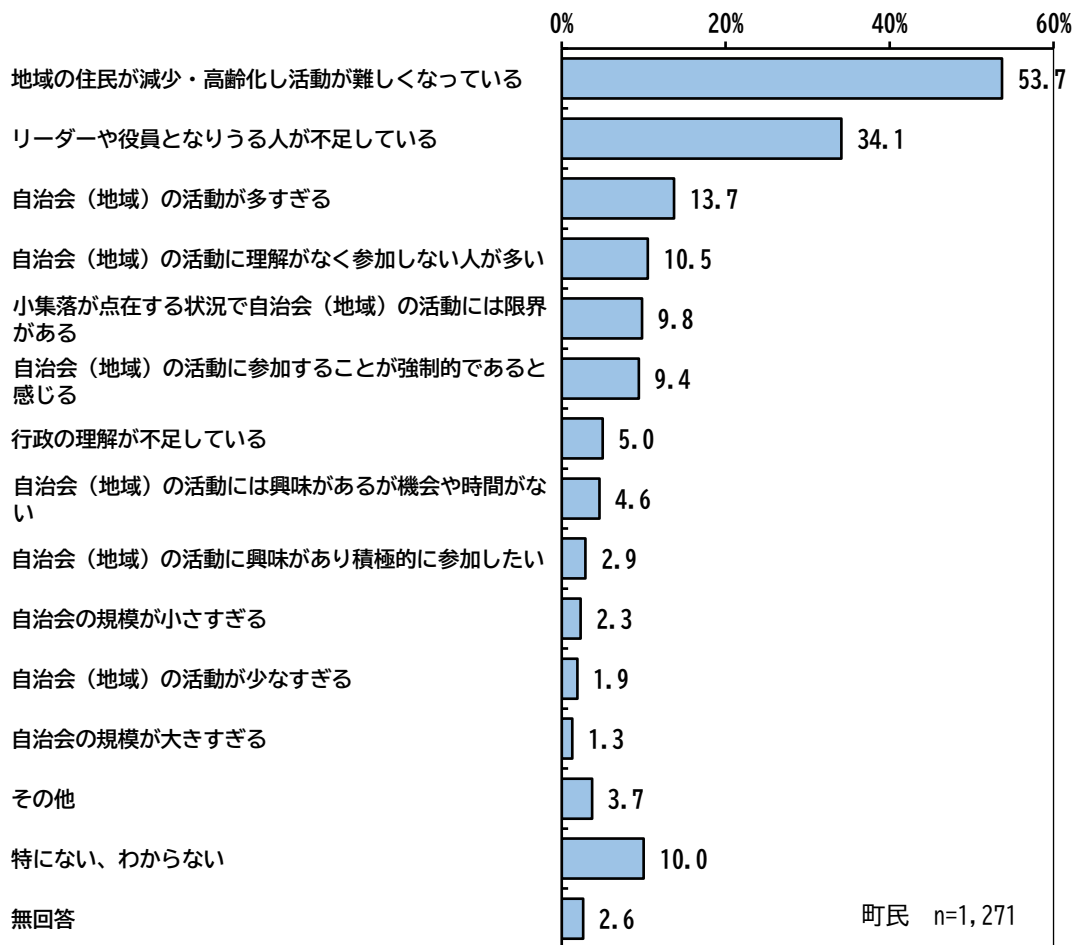
5 協働のまちづくりについて

(15) 自治会・地域コミュニティ活動で感じていること、気になること

Q：自治会・地域コミュニティ活動で感じていること、気になることは何ですか。

(○は主なもの2つまで)

【町民Q7、職員ー】



町民：「地域の住民が減少・高齢化し活動が難しくなっている」53.7%が最も多く、以下「リーダーや役員となりうる人が不足している」34.1%、「自治会（地域）の活動が多すぎる」13.7%、「自治会（地域）の活動に理解がなく参加しない人が多い」10.5%、「特にない、わからない」10.0%となっています。

クロス集計 地区別

(単位：%)

	調査数(人)	地域の住民が減少・高齢化し活動が難しくなっている	リーダーや役員となりうる人が不足している	自治会(地域)の活動が多すぎる	自治会(地域)の活動に理解がなく参加しない人が多い	小集落が点在する状況で自治会(地域)の活動には限界がある	自治会(地域)の活動に参加することが強制的であると感じる	行政の理解が不足している	自治会(地域)の活動には興味があるが機会や時間がない	自治会(地域)の活動に興味があり積極的に参加したい	自治会の規模が小さすぎる	自治会(地域)の活動が少なすぎる	自治会の規模が大きすぎる
全体	1,271	53.7	34.1	13.7	10.5	9.8	9.4	5.0	4.6	2.9	2.3	1.9	1.3
山北1	242	57.9	34.3	16.1	10.3	7.9	10.3	5.8	4.1	1.7	2.5	1.7	1.7
山北2	185	52.4	37.8	12.4	11.4	6.5	7.6	5.9	3.8	1.6	2.7	1.1	2.7
向原1	120	56.7	30.8	11.7	13.3	13.3	9.2	5.8	1.7	4.2	3.3	0.0	0.0
向原2	224	44.6	39.3	10.3	11.2	7.1	9.8	3.6	6.3	3.6	3.1	3.6	0.9
岸1	166	52.4	28.3	9.0	13.3	6.6	9.6	5.4	6.0	4.2	1.2	1.8	2.4
岸2	129	56.6	37.2	23.3	11.6	3.9	10.9	3.1	7.0	4.7	1.6	3.1	0.0
共和地区	26	57.7	30.8	30.8	0.0	15.4	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	3.8
清水地区	105	63.8	30.5	14.3	0.0	21.9	9.5	4.8	3.8	1.9	2.9	1.9	1.0
三保地区	53	52.8	30.2	1.9	15.1	32.1	7.5	5.7	3.8	0.0	0.0	1.9	0.0

	調査数(人)	その他	特にない、わからない	無回答
全体	1,271	3.7	10.0	2.6
山北1	242	3.3	6.6	2.5
山北2	185	2.7	11.9	3.2
向原1	120	3.3	10.8	4.2
向原2	224	6.3	11.6	3.1
岸1	166	5.4	11.4	1.8
岸2	129	0.8	8.5	0.0
共和地区	26	7.7	3.8	0.0
清水地区	105	1.9	7.6	3.8
三保地区	53	1.9	11.3	3.8

経年比較 町民アンケート R5年調査・H30 調査

(単位：%)

	調査数 (人)	地域の住民が減少・高齢化し活動が 難しくなっている	リーダーや役員となりうる人が不足 している	自治会(地域)の活動が多すぎる	自治会(地域)の活動に理解がなく 参加しない人が多い	小集落が点在する状況で自治会(地 域)の活動には限界がある	自治会(地域)の活動に参加するこ とが強制的であると感じる	行政の理解が不足している	自治会(地域)の活動には興味があ るが機会や時間がない	自治会(地域)の活動に興味があり 積極的に参加したい	※自治会の規模が小さすぎる	自治会(地域)の活動が少なすぎる	※自治会の規模が大きすぎる	※活動資金がない
R5 調査	1,271	53.7	34.1	13.7	10.5	9.8	9.4	5.0	4.6	2.9	2.3	1.9	1.3	-
H30 調査	1,307	49.4	7.4	13.9	13.9	13.8	13.8	4.4	6.7	4.0	-	1.1	-	2.4

	調査数 (人)	その他	特にない、わからない	無回答
R5 調査	1,271	3.7	10.0	2.6
H30 調査	1,307	3.7	15.8	3.4

※「自治会の規模が小さすぎる」と「自治会の規模が大きすぎる」は、R5調査のみ。

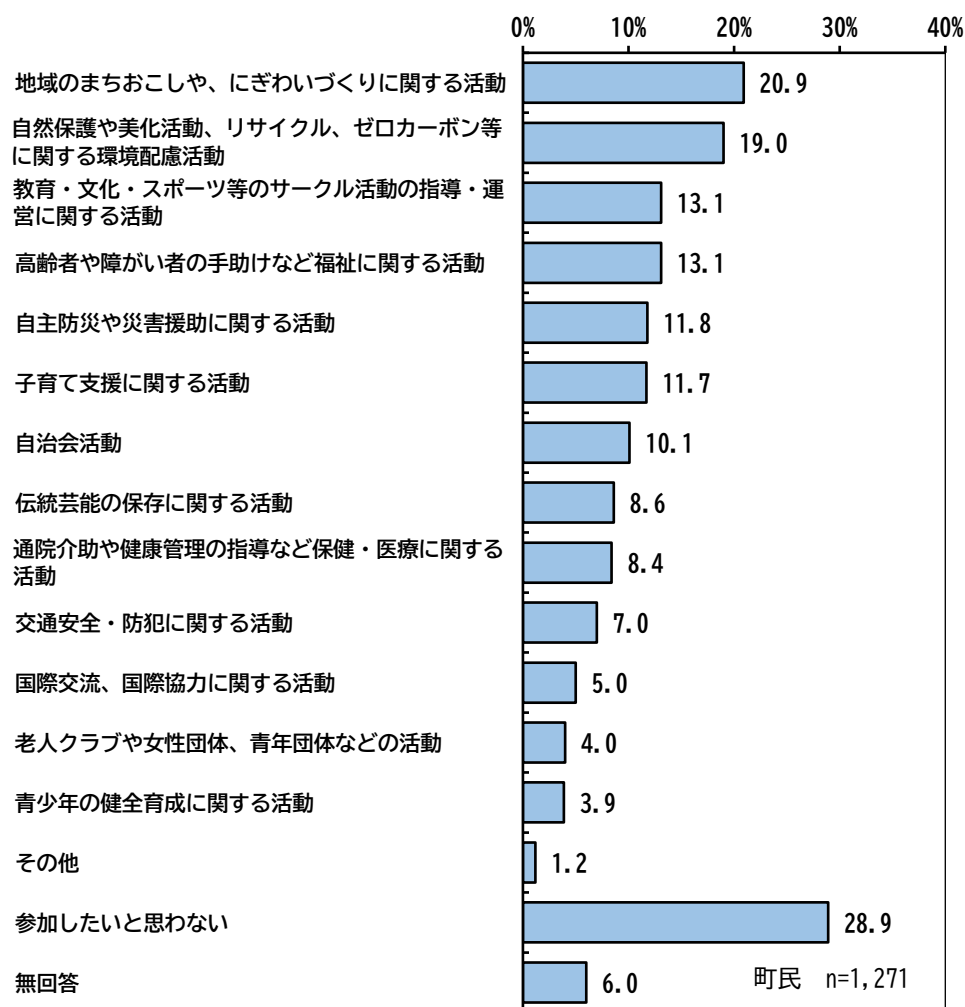
※「活動資金がない」は、H30調査のみ。

(16) あなたが積極的に参加したいと考えるまちづくり活動

Q：あなたが積極的に参加したいと考えるまちづくり活動はどのようなものですか。

(○はいくつでも)

【町民Q8、職員-】



町民：「参加したいと思わない」28.9%が最も多く、以下「地域のまちおこしや、にぎわいづくりに関する活動」20.9%、「自然保護や美化活動、リサイクル、ゼロカーボン等に関する環境配慮活動」19.0%、「教育・文化・スポーツ等のサークル活動の指導・運営に関する活動」と「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」が13.1%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査

(単位：%)

	調査数 (人)	地域のまちおこしや、にぎわいづくりに関する活動	※自然保護や美化活動、リサイクル、ゼロカーボン等に関する環境配慮活動	※教育・文化・スポーツ等のサークル活動の指導・運営に関する活動	高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動	自主防災や災害援助に関する活動	子育て支援に関する活動	自治会活動	伝統芸能の保存に関する活動	通院介助や健康管理の指導など保健・医療に関する活動	交通安全・防犯に関する活動	国際交流、国際協力に関する活動	老人クラブや女性団体、青年団体などの活動	青少年の健全育成に関する活動
R5調査	1,271	20.9	19.0	13.1	13.1	11.8	11.7	10.1	8.6	8.4	7.0	5.0	4.0	3.9
H30調査	1,307	20.0	16.8	12.5	15.7	16.1	10.9	24.5	6.4	10.6	9.6	3.9	7.3	4.3

	調査数 (人)	その他	参加したいと思わない	無回答
R5調査	1,271	1.2	28.9	6.0
H30調査	1,307	2.2	23.7	4.1

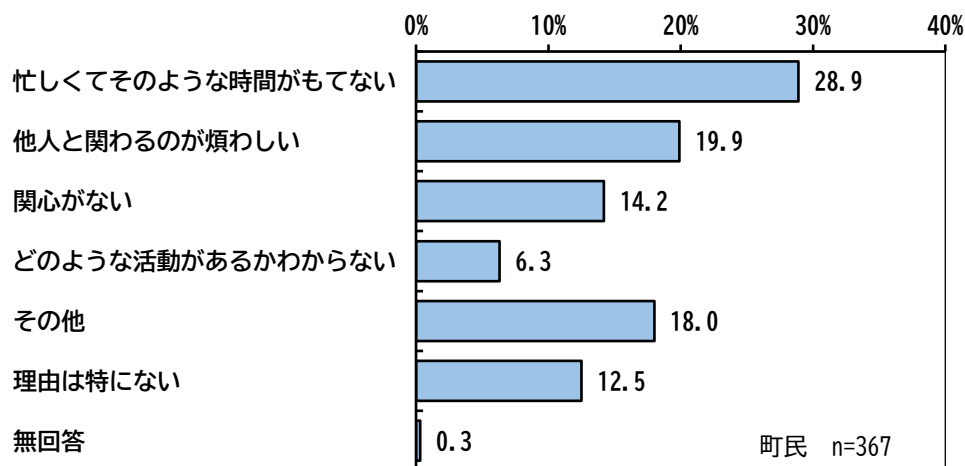
※「自然保護や美化活動、リサイクル、ゼロカーボン等に関する環境配慮活動」は、H30調査では「自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動」。

※「教育・文化・スポーツ等のサークル活動の指導・運営に関する活動」は、H30調査では「教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動」。

(17) 参加したいと思わない理由

Q：参加したいと思わない理由を教えてください。(○は1つだけ) 【町民Q 8-1、職員-】

※問8で「参加したいと思わない」と回答された方のみ。



町民：「忙しくてそのような時間がない」28.9%が最も多く、以下「他人と関わるのが煩わしい」19.9%、「その他」18.0%、「関心がない」14.2%、「理由は特にない」12.5%となっています。

経年比較 町民アンケートR 5年調査・H30 調査

(単位：%)

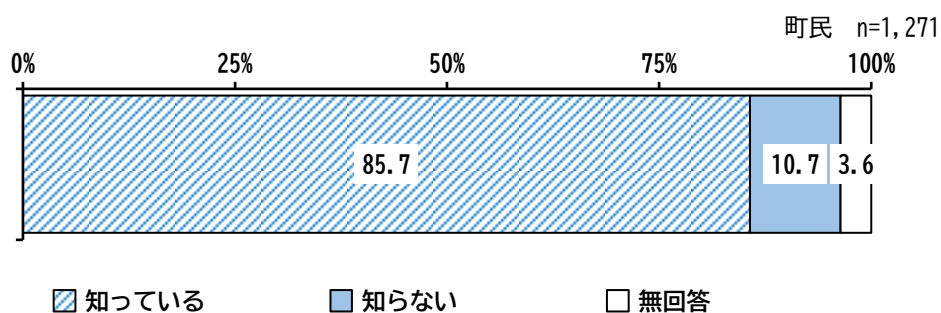
	調査数 (人)	忙しくて そのような 時間 がない	他人と 関わる のが 煩わ しい	関心 が ない	どの よう な 活 動 が あ る か わ か ら ない	その 他	理 由 は 特 に ない	無 回 答
R 5 調査	367	28.9	19.9	14.2	6.3	18.0	12.5	0.3
H30 調査	310	36.8	11.3	16.1	8.4	11.0	16.1	0.3

6 防災について

(18) 自治会（自主防災組織）で定めている一時避難場所の認知度

Q：あなたは、自治会（自主防災組織）で定めている一時避難場所をご存知ですか。（○は1つだけ）

【町民Q9、職員－】



町民：「知っている」85.7%が最も多く、以下「知らない」10.7%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査（単位：%）

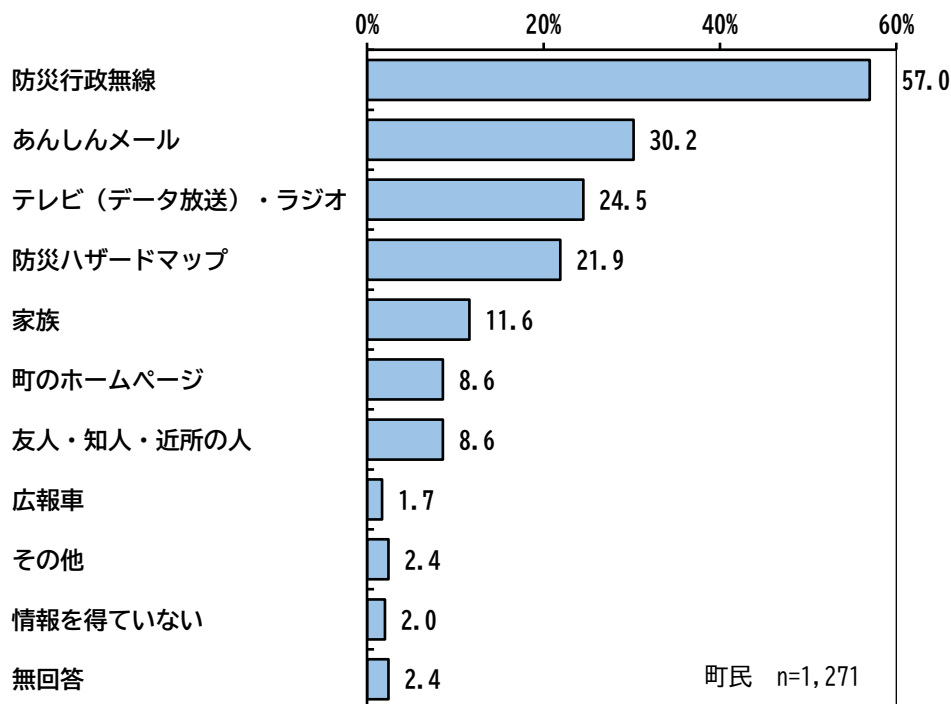
	調査数 (人)	知っている	知らない	無回答
R5調査	1,271	85.7	10.7	3.6
H30調査	1,307	85.3	11.9	2.8

(19) 避難情報などの防災に関する情報

Q：あなたは、避難情報などの防災に関する情報をどこから得ていますか。

(○は主なもの2つまで)

【町民Q10、職員－】



町民：「防災行政無線」57.0%が最も多く、以下「あんしんメール」30.2%、「テレビ(データ放送)・ラジオ」24.5%、「防災ハザードマップ」21.9%、「家族」11.6%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査

(単位：%)

	調査数 (人)	※防災行政無線	あんしんメール	ラジオ テレビ(データ放送)・ラ	※防災ハザードマップ	家族	町のホームページ	友人・知人・近所の人	広報車	その他	※情報を得ていない	無回答
R5調査	1,271	<u>57.0</u>	30.2	24.5	21.9	11.6	8.6	8.6	1.7	2.4	2.0	2.4
H30調査	1,307	<u>70.1</u>	29.3	23.9	—	13.4	5.4	8.7	5.2	1.1	3.4	2.0

※「防災行政無線」は、H30調査では「防災無線」。

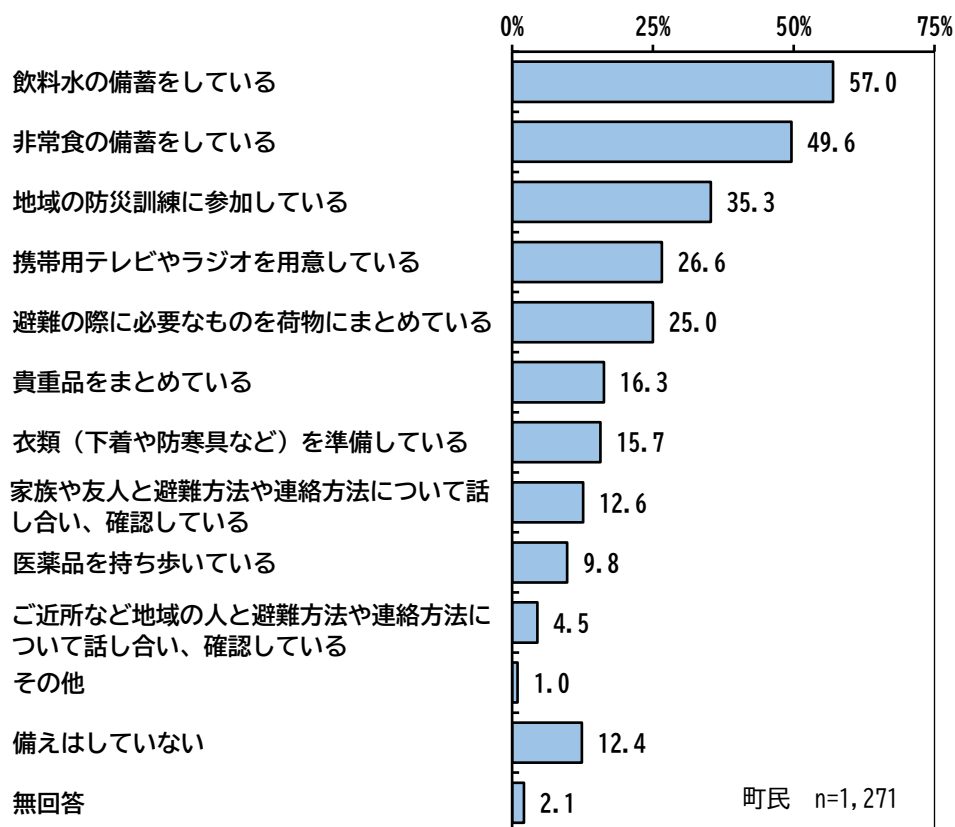
※「防災ハザードマップ」は、R5調査のみ。

※「情報を得ていない」は、H30調査では「特になし」。

(20) 日ごろから備えている災害対策

Q：あなたは日ごろから災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

【町民Q11、職員－】



町民：「飲料水の備蓄をしている」57.0%が最も多く、以下「非常食の備蓄をしている」49.6%、「地域の防災訓練に参加している」35.3%、「携帯用テレビやラジオを用意している」26.6%、「避難の際に必要なものを荷物にまとめている」25.0%となっています。

経年比較 町民アンケート R5年調査・H30調査

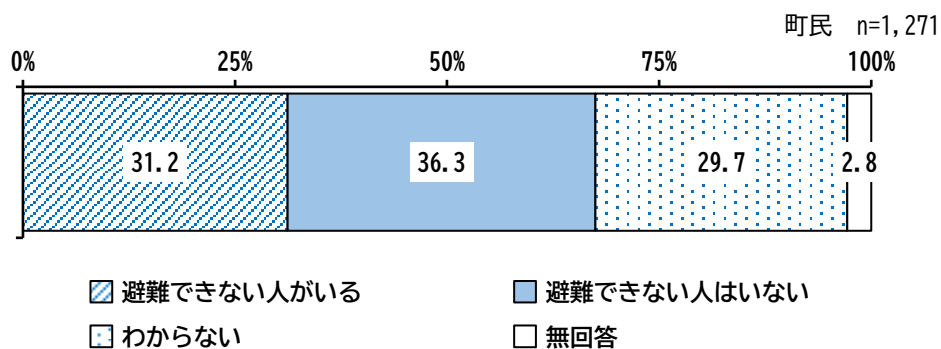
(単位：%)

	調査数 (人)	飲料水の備蓄をしている	非常食の備蓄をしている	地域の防災訓練に参加している	携帯用テレビやラジオを用意している	避難の際に必要なものを荷物にまとめている	貴重品をまとめている	衣類(下着や防寒具など)を準備している	家族や友人と避難方法や連絡方法について話し合い、確認している	医薬品を持ち歩いている	ご近所など地域の人と避難方法や連絡方法について話し合い、確認している	※緊急避難用の防災セットを準備している	その他	備えはしていない	無回答
R5調査	1,271	57.0	49.6	35.3	26.6	25.0	16.3	15.7	12.6	9.8	4.5	—	1.0	12.4	2.1
H30調査	1,307	46.6	37.5	43.2	29.1	20.4	15.3	13.2	13.7	6.6	4.1	22.0	1.1	14.7	1.9

※「緊急避難用の防災セットを準備している」は、H30調査のみ。

(21) あなたの近所に自力で避難できない人がいるか

Q：あなたの近所に自力で避難できない人はいますか。(○は1つだけ) 【町民Q12、職員ー】



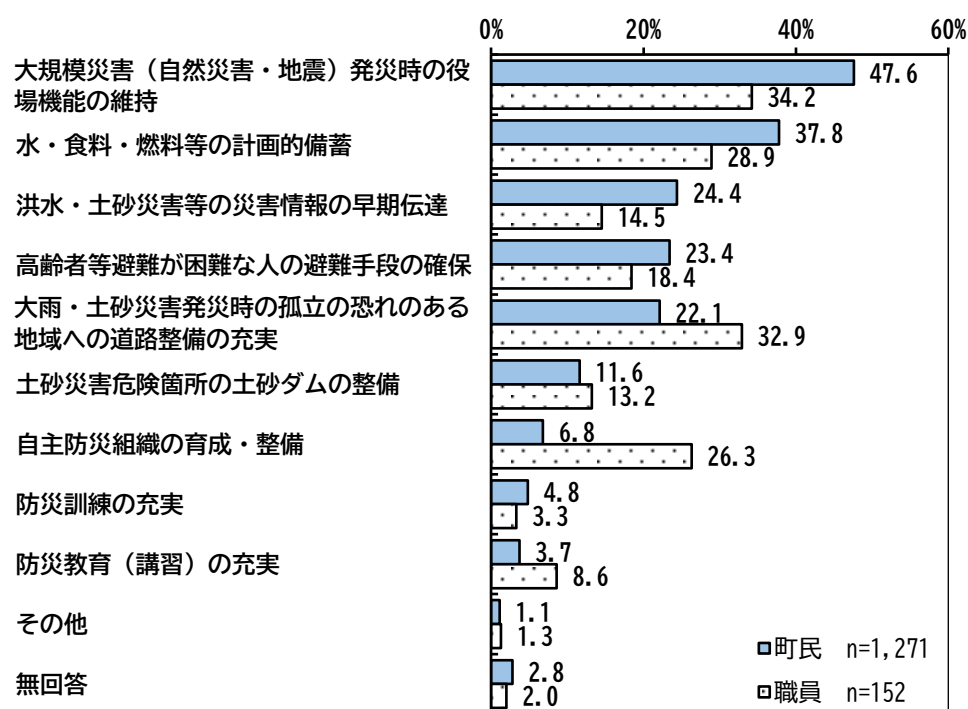
町民：「避難できない人はいない」36.3%が最も多く、以下「避難できない人がいる」31.2%、「わからない」29.7%となっています。

(22) 今後、山北町がすすめるべき優先順位の高い防災対策

Q：今後、山北町がすすめるべき防災対策として優先順位の高いものは何ですか。

(○は主なもの2つまで)

【町民Q13、職員Q6】



町民：「大規模災害（自然災害・地震）発災時の役場機能の維持」47.6%が最も多く、以下「水・食料・燃料等の計画的備蓄」37.8%、「洪水・土砂災害等の災害情報の早期伝達」24.4%、「高齢者等避難が困難な人の避難手段の確保」23.4%、「大雨・土砂災害発災時の孤立の恐れのある地域への道路整備の充実」22.1%となっています。

職員：「大規模災害（自然災害・地震）発災時の役場機能の維持」34.2%が最も多く、以下「大雨・土砂災害発災時の孤立の恐れのある地域への道路整備の充実」32.9%、「水・食料・燃料等の計画的備蓄」28.9%、「自主防災組織の育成・整備」26.3%、「高齢者等避難が困難な人の避難手段の確保」18.4%となっています。

経年比較 町民アンケート R5年調査・H30調査

(単位：%)

	調査数 (人)	大規模災害(自然災害・地震)発災時の役場機能の維持	水・食料・燃料等の計画的備蓄	※洪水・土砂災害等の災害情報の早期伝達	高齢者等避難が困難な人の避難手段の確保	大雨・土砂災害発災時の孤立の恐れのある地域への道路整備の充実	土砂災害危険箇所土砂ダムの整備	※自主防災組織の育成・整備	防災訓練の充実	※防災教育(講習)の充実	※防災マップ等の住民への配布	※災害発生が想定しうる際の情報の早期提供	その他	無回答
R5調査	1,271	47.6	37.8	24.4	23.4	22.1	11.6	6.8	4.8	3.7	-	-	1.1	2.8
H30調査	1,307	40.9	41.5	-	21.9	26.2	10.2	-	3.1	-	10.4	27.2	1.6	2.8

※「洪水・土砂災害等の災害情報の早期伝達」は、R5調査のみ。

※「自主防災組織の育成・整備」は、R5調査のみ。

※「防災教育(講習)の充実」は、R5調査のみ。

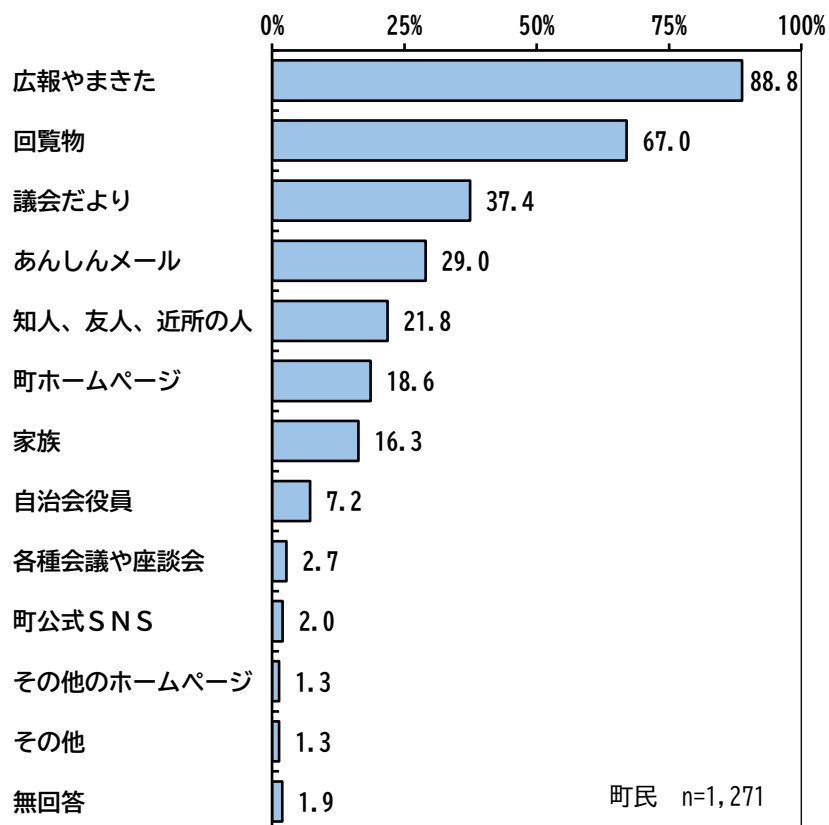
※「防災マップ等の住民への配布」は、H30調査のみ。

※「災害発生が想定しうる際の情報の早期提供」は、H30調査のみ。

7 まちからの情報発信について

(23) 山北町に関する情報の入手手段

Q：山北町に関する情報をどのようにして得ていますか。(〇はいくつでも) 【町民Q14、職員－】



町民：「広報やまきた」88.8%が最も多く、以下「回覧物」67.0%、「議会だより」37.4%、「あんしんメール」29.0%、「知人、友人、近所の人」21.8%となっています。

クロス集計 年代別（令和5年2月1日現在）

（単位：％）

	調査数 （人）	広報やまきた	回覧物	議会だより	あんしんメール	知人、友人、近所の人	町ホームページ	家族	自治会役員	各種会議や座談会	町公式SNS	その他のホームページ	その他	無回答
全体	1,271	<u>88.8</u>	67.0	37.4	29.0	21.8	18.6	16.3	7.2	2.7	2.0	1.3	1.3	1.9
30歳未満	66	<u>68.2</u>	31.8	9.1	15.2	12.1	16.7	51.5	0.0	0.0	4.5	1.5	1.5	0.0
30代	70	<u>82.9</u>	48.6	20.0	17.1	24.3	27.1	37.1	1.4	0.0	7.1	0.0	2.9	0.0
40代	114	<u>84.2</u>	60.5	30.7	31.6	17.5	24.6	21.1	2.6	1.8	1.8	0.9	0.0	0.0
50代	160	<u>88.1</u>	65.0	32.5	36.9	13.8	23.8	13.8	4.4	1.3	1.3	2.5	1.9	0.6
60代	300	<u>93.0</u>	75.3	42.3	35.7	20.0	22.3	9.3	8.7	2.0	1.3	1.0	1.3	1.7
70代	346	<u>92.5</u>	73.1	45.7	29.8	27.5	13.0	11.6	9.5	4.3	1.7	0.9	0.3	2.0
80歳以上	153	<u>90.8</u>	70.6	39.9	17.0	29.4	9.8	13.1	12.4	3.3	0.7	1.3	2.6	3.9

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査

（単位：％）

	調査数 （人）	広報やまきた	回覧物	議会だより	あんしんメール	知人、友人、近所の人	町ホームページ	家族	自治会役員	各種会議や座談会	※町公式SNS	※その他のホームページ	その他	無回答
R5調査	1,271	<u>88.8</u>	67.0	37.4	29.0	21.8	18.6	16.3	7.2	2.7	2.0	1.3	1.3	1.9
H30調査	1,307	<u>88.7</u>	63.6	39.2	25.6	20.7	13.6	17.6	6.6	3.7	—	3.8	0.9	1.7

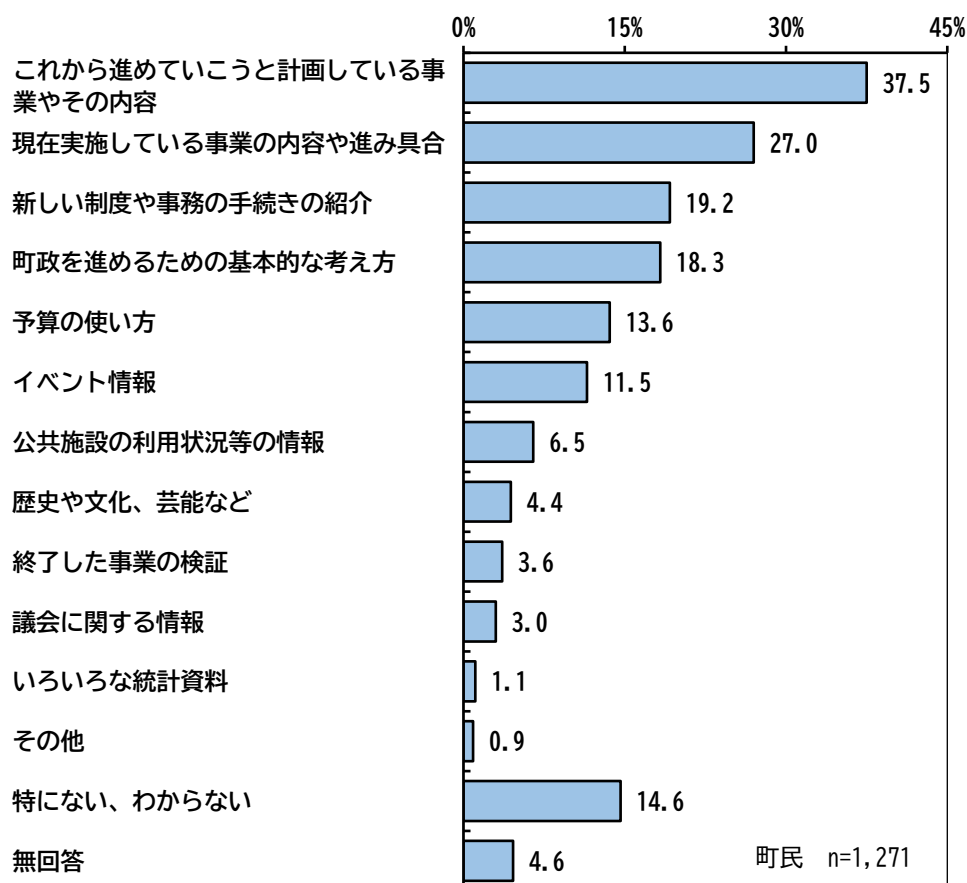
※「町公式SNS」はR5調査のみ。

※「その他のホームページ」は、H30調査では「インターネットのその他のホームページ」。

(24) 町政について日ごろから知りたいと思っている情報

Q：町政について日ごろから知りたいと思っている情報は何か。(〇は主なもの2つまで)

【町民Q15、職員－】



町民：「これから進めていこうと計画している事業やその内容」37.5%が最も多く、以下「現在実施している事業の内容や進み具合」27.0%、「新しい制度や事務の手続きの紹介」19.2%、「町政を進めるための基本的な考え方」18.3%、「特にない、わからない」14.6%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査

(単位：%)

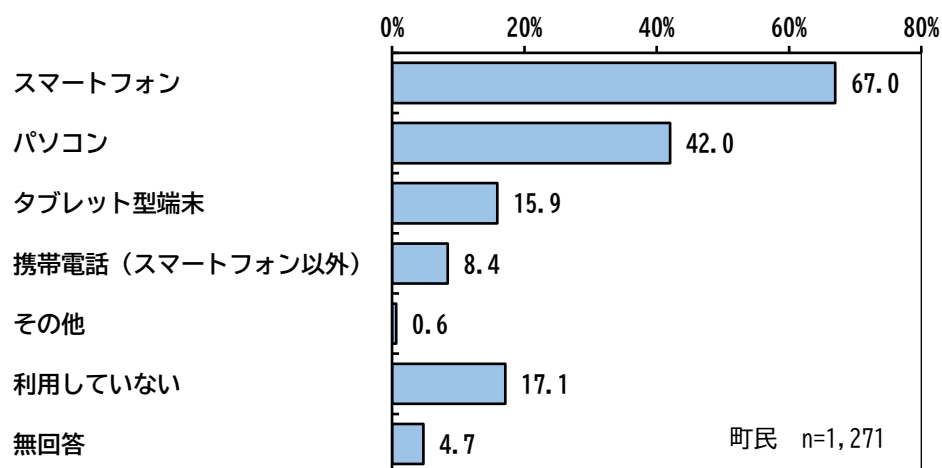
	調査数 (人)	これから進めていこうと計画している事業やその内容	現在実施している事業の内容や進み具合	新しい制度や事務の手続きの紹介	町政を進めるための基本的な考え方	予算の使い方	※イベント情報	公共施設の利用状況等の情報	歴史や文化、芸能など	終了した事業の検証	議会に関する情報	いろいろな統計資料
R5調査	1,271	37.5	27.0	19.2	18.3	13.6	11.5	6.5	4.4	3.6	3.0	1.1
H30調査	1,307	39.8	23.0	17.4	11.7	14.5	16.9	6.4	3.1	-	2.6	0.8

	調査数 (人)	その他	特にない、わからない	無回答
R5調査	1,271	0.9	14.6	4.6
H30調査	1,307	1.2	16.8	4.4

※「イベント情報」は、H30調査では「行事や催し物など」。

(25) どのような機器を使用しインターネットを利用しているか

Q:インターネットを利用していますか。利用している場合、どのような機器を使用していますか。
(〇はいくつでも) 【町民Q16、職員ー】



町民:「スマートフォン」67.0%が最も多く、以下「パソコン」42.0%、「利用していない」17.1%、「タブレット型端末」15.9%、「携帯電話 (スマートフォン以外)」8.4%となっています。

クロス集計 年代別（令和5年2月1日現在）

（単位：％）

	調査数 （人）	スマートフォン	パソコン	タブレット型端末	携帯電話（スマートフォン以外）	その他	利用していない	無回答
全体	1,271	<u>67.0</u>	42.0	15.9	8.4	0.6	17.1	4.7
30歳未満	66	<u>100.0</u>	62.1	31.8	0.0	1.5	0.0	0.0
30代	70	<u>100.0</u>	54.3	42.9	4.3	2.9	0.0	0.0
40代	114	<u>91.2</u>	63.2	25.4	1.8	1.8	4.4	0.9
50代	160	<u>91.9</u>	56.9	18.8	4.4	0.0	3.8	0.0
60代	300	<u>72.7</u>	51.3	16.0	5.7	0.3	12.7	2.3
70代	346	<u>49.7</u>	28.3	8.4	12.1	0.3	28.0	6.6
80歳以上	153	25.5	11.8	3.3	19.0	0.7	<u>39.2</u>	14.4

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査（単位：％）

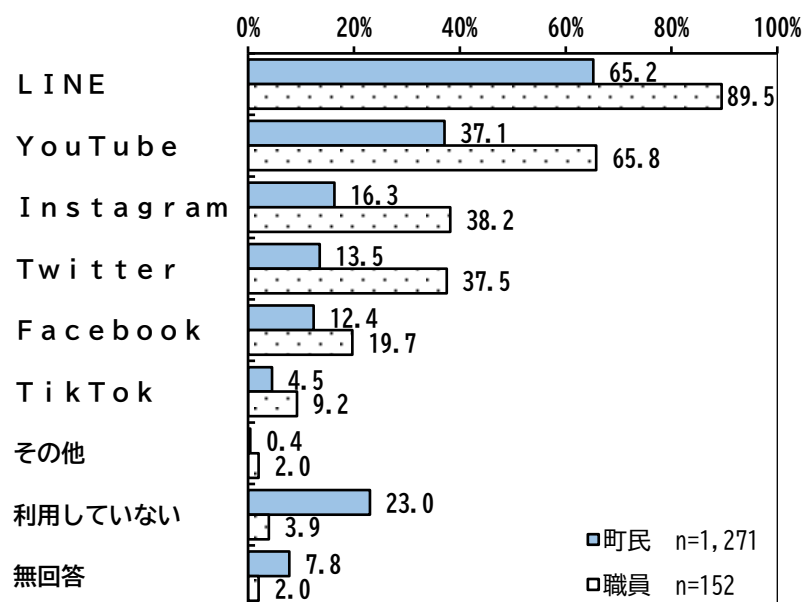
	調査数 （人）	※スマートフォン	パソコン	※タブレット型端末	※携帯電話（スマートフォン以外）	その他	利用していない	無回答
R5調査	1,271	<u>67.0</u>	42.0	15.9	8.4	0.6	17.1	4.7
H30調査	1,307	<u>64.7</u>	46.8	18.9	—	0.2	24.9	2.4

※「スマートフォン」は、H30調査では「携帯電話（スマートフォン含む）」。
 ※「タブレット型端末」は、H30調査では「タブレット」。
 ※「携帯電話（スマートフォン以外）」は、R5調査のみ。

(26) 利用しているSNS

Q：どのようなSNSを利用していますか。(〇はいくつでも)

【町民Q17、職員Q7】



町民：「LINE」65.2%が最も多く、以下「YouTube」37.1%、「利用していない」23.0%、「Instagram」16.3%、「Twitter」13.5%となっています。

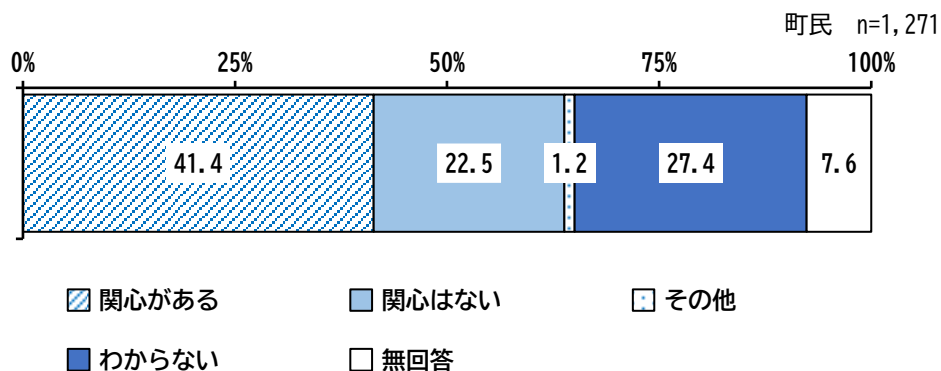
職員：「LINE」89.5%が最も多く、以下「YouTube」65.8%、「Instagram」38.2%、「Twitter」37.5%、「Facebook」19.7%となっています。

(27) SNS等を活用した山北町からの情報提供や収集への関心

Q：あなたはSNS等を活用した山北町からの情報提供や収集に関心はありますか。

(○は1つだけ)

【町民Q18、職員－】



町民：「関心がある」41.4%が最も多く、以下「わからない」27.4%、「関心はない」22.5%、「その他」1.2%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査 (単位：%)

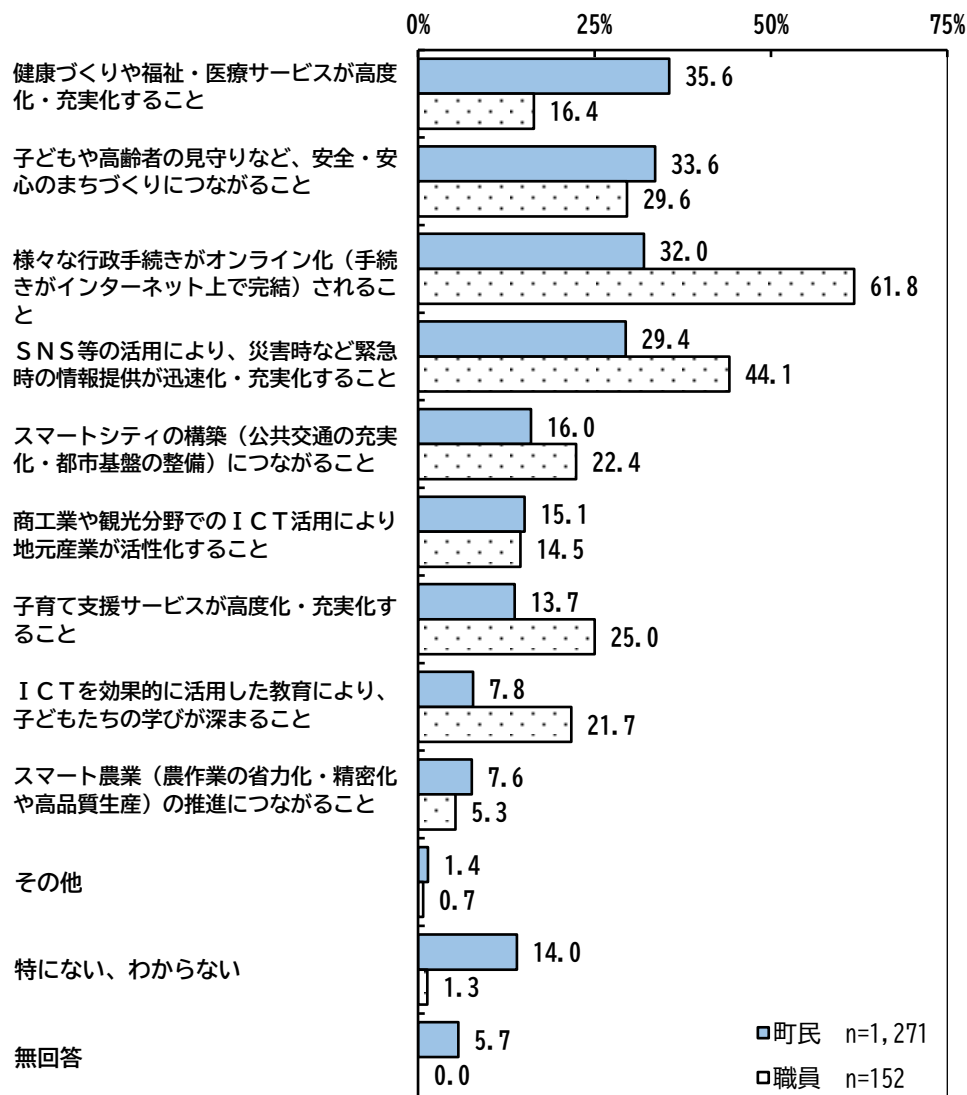
	調査数 (人)	関心がある	関心はない	その他	わからない	無回答
R5調査	1,271	41.4	22.5	1.2	27.4	7.6
H30調査	1,307	25.6	34.2	1.4	29.3	9.6

(28) 地域社会のデジタル化が進むなかで期待すること

Q：地域社会のデジタル化が進むなかで、あなたが期待することは何ですか。

(○は主なもの3つまで)

【町民Q19、職員Q8】



町民：「健康づくりや福祉・医療サービスが高度化・充実化すること」35.6%が最も多く、以下「子どもや高齢者の見守りなど、安全・安心のまちづくりにつながること」33.6%、「様々な行政手続きがオンライン化（手続きがインターネット上で完結）されること」32.0%、「SNS等の活用により、災害時など緊急時の情報提供が迅速化・充実化すること」29.4%、「スマートシティの構築（公共交通の充実化・都市基盤の整備）につながること」16.0%となっています。

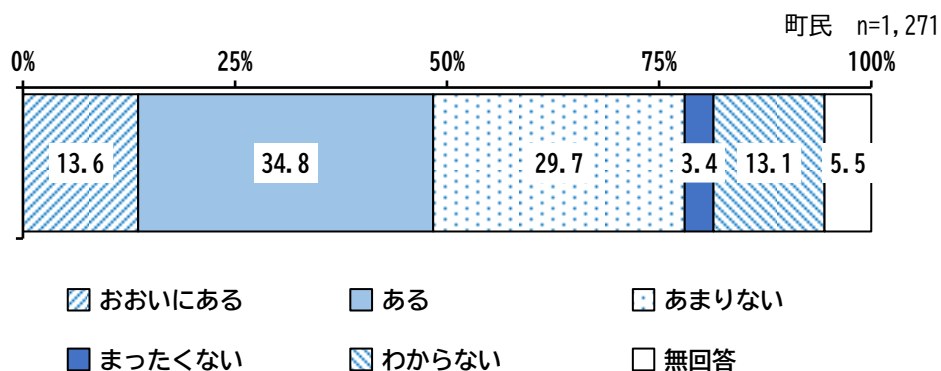
職員：「様々な行政手続きがオンライン化（手続きがインターネット上で完結）されること」61.8%が最も多く、以下「SNS等の活用により、災害時など緊急時の情報提供が迅速化・充実化すること」44.1%、「子どもや高齢者の見守りなど、安全・安心のまちづくりにつながること」29.6%、「子育て支援サービスが高度化・充実化すること」25.0%、「スマートシティの構築（公共交通の充実化・都市基盤の整備）につながること」22.4%となっています。

8 教育について

(29) 山北町の教育の関心度

Q：山北町の教育に関心がありますか。(○は1つだけ)

【町民Q20、職員－】



町民：「ある」34.8%が最も多く、以下「あまりない」29.7%、「おおいにある」13.6%、「わからない」13.1%、「まったくない」3.4%となっています。

「おおいにある」と「ある」を合わせた『ある』は、48.4%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査 (単位：%)

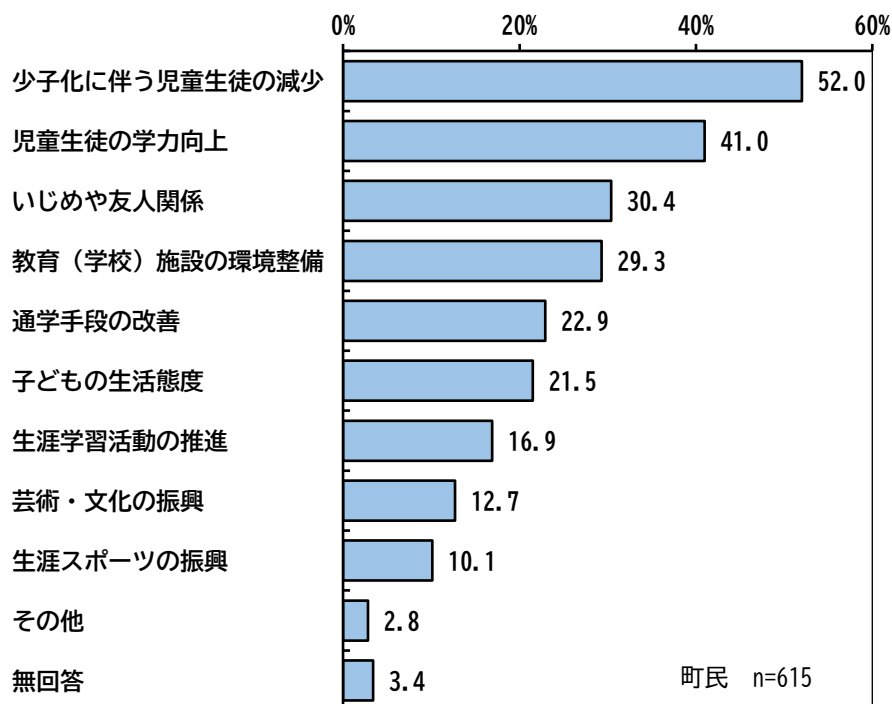
	調査数 (人)	おおいにある	ある	あまりない	まったくない	わからない	無回答
R5調査	1,271	13.6	<u>34.8</u>	29.7	3.4	13.1	5.5
H30調査	1,307	13.9	<u>36.1</u>	27.5	4.7	15.8	1.9

(30) 課題と感ずること

Q：課題と感ずることはありますか。(○は主なもの3つまで)

【町民Q20-1、職員-】

※問20で「おおいにある」または「ある」と回答された方にお伺いします。



町民：「少子化に伴う児童生徒の減少」52.0%が最も多く、以下「児童生徒の学力向上」41.0%、「いじめや友人関係」30.4%、「教育(学校)施設的环境整備」29.3%、「通学手段の改善」22.9%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査

(単位：%)

	調査数 (人)	少子化に伴う児童生徒の減少	児童生徒の学力向上	いじめや友人関係	教育(学校)施設的环境整備	通学手段の改善	子どもの生活態度	生涯学習活動の推進	芸術・文化の振興	生涯スポーツの振興	その他	無回答
R5調査	615	<u>52.0</u>	41.0	30.4	29.3	22.9	21.5	16.9	12.7	10.1	2.8	3.4
H30調査	654	<u>48.0</u>	37.9	37.9	26.9	17.9	26.0	19.1	13.5	12.8	2.6	2.8

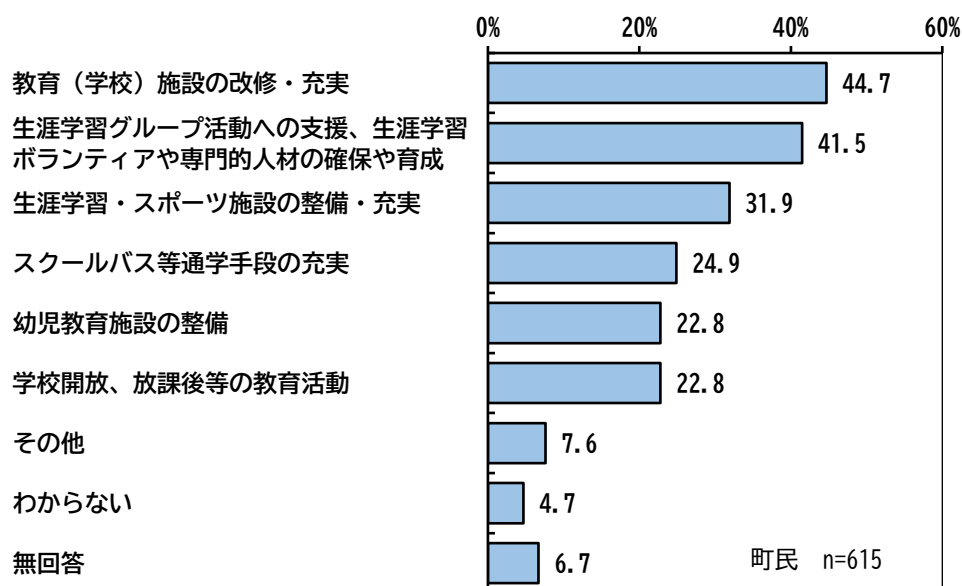
(31) 課題を解決するために必要な対策

Q：問 20-1 で回答いただいた課題を解決するためにはどのような対策が必要と考えますか。

(○は主なもの3つまで)

【町民Q20-2、職員-】

※問 20 で「おおいにある」または「ある」と回答された方にお伺いします。



町民：「教育（学校）施設の改修・充実」44.7%が最も多く、以下「生涯学習グループ活動への支援、生涯学習ボランティアや専門的人材の確保や育成」41.5%、「生涯学習・スポーツ施設の整備・充実」31.9%、「スクールバス等通学手段の充実」24.9%、「幼児教育施設の整備」と「学校開放、放課後等の教育活動」が22.8%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査（単位：％）

	調査数（人）	教育（学校）施設の改修・充実	生涯学習グループ活動への支援、生涯学習ボランティアや専門的人材の確保や育成	生涯学習・スポーツ施設の整備・充実	スクールバス等通学手段の充実	幼児教育施設の整備	学校開放、放課後等の教育活動	※学校区の自由化	その他	わからない	無回答
R5調査	615	44.7	41.5	31.9	24.9	22.8	22.8	—	7.6	4.7	6.7
H30調査	654	38.8	41.1	31.5	24.0	23.4	20.9	10.1	7.2	4.0	5.7

※「学校区の自由化」は、H30調査のみ。

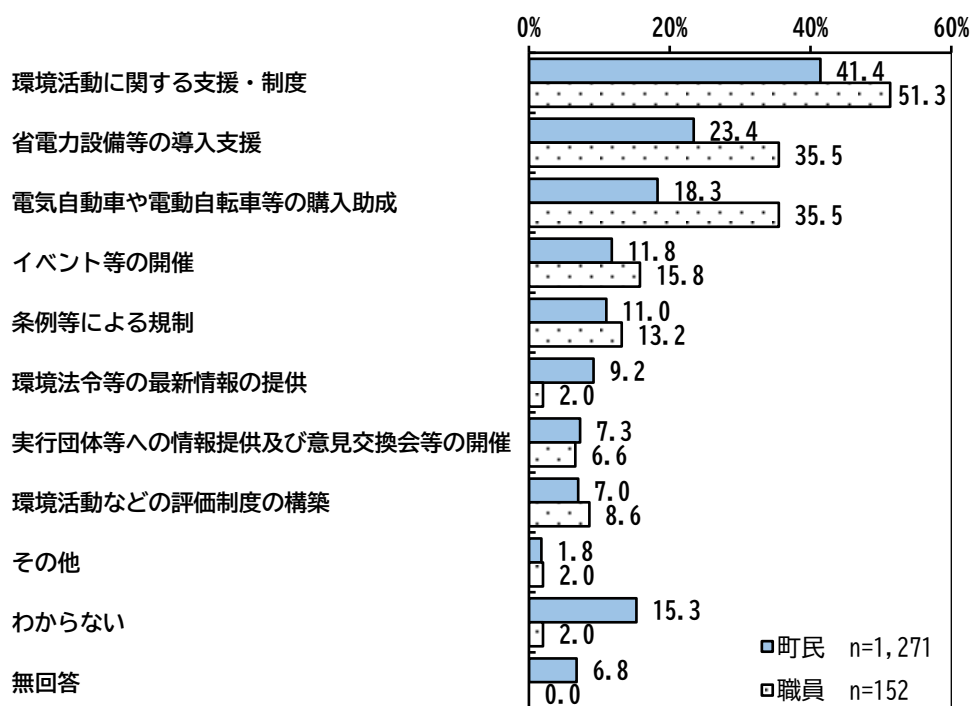
9 生活環境について

(32) 必要な環境にやさしいまちづくりの取り組み

Q：環境にやさしいまちづくりの取り組みとして必要だと思うことは何ですか。

(○は主なもの2つまで)

【町民Q21、職員Q9】



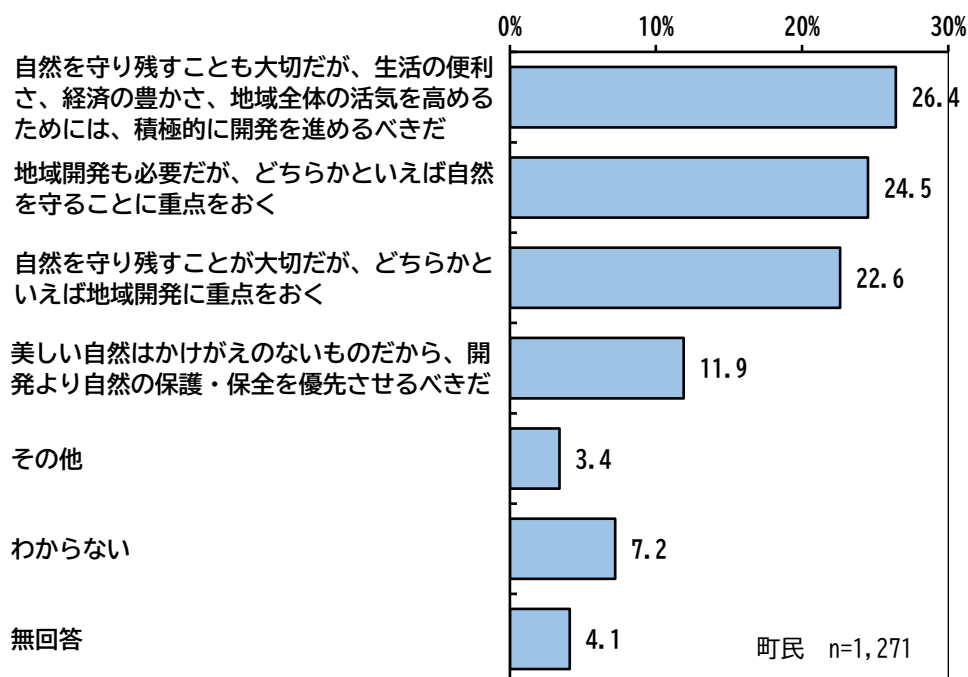
町民：「環境活動に関する支援・制度」41.4%が最も多く、以下「省電力設備等の導入支援」23.4%、「電気自動車や電動自転車等の購入助成」18.3%、「わからない」15.3%、「イベント等の開催」11.8%となっています。

職員：「環境活動に関する支援・制度」51.3%が最も多く、以下「省電力設備等の導入支援」と「電気自動車や電動自転車等の購入助成」が35.5%、「イベント等の開催」15.8%、「条例等による規制」13.2%となっています。

10 土地の利活用について

(33) 開発と保全についての考え

Q：地域開発を進めていく場合、自然環境の保護・保全が課題となります。あなたは開発と保全についてどのようにお考えですか。(○は1つだけ) 【町民Q22、職員ー】



町民：「自然を守り残すことも大切だが、生活の便利さ、経済の豊かさ、地域全体の活気を高めるためには、積極的に開発を進めるべきだ」26.4%が最も多く、以下「地域開発も必要だが、どちらかといえば自然を守ることに重点をおく」24.5%、「自然を守り残すことが大切だが、どちらかといえば地域開発に重点をおく」22.6%、「美しい自然はかけがえのないものだから、開発より自然の保護・保全を優先させるべきだ」11.9%、「わからない」7.2%となっています。

経年比較 町民アンケート R5年調査・H30調査 (単位：%)

	調査数 (人)	※自然を守り残すことも大切だが、生活の 便利さ、経済の豊かさ、地域全体の活気を 高めるためには、積極的に開発を進める べきだ	※地域開発も必要だが、どちらかとい えば自然を守ることに重点をおく	※自然を守り残すことが大切だが、ど ちらかといえば地域開発に重点をおく	※美しい自然はかけがえないものだから、 開発より自然の保護・保全を優先させ るべきだ	その他	わからない	無回答
R5調査	1,271	26.4	24.5	22.6	11.9	3.4	7.2	4.1
H30調査	1,307	33.3	19.9	25.6	11.3	3.2	5.1	1.6

※「自然を守り残すことも大切だが、生活の便利さ、経済の豊かさ、地域全体の活気を高めるためには、積極的に開発を進めるべきだ」は、H30調査では「生活の便利さ、経済の豊かさ、地域全体の活気を高めるために、積極的に開発を進めるべきだ」。

※「地域開発も必要だが、どちらかといえば自然を守ることに重点をおく」は、H30調査では「どちらかといえば自然を守ることに重点をおく」。

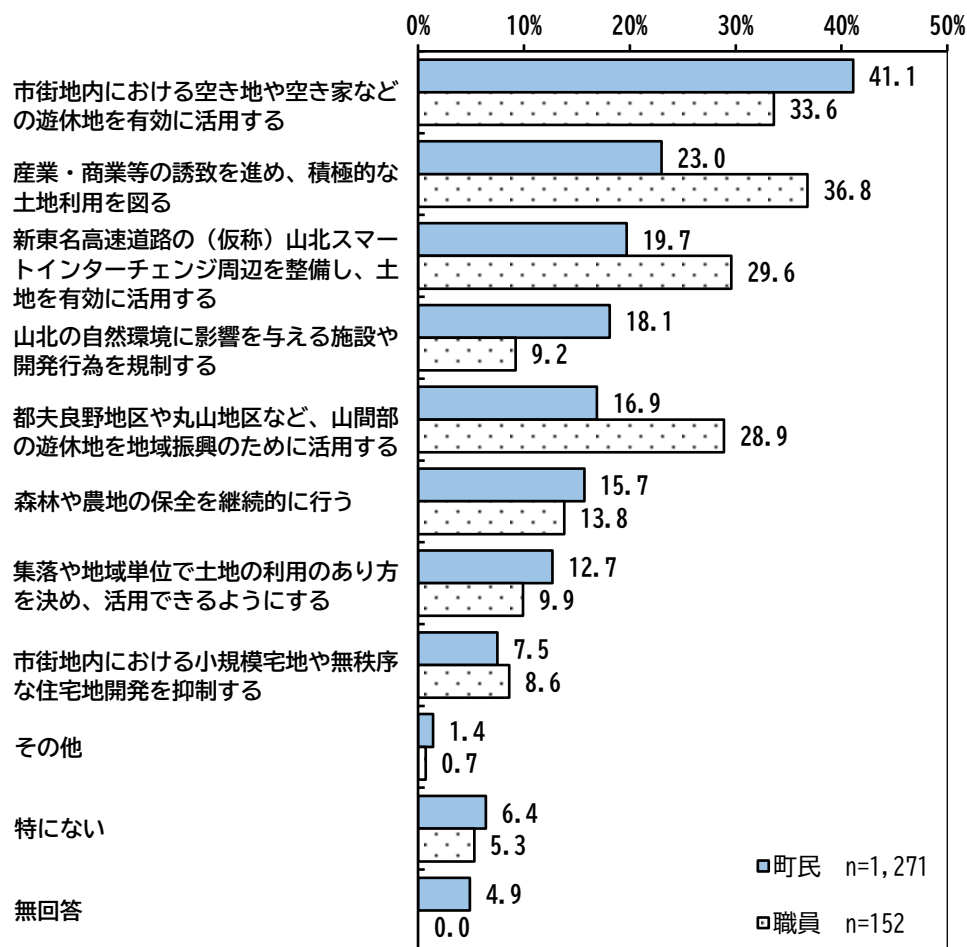
※「自然を守り残すことが大切だが、どちらかといえば地域開発に重点をおく」は、H30調査では「どちらかといえば地域開発に重点をおく」。

※「美しい自然はかけがえないものだから、開発より自然の保護・保全を優先させるべきだ」は、H30調査では「開発より自然の保護・保全を優先させるべきだ」。

(34) 土地の利用について特に重要な取り組み

Q：土地の利用について特に重要な取り組みは何ですか。(○は主なもの2つまで)

【町民Q23、職員Q10】



町民：「市街地内における空き地や空き家などの遊休地を有効に活用する」41.1%が最も多く、以下「産業・商業等の誘致を進め、積極的な土地利用を図る」23.0%、「新東名高速道路の（仮称）山北スマートインターチェンジ周辺を整備し、土地を有効に活用する」19.7%、「山北の自然環境に影響を与える施設や開発行為を規制する」18.1%、「都夫良野地区や丸山地区など、山間部の遊休地を地域振興のために活用する」16.9%となっています。

職員：「産業・商業等の誘致を進め、積極的な土地利用を図る」36.8%が最も多く、以下「市街地内における空き地や空き家などの遊休地を有効に活用する」33.6%、「新東名高速道路の（仮称）山北スマートインターチェンジ周辺を整備し、土地を有効に活用する」29.6%、「都夫良野地区や丸山地区など、山間部の遊休地を地域振興のために活用する」28.9%、「森林や農地の保全を継続的に行う」13.8%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査

(単位：%)

	調査数 (人)	市街地内における空き地や空き家などの遊休地を有効に活用する	産業・商業等の誘致を進め、積極的な土地利用を図る	※新東名高速道路の（仮称）山北スマートインターチェンジ周辺を整備し、土地を有効に活用する	山北の自然環境に影響を与える施設や開発行為を規制する	都夫良野地区や丸山地区など、山間部の遊休地を地域振興のために活用する	森林や農地の保全を継続的に行う	集落や地域単位で土地の利用のあり方を決め、活用できるようにする	市街地内における小規模宅地や無秩序な住宅地開発を抑制する	その他	特にない	無回答
R5調査	1,271	<u>41.1</u>	23.0	19.7	18.1	16.9	15.7	12.7	7.5	1.4	6.4	4.9
H30調査	1,307	<u>37.5</u>	36.4	22.5	11.9	18.1	12.2	12.5	5.5	1.9	5.6	3.7

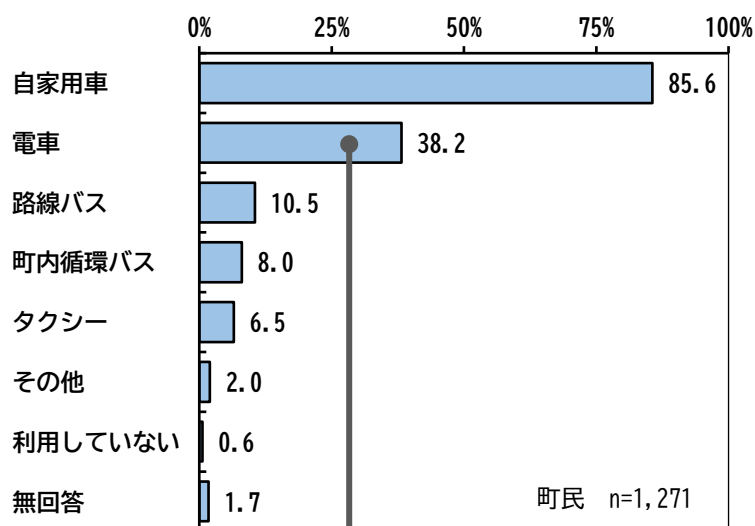
※「新東名高速道路の（仮称）山北スマートインターチェンジ周辺を整備し、土地を有効に活用する」は、H30調査では「新東名のスマートインターチェンジ周辺を整備し、土地を有効に活用する」。

11 生活交通について

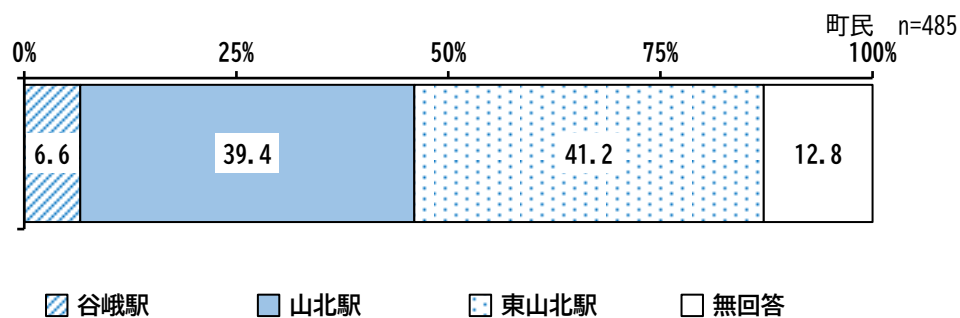
(35) 普段利用している交通手段・主な利用駅

Q：あなたが普段、利用している交通手段を教えてください。(〇はいくつでも)

【町民Q24、職員-】



<電車の主な利用駅>



町民：普段利用している交通手段では、「自家用車」85.6%が最も多く、以下「電車」38.2%、「路線バス」10.5%、「町内循環バス」8.0%、「タクシー」6.5%となっています。

電車を利用している方の主な利用駅では、「東山北駅」41.2%が最も多く、以下「山北駅」39.4%、「谷峨駅」6.6%となっています。

経年比較 町民アンケート R5年調査・H30調査 (単位：%)

	調査数 (人)	自家用車	電車	路線バス	※町内循環バス	※タクシー	その他	利用していない	無回答
R5調査	1,271	85.6	38.2	10.5	8.0	6.5	2.0	0.6	1.7
H30調査	1,307	81.3	42.5	9.3	7.0	—	2.7	1.1	1.1

※「町内循環バス」は、H30調査では「町循環バス」。

※「タクシー」は、R5調査のみ。

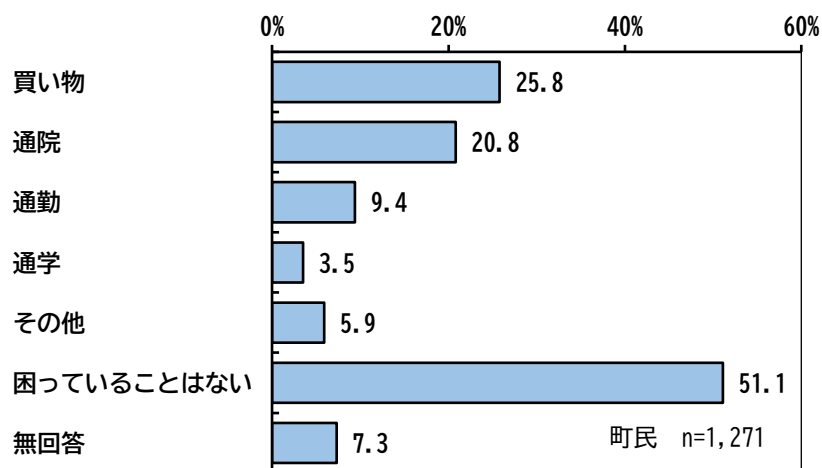
<電車の主な利用駅>

	調査数 (人)	谷峨駅	山北駅	東山北駅	無回答
R5調査	485	6.6	39.4	41.2	12.8
H30調査	556	7.0	41.9	45.3	5.8

(36) 日常生活において交通手段に困っていること

Q：日常生活において交通手段に困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

【町民Q25、職員－】



町民：「困っていることはない」51.1%が最も多く、以下「買い物」25.8%、「通院」20.8%、「通勤」9.4%、「その他」5.9%となっています。

クロス集計 地区別

(単位：%)

	調査数 (人)	買い物	通院	通勤	通学	その他	困っていることはない	無回答
全体	1,271	<u>25.8</u>	20.8	9.4	3.5	5.9	<u>51.1</u>	7.3
山北1	242	<u>35.1</u>	25.6	10.3	3.7	7.4	<u>45.9</u>	5.8
山北2	185	<u>39.5</u>	20.5	11.9	3.8	2.7	<u>40.0</u>	9.2
向原1	120	<u>23.3</u>	17.5	9.2	2.5	6.7	<u>52.5</u>	9.2
向原2	224	<u>9.8</u>	9.4	8.0	4.5	6.7	<u>64.3</u>	8.0
岸1	166	24.1	<u>25.9</u>	10.2	4.2	9.0	<u>48.8</u>	6.6
岸2	129	14.0	<u>19.4</u>	7.8	3.1	7.0	<u>60.5</u>	5.4
共和地区	26	<u>30.8</u>	<u>30.8</u>	7.7	3.8	11.5	<u>50.0</u>	7.7
清水地区	105	<u>28.6</u>	22.9	5.7	1.0	1.9	<u>50.5</u>	5.7
三保地区	53	<u>32.1</u>	26.4	7.5	1.9	0.0	<u>47.2</u>	9.4

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査

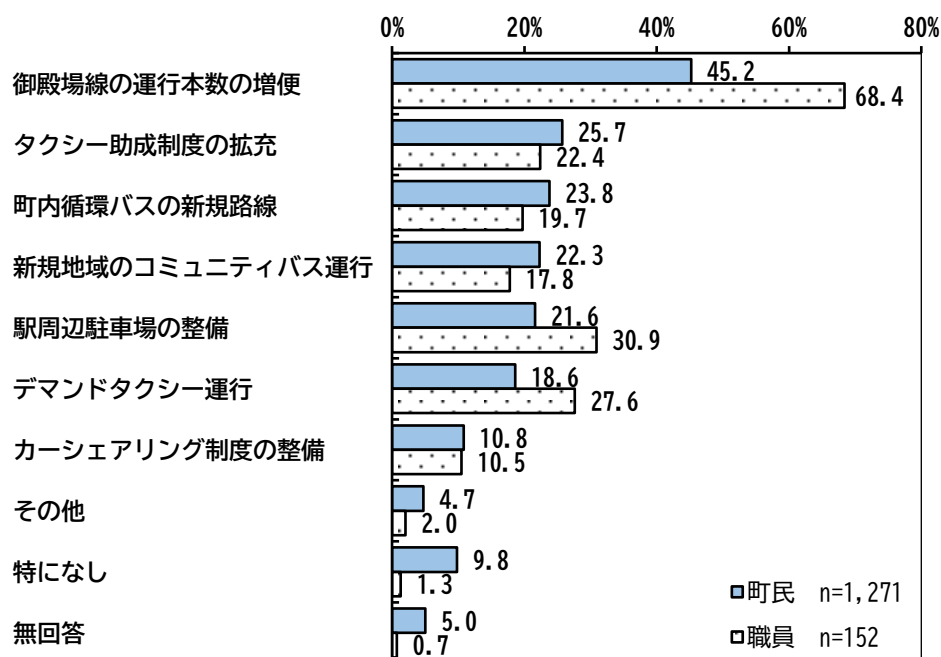
(単位：%)

	調査数 (人)	買い物	通院	通勤	通学	その他	困っていることはない	無回答
R5調査	1,271	<u>25.8</u>	20.8	9.4	3.5	5.9	<u>51.1</u>	7.3
H30調査	1,307	<u>37.2</u>	25.6	21.0	11.3	6.1	<u>37.0</u>	4.7

(37) 新たな整備・拡充を望む交通手段

Q：今後、新たな整備・拡充を望む交通手段（交通施策）は何ですか。（○はいくつでも）

【町民Q26、職員Q11】



町民：「御殿場線の運行本数の増便」45.2%が最も多く、以下「タクシー助成制度の拡充」25.7%、「町内循環バスの新規路線」23.8%、「新規地域のコミュニティバス運行」22.3%、「駅周辺駐車場の整備」21.6%となっています。

職員：「御殿場線の運行本数の増便」68.4%が最も多く、以下「駅周辺駐車場の整備」30.9%、「デマンドタクシー運行」27.6%、「タクシー助成制度の拡充」22.4%、「町内循環バスの新規路線」19.7%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査（単位：%）

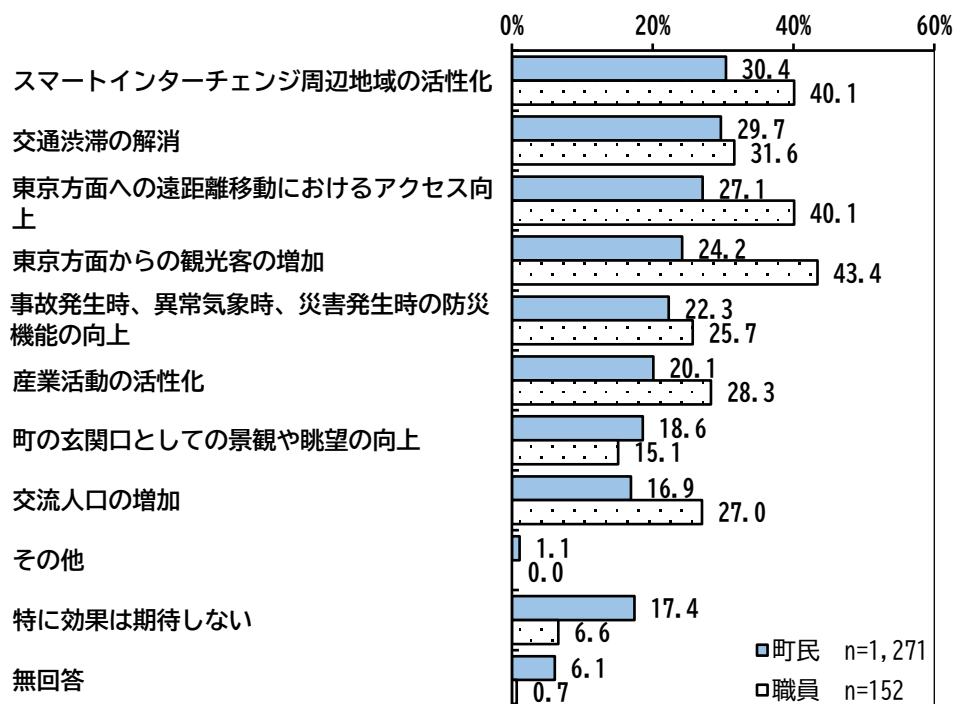
	調査数 (人)	御殿場線の運行本数の増便	タクシー助成制度の拡充	※町内循環バスの新規路線	新規地域のコミュニティバス運行	駅周辺駐車場の整備	※デマンドタクシー運行	※カーシェアリング制度の整備	その他	特になし	無回答
R5調査	1,271	45.2	25.7	23.8	22.3	21.6	18.6	10.8	4.7	9.8	5.0
H30調査	1,307	65.6	20.8	23.8	18.8	22.9	-	-	6.1	7.2	2.2

※「町内循環バスの新規路線」は、H30調査では「町循環バスの新規路線」。

※「デマンドタクシー運行」と「カーシェアリング制度の整備」は、R5調査のみ。

(38) 「新東名高速道路（仮称）山北スマートインターチェンジ」に、期待する効果

Q：令和9年度に供用開始が予定されている「新東名高速道路（仮称）山北スマートインターチェンジ」に、どのような効果を期待しますか。（〇はいくつでも） 【町民Q27、職員Q12】



町民：「スマートインターチェンジ周辺地域の活性化」30.4%が最も多く、以下「交通渋滞の解消」29.7%、「東京方面への遠距離移動におけるアクセス向上」27.1%、「東京方面からの観光客の増加」24.2%、「事故発生時、異常気象時、災害発生時の防災機能の向上」22.3%となっています。

職員：「東京方面からの観光客の増加」43.4%が最も多く、以下「スマートインターチェンジ周辺地域の活性化」と「東京方面への遠距離移動におけるアクセス向上」が40.1%、「交通渋滞の解消」31.6%、「産業活動の活性化」28.3%となっています。

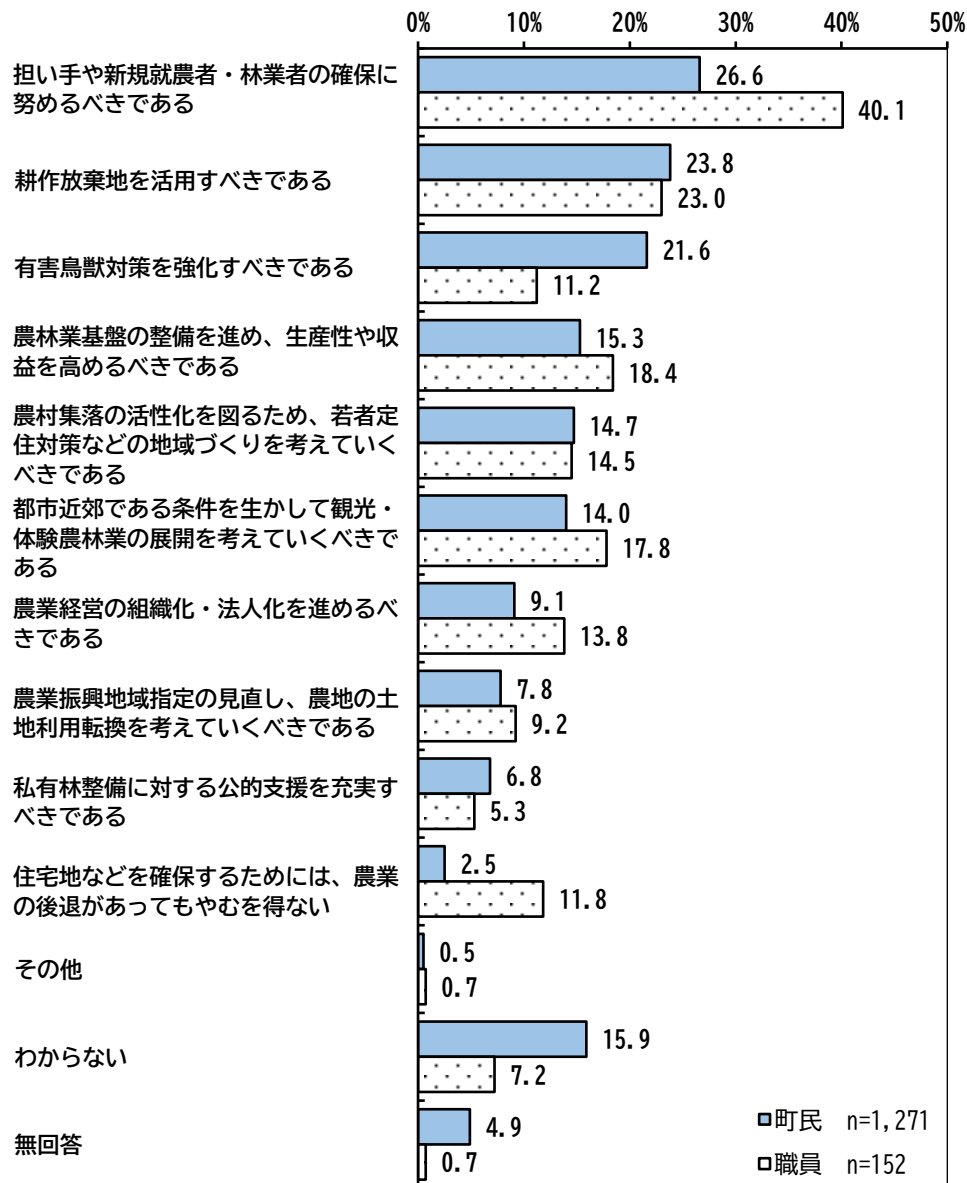
12 産業について

(39) 山北町の将来を考えた場合の農林業

Q：山北町の将来を考えた場合、農林業についてどのようにお考えですか。

(○は主なもの2つまで)

【町民Q28、職員Q13】



町民：「担い手や新規就農者・林業者の確保に努めるべきである」26.6%が最も多く、以下「耕作放棄地を活用すべきである」23.8%、「有害鳥獣対策を強化すべきである」21.6%、「わからない」15.9%、「農林業基盤の整備を進め、生産性や収益を高めるべきである」15.3%となっています。

職員：「担い手や新規就農者・林業者の確保に努めるべきである」40.1%が最も多く、以下「耕作放棄地を活用すべきである」23.0%、「農林業基盤の整備を進め、生産性や収益を高めるべきである」18.4%、「都市近郊である条件を生かして観光・体験農林業の展開を考えていくべきである」17.8%、「農村集落の活性化を図るため、若者定住対策などの地域づくりを考えていくべきである」14.5%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査

(単位：%)

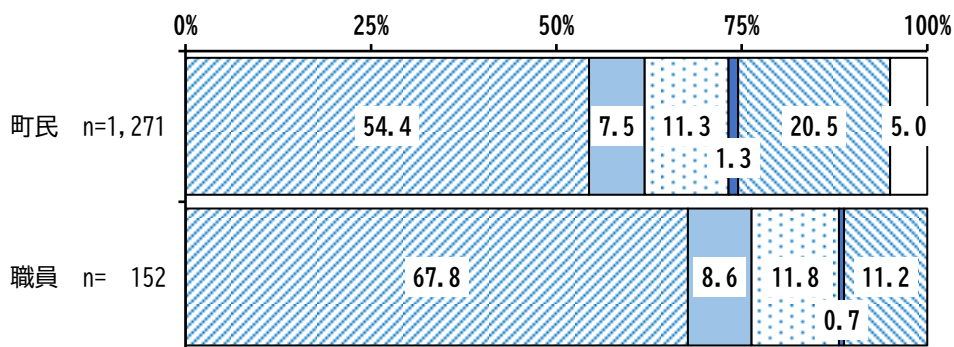
	調査数 (人)	担い手や新規就農者・林業者の確保に努めるべきである	※耕作放棄地を活用すべきである	※有害鳥獣対策を強化すべきである	農林業基盤の整備を進め、生産性や収益を高めるべきである	農村集落の活性化を図るため、若者定住対策などの地域づくりを考えていくべきである	都市近郊である条件を生かして観光・体験農林業の展開を考えていくべきである	農業経営の組織化・法人化を進めるべきである	農業振興地域指定の見直し、農地の土地利用転換を考えていくべきである	私有林整備に対する公的支援を充実すべきである	住宅地などを確保するためには、農業の後退があってもやむを得ない	その他	わからない	無回答
R5調査	1,271	26.6	23.8	21.6	15.3	14.7	14.0	9.1	7.8	6.8	2.5	0.5	15.9	4.9
H30調査	1,307	27.6	—	—	14.3	23.6	27.4	14.2	11.9	8.3	5.0	1.6	16.4	4.5

※「耕作放棄地を活用すべきである」と「有害鳥獣対策を強化すべきである」は、R5調査のみ。

(40) 山北町の今後の工業についての考え

Q：山北町の将来を考えた場合、工業についてどのようにお考えですか。(○は1つだけ)

【町民Q29、職員Q14】



- 町を豊かにするためにも、先端産業の誘致など工業の振興を積極的に進めてほしい
- 現在ある中小企業の育成に重点をおき、他からの誘致は考えるべきでない
- 工業は現状維持程度が良い
- その他
- わからない
- 無回答

町民：「町を豊かにするためにも、先端産業の誘致など工業の振興を積極的に進めてほしい」54.4%が最も多く、以下「わからない」20.5%、「工業は現状維持程度が良い」11.3%、「現在ある中小企業の育成に重点をおき、他からの誘致は考えるべきでない」7.5%、「その他」1.3%となっています。

職員：「町を豊かにするためにも、先端産業の誘致など工業の振興を積極的に進めてほしい」67.8%が最も多く、以下「工業は現状維持程度が良い」11.8%、「わからない」11.2%、「現在ある中小企業の育成に重点をおき、他からの誘致は考えるべきでない」8.6%、「その他」0.7%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査

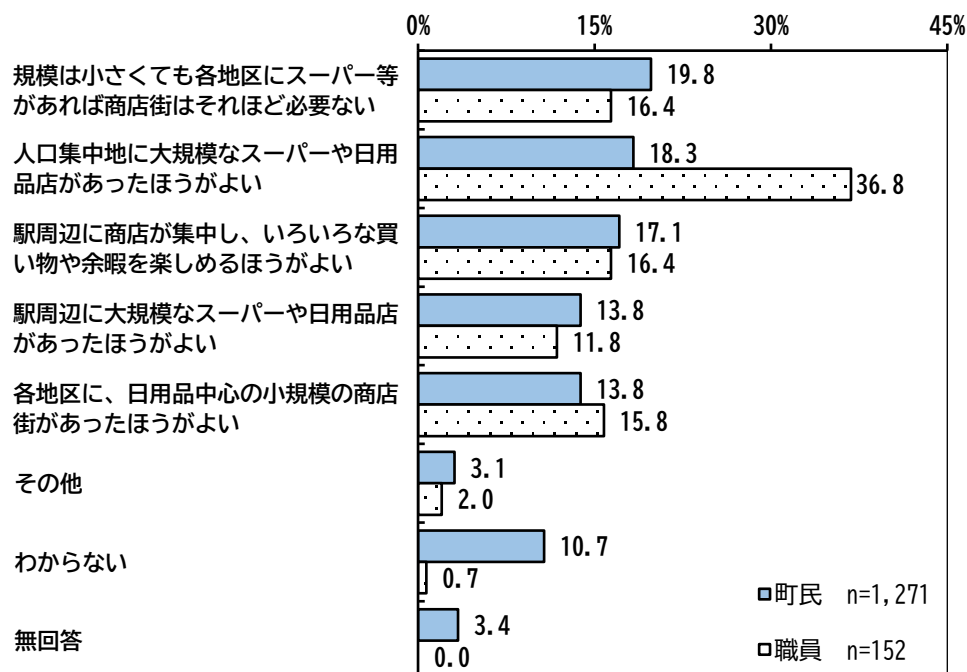
(単位：%)

	調査数 (人)	町を豊かにするためにも、先端産業の誘致など工業の振興を積極的に進めてほしい	現在ある中小企業の育成に重点をおき、他からの誘致は考えるべきでない	工業は現状維持程度が良い	その他	わからない	無回答
R5調査	1,271	54.4	7.5	11.3	1.3	20.5	5.0
H30調査	1,307	56.4	9.7	11.1	1.6	17.2	4.0

(41) 山北町にとって望ましい商店街

Q：山北町にとって望ましい商店街はどのようなものとお考えですか。(○は1つだけ)

【町民Q30、職員Q15】



町民：「規模は小さくても各地区にスーパー等があれば商店街はそれほど必要ない」19.8%が最も多く、以下「人口集中地に大規模なスーパーや日用品店があったほうがよい」18.3%、「駅周辺に商店が集中し、いろいろな買い物や余暇を楽しめるほうがよい」17.1%、「駅周辺に大規模なスーパーや日用品店があったほうがよい」と「各地区に、日用品中心の小規模の商店街があったほうがよい」が13.8%となっています。

職員：「人口集中地に大規模なスーパーや日用品店があったほうがよい」36.8%が最も多く、以下「規模は小さくても各地区にスーパー等があれば商店街はそれほど必要ない」と「駅周辺に商店が集中し、いろいろな買い物や余暇を楽しめるほうがよい」が16.4%、「各地区に、日用品中心の小規模の商店街があったほうがよい」15.8%、「駅周辺に大規模なスーパーや日用品店があったほうがよい」11.8%となっています。

経年比較 町民アンケート R 5 年調査・H30 調査

(単位：%)

	調査数 (人)	規模は小さくても各地区にスーパー等があれば商店街はそれほど必要ない	※人口集中地に大規模なスーパーや日用品店があったほうがよい	※駅周辺に商店が集中し、いろいろな買い物や余暇を楽しめるほうがよい	※駅周辺に大規模なスーパーや日用品店があったほうがよい	各地区に、日用品中心の小規模の商店街があったほうがよい	その他	わからない	無回答
R 5 調査	1,271	19.8	18.3	17.1	13.8	13.8	3.1	10.7	3.4
H30 調査	1,307	30.5	—	18.6	17.8	16.7	4.0	8.0	4.4

※「人口集中地に大規模なスーパーや日用品店があったほうがよい」は、R 5 調査のみ。

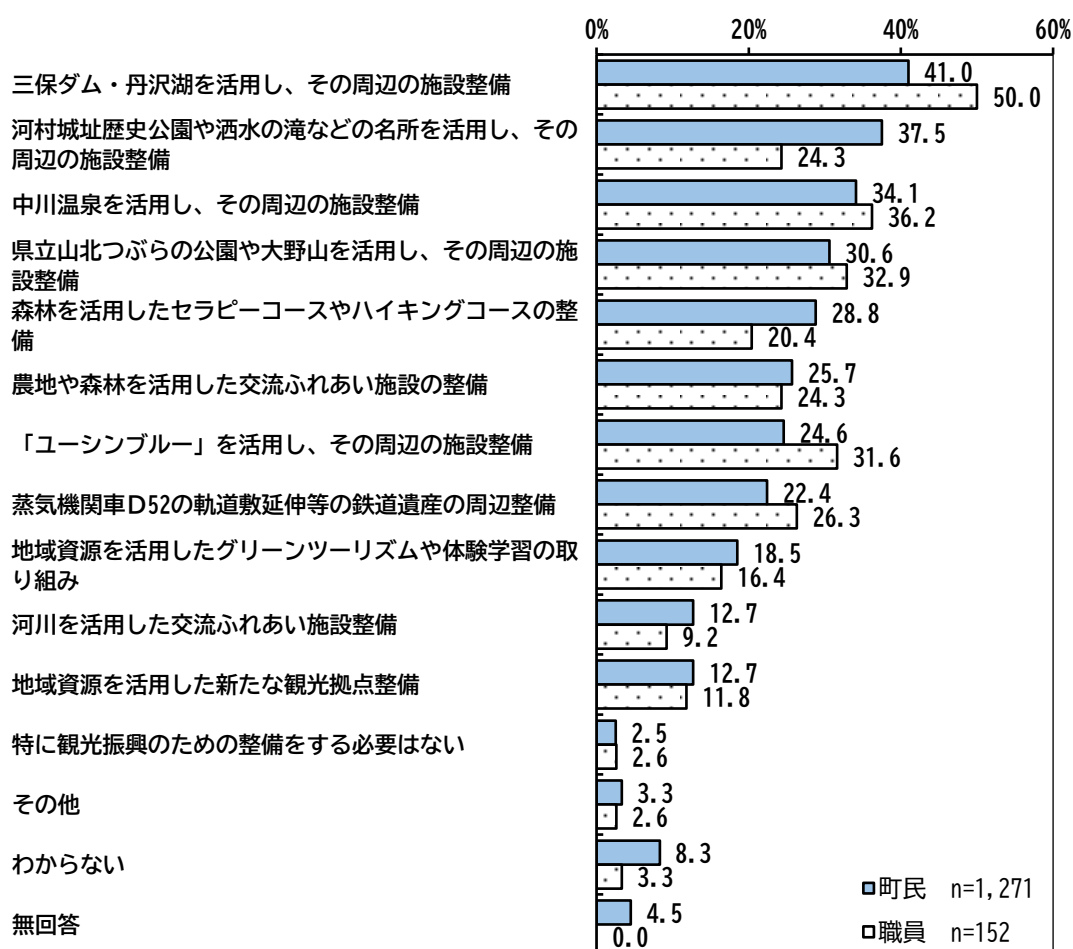
※「駅周辺に商店が集中し、いろいろな買い物や余暇を楽しめるほうがよい」は、H30調査では「駅周辺に商店が集中し、いろいろな買い物や余暇を楽しめる」。

※「駅周辺に大規模なスーパーや日用品店があったほうがよい」は、H30調査では「駅周辺に大規模なスーパーがあったほうがよい」。

(42) 活用し整備するのが望ましい山北町の観光資源

Q：山北町のどのような観光資源を活用し整備するのが望ましいと思いますか。(〇はいくつでも)

【町民Q31、職員Q16】



町民：「三保ダム・丹沢湖を活用し、その周辺の施設整備」41.0%が最も多く、以下「河村城址歴史公園や洒水の滝などの名所を活用し、その周辺の施設整備」37.5%、「中川温泉を活用し、その周辺の施設整備」34.1%、「県立山北つぶらの公園や大野山を活用し、その周辺の施設整備」30.6%、「森林を活用したセラピーコースやハイキングコースの整備」28.8%となっています。

職員：「三保ダム・丹沢湖を活用し、その周辺の施設整備」50.0%が最も多く、以下「中川温泉を活用し、その周辺の施設整備」36.2%、「県立山北つぶらの公園や大野山を活用し、その周辺の施設整備」32.9%、「ユースンブルー」を活用し、その周辺の施設整備」31.6%、「蒸気機関車D52の軌道敷延伸等の鉄道遺産の周辺整備」26.3%となっています。

経年比較 町民アンケート R5年調査・H30調査

(単位：%)

	調査数 (人)	三保ダム・丹沢湖を活用し、その周辺の施設整備	河村城址歴史公園や洒水の滝などの名所を活用し、その周辺の施設整備	中川温泉を活用し、その周辺の施設整備	県立山北つばらの公園や大野山を活用し、その周辺の施設整備	森林を活用したセラピーコースやハイキングコースの整備	※農地や森林を活用した交流ふれあい施設の整備	「コーシンプール」を活用し、その周辺の施設整備	蒸気機関車D52の軌道敷延伸等の鉄道遺産の周辺整備	地域資源を活用したグリーンツーリズムや体験学習の取り組み	河川を活用した交流ふれあい施設整備	地域資源を活用した新たな観光拠点整備	特に観光振興のための整備をする必要はない
R5調査	1,271	41.0	37.5	34.1	30.6	28.8	25.7	24.6	22.4	18.5	12.7	12.7	2.5
H30調査	1,307	39.5	35.2	32.5	23.2	29.2	20.6	25.1	29.4	11.9	12.6	10.6	2.1

	調査数 (人)	その他	わからない	無回答
R5調査	1,271	3.3	8.3	4.5
H30調査	1,307	4.7	6.9	2.9

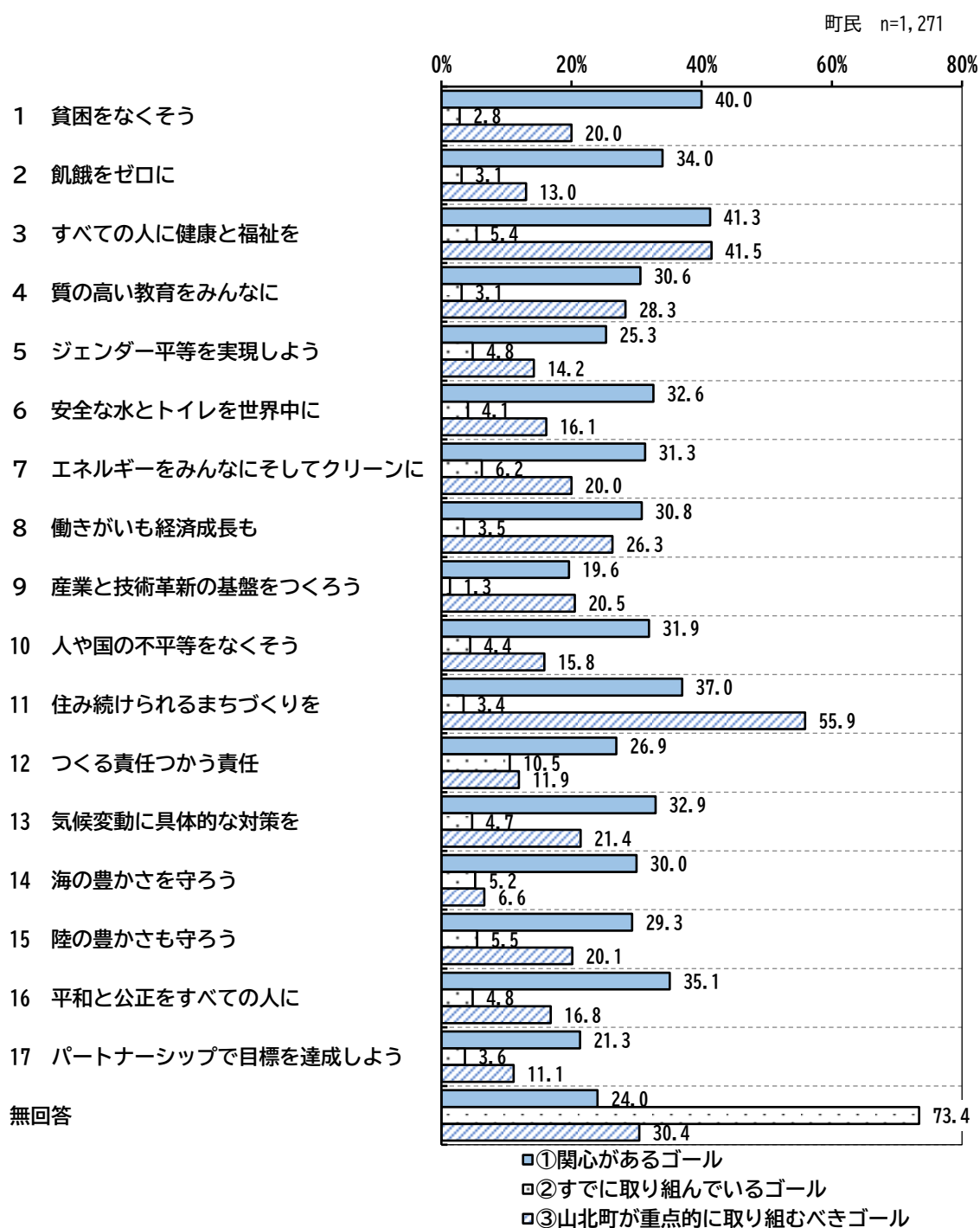
※「農地や森林を活用した交流ふれあい施設の整備」は、H30調査では「森林を活用したふれあい健康セラピーコースやハイキングコースの整備」。

13 SDGs について

(43) SDGs の 17 のゴールでの考え

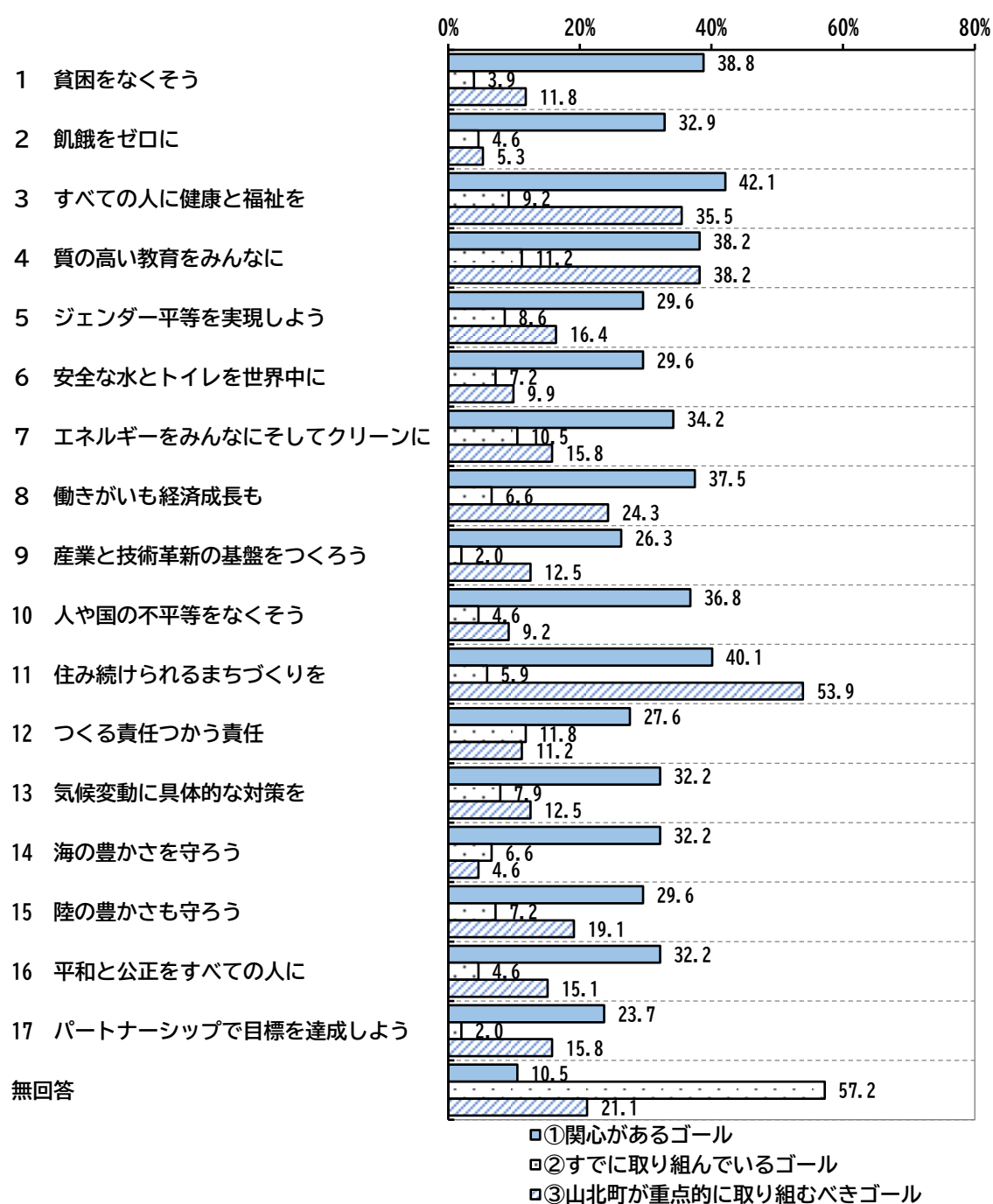
Q：SDGs の 17 のゴールのうち、①あなたの関心があるゴールは何ですか。②あなたがすでに取り組んでいるゴールは何ですか。③山北町が重点的に取り組むべきゴールは何だと思いませんか。
(〇はいくつでも) 【町民Q32、職員Q17】

<町民の考え>



<職員の考え>

職員 n=152



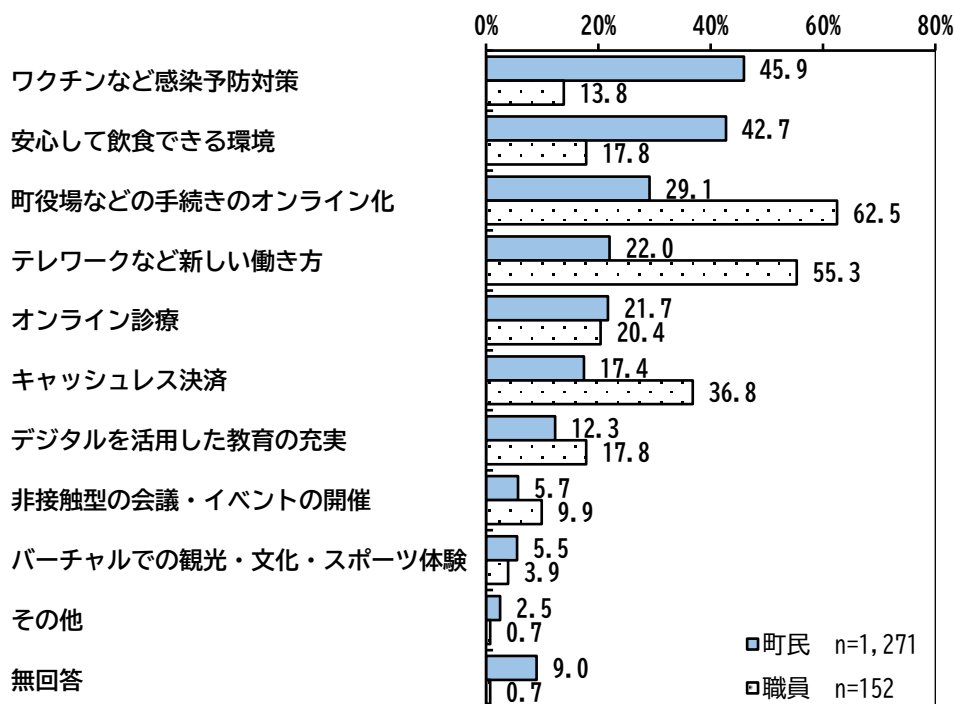
町民：①関心があるゴールでは、「3すべての人に健康と福祉を」41.3%が最も多くなっています。
②すでに取り組んでいるゴールでは、「12 つくる責任つかう責任」10.5%が最も多くなっています。③町が重点的に取り組むべきゴールでは、「11 住み続けられるまちづくりを」55.9%が最も多くなっています。

職員：①関心があるゴールでは、「3すべての人に健康と福祉を」42.1%が最も多くなっています。
②すでに取り組んでいるゴールでは、「12 つくる責任つかう責任」11.8%が最も多くなっています。③町が重点的に取り組むべきゴールでは、「11 住み続けられるまちづくりを」53.9%が最も多くなっています。

14 今後のまちづくりについて

(44) 感染症によって私たちの生活スタイルが変化中、今後重要だと思うこと

Q：新型コロナウイルス感染症によって、私たちの生活スタイルが変化中、今後、重要だと思うことは何ですか。(○は主なもの3つまで) 【町民Q33、職員Q18】



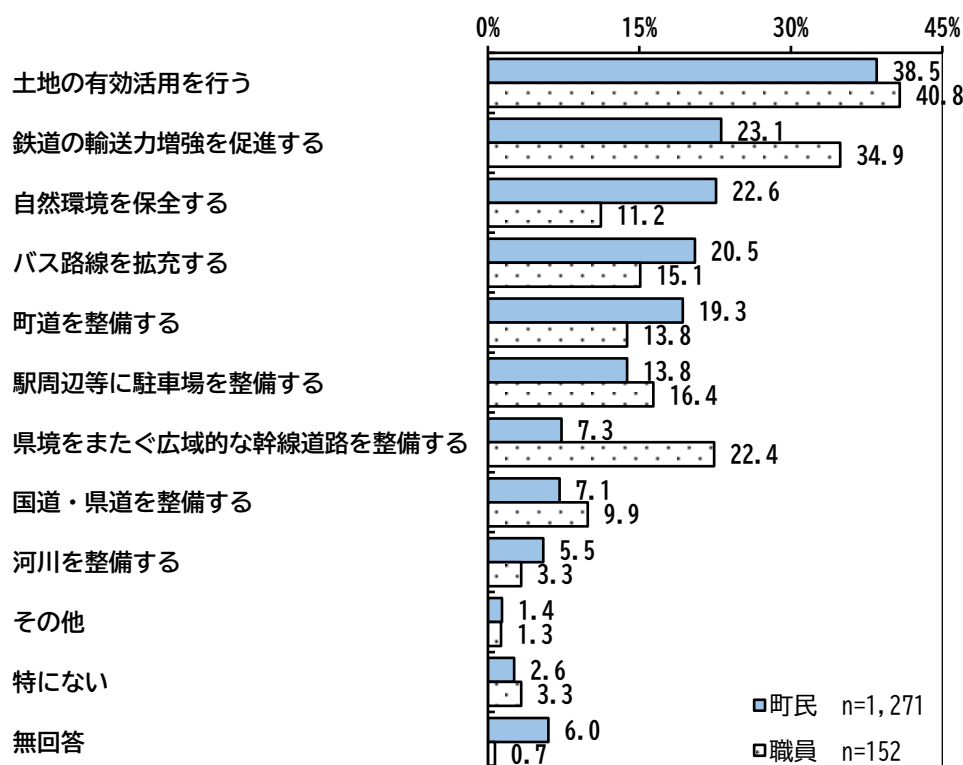
町民：「ワクチンなど感染予防対策」45.9%が最も多く、以下「安心して飲食できる環境」42.7%、「町役場などの手続きのオンライン化」29.1%、「テレワークなど新しい働き方」22.0%、「オンライン診療」21.7%となっています。

職員：「町役場などの手続きのオンライン化」62.5%が最も多く、以下「テレワークなど新しい働き方」55.3%、「キャッシュレス決済」36.8%、「オンライン診療」20.4%、「安心して飲食できる環境」17.8%となっています。

(45) まちづくりを進めていく中で、特に力を入れてほしいこと

Q：あなたは、今後まちづくりを進めていく中で、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。
 (〇は各分野主なものを2つまで) 【町民Q34、職員Q19】

<都市基盤>



町民：都市基盤では、「土地の有効活用を行う」38.5%が最も多く、以下「鉄道の輸送力増強を促進する」23.1%、「自然環境を保全する」22.6%、「バス路線を拡充する」20.5%、「町道を整備する」19.3%となっています。

職員：都市基盤では、「土地の有効活用を行う」40.8%が最も多く、以下「鉄道の輸送力増強を促進する」34.9%、「県境をまたぐ広域的な幹線道路を整備する」22.4%、「駅周辺等に駐車場を整備する」16.4%、「バス路線を拡充する」15.1%となっています。

経年比較 町民アンケート R5年調査・H30調査

(単位：%)

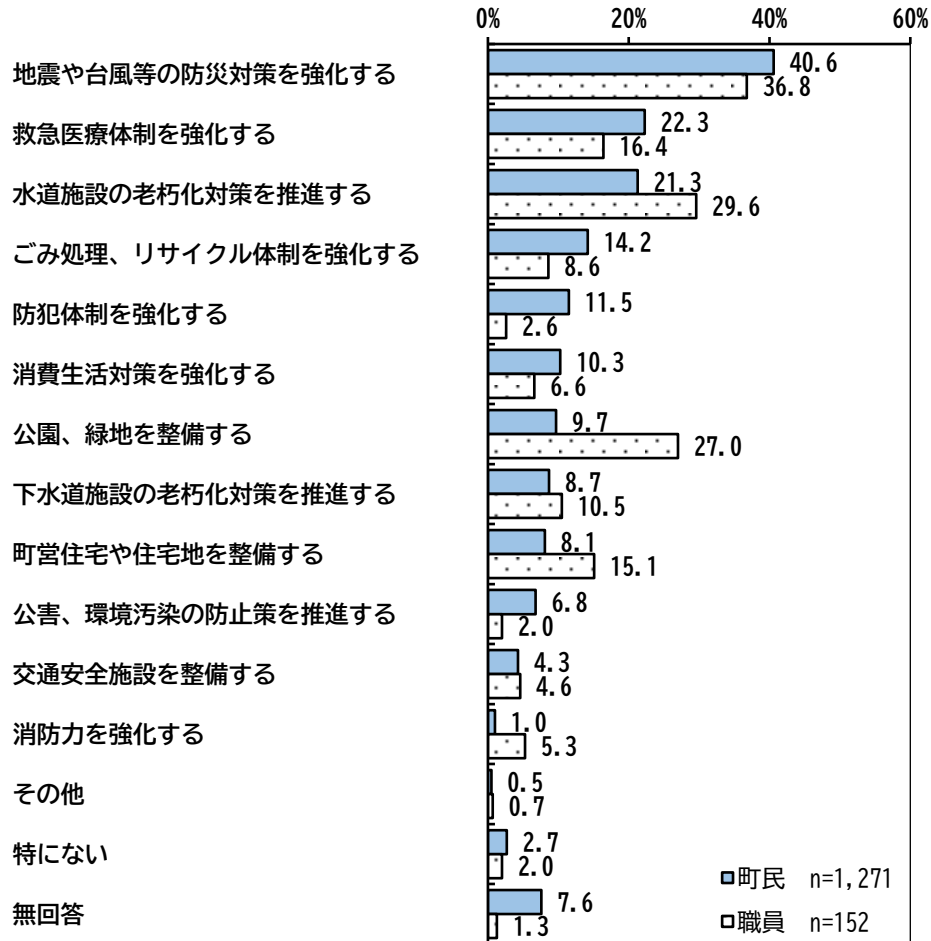
	調査数 (人)	土地の有効活用を行う	※鉄道の輸送力増強を促進する	※自然環境を保全する	バス路線を拡充する	町道を整備する	駅周辺等に駐車場を整備する	※県境をまたぐ広域的な幹線道路を整備する	国道・県道を整備する	河川を整備する	その他	特にない	無回答
R5調査	1,271	38.5	23.1	22.6	20.5	19.3	13.8	7.3	7.1	5.5	1.4	2.6	6.0
H30調査	1,307	39.6	44.8	17.4	25.9	17.1	—	—	10.7	5.7	1.1	3.4	3.4

※「鉄道の輸送力増強を促進する」は、H30調査では「鉄道の増強を促進する」。

※「自然環境を保全する」は、H30調査では「自然環境を確保する」。

※「県境をまたぐ広域的な幹線道路を整備する」と「駅周辺等に駐車場を整備する」は、R5調査のみ。

<生活基盤>



町民：生活基盤では、「地震や台風等の防災対策を強化する」40.6%が最も多く、以下「救急医療体制を強化する」22.3%、「水道施設の老朽化対策を推進する」21.3%、「ごみ処理、リサイクル体制を強化する」14.2%、「防犯体制を強化する」11.5%となっています。

職員：生活基盤では、「地震や台風等の防災対策を強化する」36.8%が最も多く、以下「水道施設の老朽化対策を推進する」29.6%、「公園、緑地を整備する」27.0%、「救急医療体制を強化する」16.4%、「町営住宅や住宅地を整備する」15.1%となっています。

経年比較 町民アンケート R5年調査・H30調査

(単位：%)

	調査数 (人)	地震や台風等の防災対策を強化する	救急医療体制を強化する	※水道施設の老朽化対策を推進する	ごみ処理、リサイクル体制を強化する	防犯体制を強化する	消費生活対策を強化する	公園、緑地を整備する	※下水道施設の老朽化対策を推進する	町営住宅や住宅地を整備する	公害、環境汚染の防止策を推進する	交通安全施設を整備する	※消防力を強化する
R5調査	1,271	40.6	22.3	21.3	14.2	11.5	10.3	9.7	8.7	8.1	6.8	4.3	1.0
H30調査	1,307	43.0	32.2	3.0	10.4	14.5	11.9	11.6	4.5	10.8	5.4	4.3	-

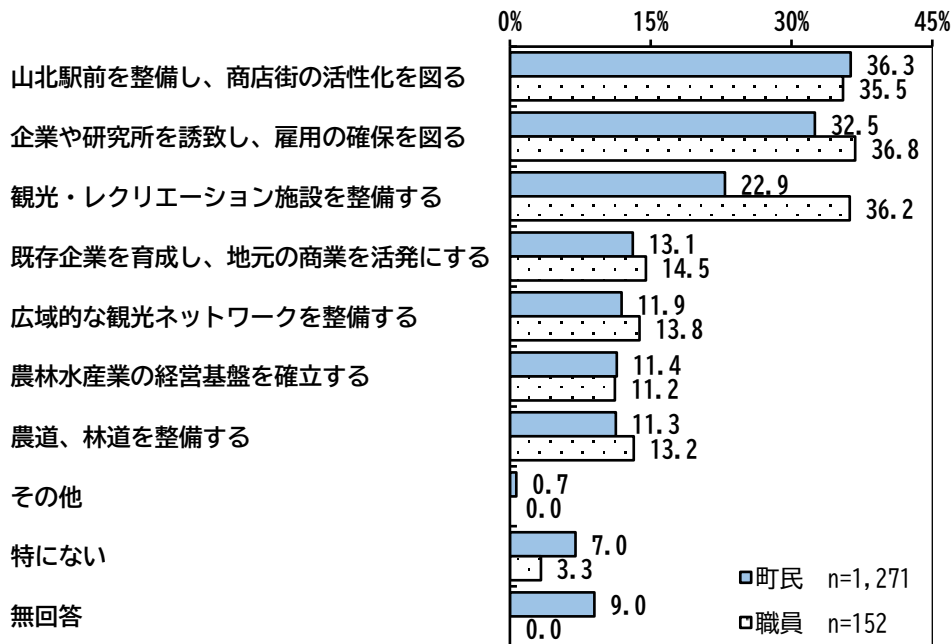
	調査数 (人)	その他	特にな い	無回 答
R5調査	1,271	0.5	2.7	7.6
H30調査	1,307	1.3	4.9	5.0

※「水道施設の老朽化対策を推進する」は、H30調査では「上水道を整備する」。

※「下水道施設の老朽化対策を推進する」は、H30調査では「下水道を整備する」。

※「消防力を強化する」は、R5調査のみ。

<産業>



町民：産業では、「山北駅前を整備し、商店街の活性化を図る」36.3%が最も多く、以下「企業や研究所を誘致し、雇用の確保を図る」32.5%、「観光・レクリエーション施設を整備する」22.9%、「既存企業を育成し、地元の商業を活発にする」13.1%、「広域的な観光ネットワークを整備する」11.9%となっています。

職員：産業では、「企業や研究所を誘致し、雇用の確保を図る」36.8%が最も多く、以下「観光・レクリエーション施設を整備する」36.2%、「山北駅前を整備し、商店街の活性化を図る」35.5%、「既存企業を育成し、地元の商業を活発にする」14.5%、「広域的な観光ネットワークを整備する」13.8%となっています。

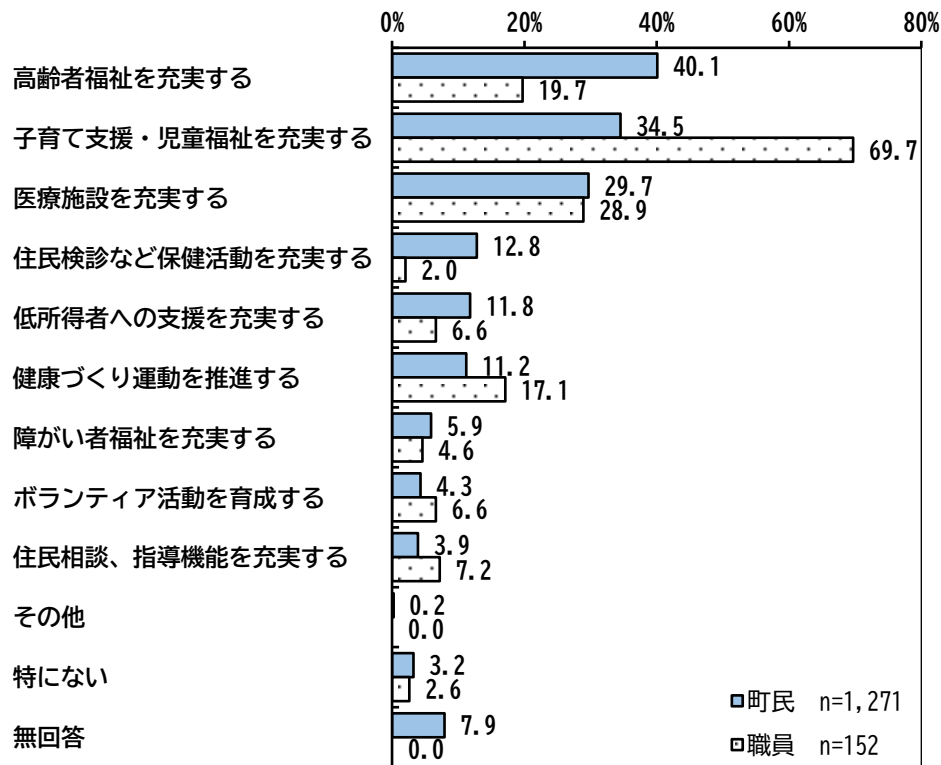
経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査

(単位：%)

	調査数 (人)	山北駅前を整備し、商店街の活性化を図る	企業や研究所を誘致し、雇用の確保を図る	観光・レクリエーション施設を整備する	既存企業を育成し、地元の商業を活発にする	※広域的な観光ネットワークを整備する	農林水産業の経営基盤を確立する	農道、林道を整備する	その他	特にない	無回答
R5調査	1,271	<u>36.3</u>	32.5	22.9	13.1	11.9	11.4	11.3	0.7	7.0	9.0
H30調査	1,307	<u>35.7</u>	34.8	26.9	16.4	-	9.6	10.6	0.9	8.8	5.3

※「広域的な観光ネットワークを整備する」は、R5調査のみ。

＜社会福祉＞



町民：社会福祉では、「高齢者福祉を充実する」40.1%が最も多く、以下「子育て支援・児童福祉を充実する」34.5%、「医療施設を充実する」29.7%、「住民検診など保健活動を充実する」12.8%、「低所得者への支援を充実する」11.8%となっています。

職員：社会福祉では、「子育て支援・児童福祉を充実する」69.7%が最も多く、以下「医療施設を充実する」28.9%、「高齢者福祉を充実する」19.7%、「健康づくり運動を推進する」17.1%、「住民相談、指導機能を充実する」7.2%となっています。

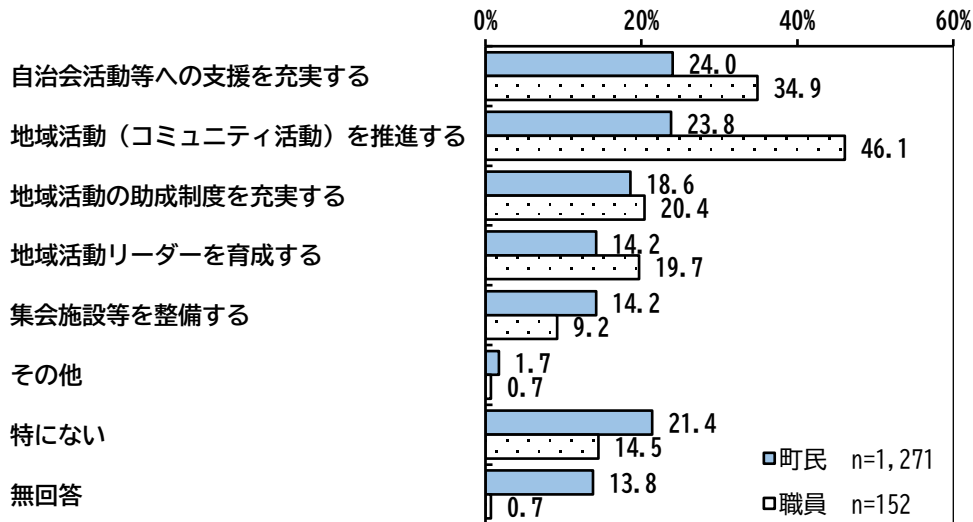
経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査

(単位：%)

	調査数 (人)	※高齢者福祉を充実する	※子育て支援・児童福祉を充実する	医療施設を充実する	住民検診など保健活動を充実する	※低所得者への支援を充実する	健康づくり運動を推進する	※障がい者福祉を充実する	ボランティア活動を育成する	住民相談、指導機能を充実する	その他	特になし	無回答
R5調査	1,271	<u>40.1</u>	34.5	29.7	12.8	11.8	11.2	5.9	4.3	3.9	0.2	3.2	7.9
H30調査	1,307	<u>34.8</u>	18.1	34.7	14.8	12.5	14.8	6.0	6.0	4.7	0.6	6.3	5.0

- ※「高齢者福祉を充実する」は、H30調査では「高齢者福祉を強化する」。
- ※「子育て支援・児童福祉を充実する」は、H30調査では「児童、母子、父子福祉を強化する」。
- ※「低所得者への支援を充実する」は、H30調査では「低所得者への支援を強化する」。
- ※「障がい者福祉を充実する」は、H30調査では「心身障がい者福祉を強化する」。

<地域活動>



町民：地域活動では、「自治会活動等への支援を充実する」24.0%が最も多く、以下「地域活動（コミュニティ活動）を推進する」23.8%、「特になし」21.4%、「地域活動の助成制度を充実する」18.6%、「地域活動リーダーを育成する」と「集会施設等を整備する」が14.2%となっています。

職員：地域活動では、「地域活動（コミュニティ活動）を推進する」46.1%が最も多く、以下「自治会活動等への支援を充実する」34.9%、「地域活動の助成制度を充実する」20.4%、「地域活動リーダーを育成する」19.7%、「集会施設等を整備する」9.2%となっています。

経年比較 町民アンケートR5年調査・H30調査

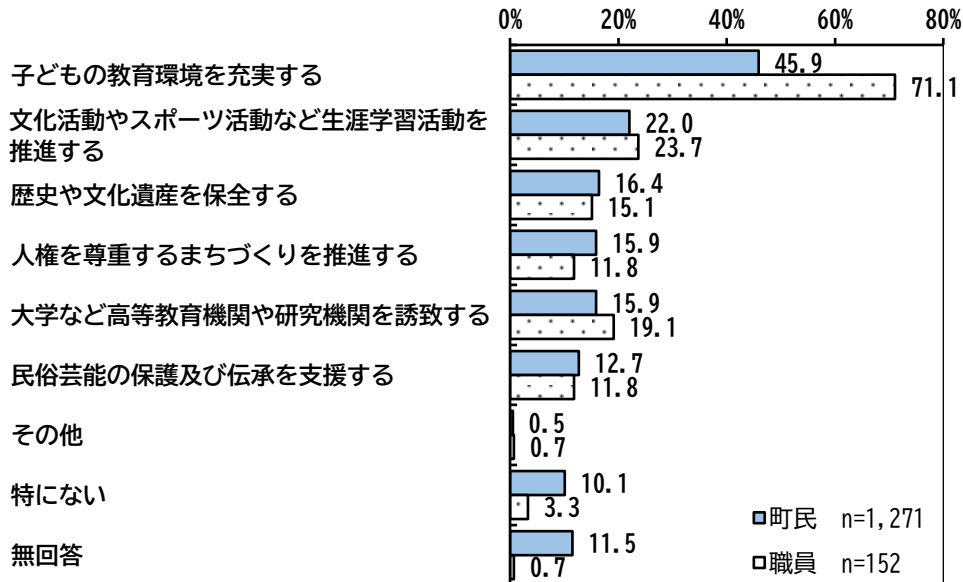
(単位：%)

	調査数 (人)	※自治会活動等への支援を充実する	地域活動（コミュニティ活動）を推進する	地域活動の助成制度を充実する	地域活動リーダーを育成する	※集会施設等を整備する	※ふれあい施設・集会施設を整備する	※他地域との地域間交流を推進する	その他	特になし	無回答
R5調査	1,271	24.0	23.8	18.6	14.2	14.2	—	—	1.7	21.4	13.8
H30調査	1,307	—	26.1	23.3	13.2	—	21.6	10.6	0.7	24.6	9.9

※「自治会活動等への支援を充実する」と「集会施設等を整備する」は、R5調査のみ。

※「ふれあい施設・集会施設を整備する」と「他地域との地域間交流を推進する」は、H30調査のみ。

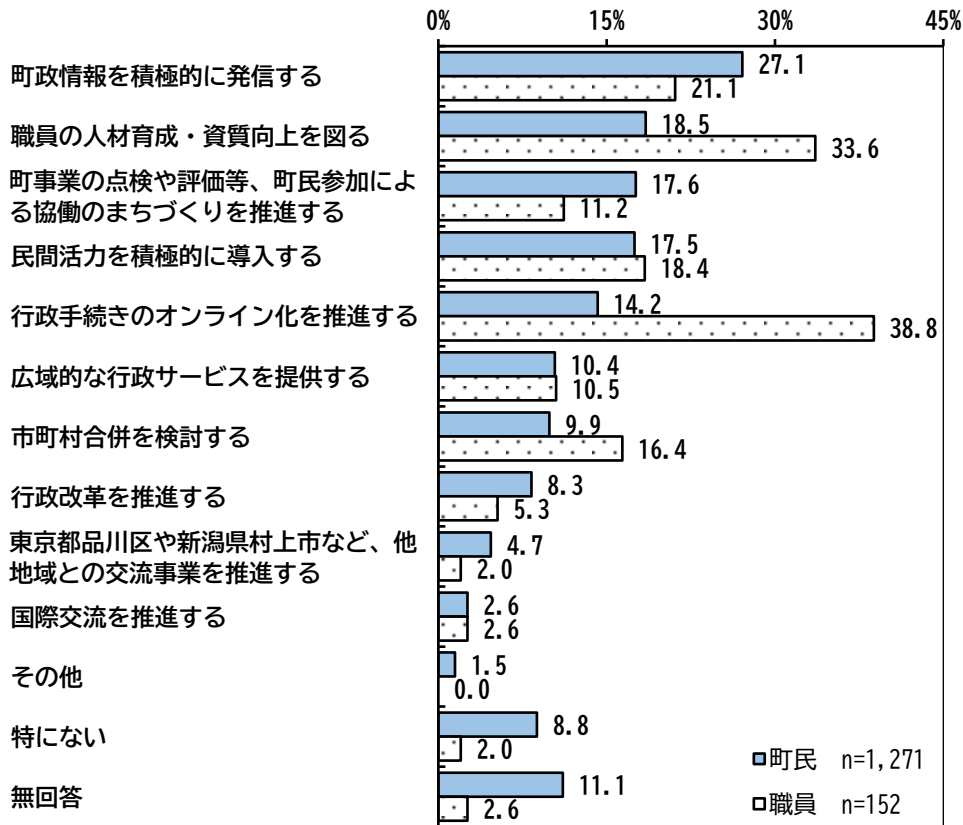
<教育>



町民：教育では、「子どもの教育環境を充実する」45.9%が最も多く、以下「文化活動やスポーツ活動など生涯学習活動を推進する」22.0%、「歴史や文化遺産を保全する」16.4%、「人権を尊重するまちづくりを推進する」と「大学など高等教育機関や研究機関を誘致する」が15.9%となっています。

職員：教育では、「子どもの教育環境を充実する」71.1%が最も多く、以下「文化活動やスポーツ活動など生涯学習活動を推進する」23.7%、「大学など高等教育機関や研究機関を誘致する」19.1%、「歴史や文化遺産を保全する」15.1%、「人権を尊重するまちづくりを推進する」11.8%となっています。

< 町政に望むこと >



町民：町政に望むことでは、「町政情報を積極的に発信する」27.1%が最も多く、以下「職員の人材育成・資質向上を図る」18.5%、「町事業の点検や評価等、町民参加による協働のまちづくりを推進する」17.6%、「民間活力を積極的に導入する」17.5%、「行政手続きのオンライン化を推進する」14.2%となっています。

職員：町政に望むことでは、「行政手続きのオンライン化を推進する」38.8%が最も多く、以下「職員の人材育成・資質向上を図る」33.6%、「町政情報を積極的に発信する」21.1%、「民間活力を積極的に導入する」18.4%、「市町村合併を検討する」16.4%となっています。

(46) 自由意見 未来の山北町について

Q：未来の山北町がこんな町だったらいいなと思い描く姿をご自由にご記入ください。

※実現可能性は問いません。

【町民Q35、職員Q20】

町民の意見

- 春は、桜並木が美しくお花見や人が大勢見られたのは、何年前までだったのか（老木化してしまった桜の木は残念です）。
- J R山北駅と大雄山線大雄山駅がつながること、推進してもらいたい。
- 都会にならなくとも、差別や偏見がなく、いろいろな人が住みやすいと思える町になってほしい。
- 自動運転技術の進歩に合わせ、いつ、どこへでも自由に行動できるような町であってほしい。
- みんなの笑顔があふれる町になると良いと思います。
- 豊かな自然や、景観等を最大限に生かした理想郷。デザインされた町。癒しの空間。隈研吾に象徴となるような建築物を創ってもらおうとか。
- 人口が増え（戻り）子どもの笑顔があふれる町。閉校になってしまった共和や三保、清水の学校が魅力的な姿で再開したら本当に嬉しい。田舎暮らしが好きなので家の前の景色か、住宅、道路、商業施設などで変化してしまったら、ここには居ないかも。
- 子育て世代も高齢者も安心して暮らせる町。若い人が定住して、町に活気が戻ることを望む。
- 幅広い年齢層の人たちがいて、住みやすく明るい山北町になったらいい。
- 都会に出た若者がリターンできる町。
- 住みがいのある町、自慢できる町。
- 御殿場線の本数増、国府津からの乗り換えの PASM0 などの使用実現。バスと御殿場線の時刻の調整（電車が行ってしまったあと、丁度いいタイミングでのバスの時刻など）。
- D52 が走り、観光客のたえない町になる。まちづくりに町民が参加できる。キャンパー、ロードバイカー、ハイカーなどがたくさん来る町。テレワーカーなどが移住してくる町。駅前の商店も増え、空き家がゼロになる。子育て世代が増加する。子どもが増える。
- 都市から近いので、それを売りにすればいい。もっと考えてほしい。スピーディーに（計画や対応）。
- 人口の減少を防いで、町の活性化に努めてほしい。町に体育館を造ってほしい。
- 私は、友人、知人を山北に呼んで皆でシェアしながら楽しく暮らしたい。共同生活もプライバシーを守りつつ、楽しめるはずだと思う。自然も多いので心も体も元気にやりたい事をやって暮らしていきたい。喫茶店を皆でやりつつ居場所を作りながら、海外旅行にも行きたい。住める家と土地を皆に貸して下さい。
- すごい田舎でもなく都会にもすごく遠くなく出かけられる所が良いと思う。ただし、電車の本数が少なく車以外ででかけるのには不便なことがあり、そこが解消できればすごく良いと思う。
- 互いを支え合えるまちづくりが出来たらいい。趣味を生かした個性的な小さな店がたくさんあり、非耕作地活用し子どもや大人も遊べる楽しめる施設を整備して活力ある町になったらいいな。

- 災害に強い町魅力ある町。
- 自分達の老後に子ども達の笑い声等、外から聞こえてくる様な穏やかな町になったら良いと思います。
- クリエイティブな仕事や活動をする若者が多数流入し、住み、町を活性化してくれたらいいと思います。
- 一人住まいの高齢者がさびしく生活しないように少し元気な老人にも目を向けてくれるとよいな。
- 町営住宅も住んでも他の山北以外で家をたてたりと山北町で家を建てて住んでもらわないと、山北町の住人は増加はしないと思います。それには働く仕事場の新設、確保が大切だと思います。スマートインターチェンジも上下線がないと意味がないと思う。
- 自然を生かした観光地がある、各世代の生活利便性の高い町。
- 赤字経営にならない行政ならそれで良い。人口は気にせず自由な町で良いのではないですか。
- 豊かな自然を残しつつ他市町からの移住や観光者が増加し、全国的に知られる町となるように、特徴的なイベントや農作物を発信する。例えば「ユースンブルー」へ誰もが行けるようにするとか。
- 水や緑の自然豊かで桜並木をS Lが走る情緒あふれる町。一方で交通アクセスや買い物が住民にとって便利な町、優良な企業の誘致高齢者に優しく子どもたちが多く住めるよう親が育児しやすい雇用。
- オーストラリアのパースのような町。大型のモールなどもあり、それなりに栄えているが自然も同時に共存しているような感じ。町のド真中に大きな公園があったり。
- 思い描けないし、その必要もない。
- 山北町は、土地は多いが人口は減少している。関係人口での町民増加のためには、自然の多い三保、清水だけでなく山北、岸、向原での地区外者が来る状況の整備、リードを町にして欲しい。
- 季節の花を活かした、事を続けて行ける様にする。
- 家族でも単身者でも生きやすい地域であってほしいです。
- 人口 8,000 人をキープ。
- 下町感溢れる商店街のような活気のある駅前になると良いなと思います。
- 自然に恵まれた山北町老いも若きも手を取りあってのまつりや行事で文化の高い明るいあたたかい町を誇りに思う山北まちづくりに頑張ります。昔からの良きものは若い人達に伝え若い人達の良きものは老人が学びそんな集いを望む。戦争で自給自足を学んだ 87 歳、最高の学びをしました。その経験を伝えられる機会を望む（防空ズキンとわら草履）時代。経験グループ（都会田舎戦他）。
- いくつかの町に住んできましたが、山北町は本当に人間性が高い町だと思います。これが損なわれない改革で町が育つといいなあとと思います。一見不便に見える立地も、逆手に取れば宝物です。やすらげるまちづくり推進して下さい。
- 高齢になって車が運転できなくても、買物や外出が自由にできればいいな。
- 人が主ではなく自然が主のまちづくり。
- 子どもが多く住む町。住宅地はきれいに整備され、1つの土地が広く、住みやすい。買い物も便利。公園も小さな公園を作るのではなく、広い公園をいくつも造る。
- 首都圏に近接する貴重な自然に恵まれた地域なので、このことを利点と捉え都会と自然の豊かさを結び付ける役割を担う町。
- 交通の利便性がよく、飲食ができる店が増え賑う町。知名度を上げる。

- 高齢者にとって、教育・教養でなく「今日行く」「今日用」が大事です。高齢者が出かける場所・催しものなどがある町がよいと思います。
- 老人がいきいきと働いている活気のある町。松田町の様に小学生の下校時に町内放送を行い、町民が一体となって子どもの見守りをする暖かいまちづくり。駅や公共施設周辺のバリアフリー化の徹底による町民すべてに優しい町。
- 直接近隣の住民に聞き取りもなく、鉄道公園の遊具を新規改め工事を行い、一見明るくはなつたと離れて住む方は良いイメージで済むでしょうが、夜遅くや金～日のにぎわいに依る、騒音や道路への駐車に非常に迷惑しています。せめて日昼の時間指定や夜間 8:00 以降の立入り禁止の警告や看板を設けて欲しい。既に警察に2回苦情を連絡しましたが、どんなに迷惑しているか、職員の方には想像出来てはいないのだと思います。ぜひとも対策対応を強く願います。
- 昔、鉄道の町で有名だったように新たに「〇〇の町」で有名になれたらいいなと思います。新松田～山北～丹沢湖をゴンドラ等、無人の乗り物でつなげる。
- 今後、小田原を含めた足柄平野にある自治体を合併し大きな構想で発展すれば全体的にバランスのとれたまちづくりができると思います。山北町だけでは、不可能です。
- 福祉、医療の充実した町。
- 県立つぶらの公園は遊園地に。大野山の山頂には展望レストラン。丹沢湖にはホテル。協和のもりセンター、県立つぶらの公園、丹沢湖、それぞれから大野山の山頂に向かってロープウェイで行けるようにする。
- 人口が減少しているのは、山北町だけの問題ではなく、日本全体の問題。そのような中地方行政の人のうばい合いは意味がない。「障がい者に優しい町」など町の1点のポイントに絞り、狭い領域での共感を生む町にすべきと思う。各地方行政が同様な施策で人集めをしても競争を生むだけで意味が無い。
- スマートインターチェンジを中心に観光を、また旧清水小を中心にスポーツ施設の充実（大学や高校部活の宿泊施設）山北駅から東山北を住宅の充実及び企業の誘致を行い、魅力的な町になれば良いと思います。
- 親と子どもが暮らす町。
- 子たくさん。
- 買い物に困る人ゼロ。
- 家よりも外に出て、近隣の人達と散歩したり、おしゃべりしたりをしたくなる町。買い物も町内で済ますことができ、電車・バスの乗り継ぎの利便性が良い町。
- 老若男女皆が楽しく生活できる山北町。
- 昔の様に大家族で家事を共にしながら泣いたり笑ったりのにぎやかな生活を隣近所と共に暮らしたい。こんな町になったらいいな。
- 山北は森林・川など自然が豊かなので町の景観を損ねるような都会化みたいな事はしてほしくないです。交通の便が悪いくらいの方が、町としてうれしく思います。
- 若い人が住める環境づくり。その為には職場が必要（息子達に仕事がない為、山北から離れている）第2世代。
- 御殿場線（上り、下り）やバスがせめて30分に1本運行してくれるシステム。電車はワンマンで充分。
- 人口減少の中、町が静かでおだやかだが明るい笑い声のする町であってほしい。

- 徳島県上勝町のゴミ処理の取り組みが素晴らしいと思ったので、この町を参考にし、山北もゴミ処分について今一度考え直しリサイクル率を上げられたら理想。
- 山北町の人口が 15000 人以上になるように。
- 小田原駅周辺とか小田原駅みたいにならないかなって。
- 今の自然環境が維持されることが望みです。
- 我が子は勤めの関係で都会に出ていますが、いつでも戻って来られる住み良い町でいたいと思います。
- 散歩に出かけるとコロナ前は人に会うとあいさつが出た。そうなる様に人とのふれ合いを願っている
- 移住してきました。いずれは一軒家をかまえられたらと思っています。これから子どもたちが笑顔で過ごせる地域であればいいなと思います。
- 子育てしやすい町。
- みずかみテラスが、成功したので同様の若者向けの賃貸の町営マンションを東山北駅周辺に建てると良いと思います。山北町は土地が安いので空き地をどんどん分譲し、若い世帯向けの住宅を建てると良いと思います。新松田から東山北まで、新松田から山北まで、新松田から谷峨まで、20 分おきに出るシャトルバスの配備をしてみても（松田自動車学校の送迎バス位の大きさの車で）。
- 出歩く人であふれる町。
- だんだんと高齢化が進んでいくが、元気な人は働いたり、地域活動に参加して頂くと共に、身体の弱い人が、家にいても安心して、心豊かに生活できる山北であってほしい。
- このアンケートが難しい。自分で何に○をつけたかわからなくなる。もっと簡単な言語、数を少なくしてページ数を 1 / 3 に！山北町の住人のレベルを周知していないのでは。のんびり過ごせる町でありたい
- スポーツ施設があればよい。体育館、グラウンド（スポーツ広場の登録制度など、使用がもう少し緩和してほしい）。
- 駅の近くに郵便局がほしい、またはバスが停まるようにしてほしい。
- 東山北駅周辺にコンビニなどの商店。いつでも持っていけるゴミ処理場。人口集中地から見える花火大会。
- 今は老人の町山北ですが若者の町山北にしてほしいです。野菜も山北ブランド野菜ができたらいと思います。みかんもありますが、手入れをする人が不足しています。ブランドみかん出来たらいい。
- きれいな水と緑のある町。
- 問 34 の町政に望むことでも記入したように職員や議員を減らし、税金を減らすことができれば、もっと住む人も多くなると思う。税金が高すぎる。
- 子どもの外で遊ぶ声が聞こえる、若い人が住める町に。
- もっと若者が増えて、活動している姿が見られたら、ヒールを履いた女性が行きかう姿が見られたら、おばあさんも元気出る。
- 山北町がこのまま消滅せずに残り、皆が豊かに住み続けられる町であるように願っています。
- 周囲にいる人に対して見下す人がいない町。また、一方的に誰かに頼り続けているのに自分から行動を起こさない人がいない町。

- 風化しにくいまちづくり。
- 住みたい町ランキングに町名が載る事。
- 自然いっぱい、安心して生活できる町。自治会の役員は実家に比べてやる事も多い。今はコロナ禍で…。
- ゴミ袋の氏名記入をやめてほしいです。個人情報です。訃報を回覧でまわされるのが困る。急いで回さなければいけないし、夜遅くても朝早くてもまわってやる。
- 運転免許証を返納した後でも行きたい所に自由に行ける交通手段が出来れば良いと思います。
- 恵まれた自然の中で、健康で心豊かな生活が出来る町、山北。
- 山北町の良い所を活かし、少しずつ改善してってもらいたいです。住みやすい環境であればよいです。
- 山北町は県下での高齢化率の高い町人口の減少が続くのでこのままでは、さびれた町になる町税を一本化し、重点的に町おこしに使う。特色作りが必須です。
- 交通手段の確保（共和地区見たいな）。
- 公園で子どもがいっぱい遊んでいる町。
- 人口が多く、子どもが活発に遊んでいる町。
- 自然を活かした観光資源の開発、人がやってきたいと思える町にしていくことを願っています。
- 行政員は年齢が中間管理職になったら他市町村に研修に行ってもらいたい、他の市町村ではどんなよい事を導入しているのか勉強になる。
- コンビニやスーパーをもっと増やしてほしい。
- 毎夏、ぶよ・足柄の虫がいない、すがすがしい夏の花づくり。子ども達と庭での焼肉。毎年刺されて病院に行っています。夏が来るのがこわい（足柄虫のいない山北）。
- 人口が増えたらいいです。
- 買い物など、山北町内で全て完了出来る町。
- 人口の維持・増加。観光客等が増え、山北町のよさが伝わる。住民が安心して暮らすことができる。
- 地域の活性化に不可欠な事。人、物、金・コミュニティの発展による安心、安全なまちづくり。交通機関の充実。
- 安心、安全にらせる町。
- 年齢 18 歳未満の医療費の本人負担なし。企業誘致とテレワークによる若者が定住できる環境の整備された山間部の町（豊かな水ときれいな空気そして人情あふれる地域社会）。
- 高齢になっても安心して生活のできる町であつたらいいなと思います。
- 生活基盤が充実し、近隣地域へのアクセスにも良く、高齢者が安心して住める町。
- 巨大シンボリックな像でも有るといいな。
- 御殿場線の運行本数が増えて、帰りの心配をせずに東京方面、名古屋方面に出かけられたらいいです。
- 自然環境が豊かなことをそのまま生かし、エコな生活モデルで有名になり、住民満足度も訪れた人の幸福度も高い町。世界（日本）に例のない最新のエコな町になってほしいです。
- 町でボランティアを募り、道路脇の草や枯枝を清掃し美しいまちづくりができると良いと重います。

- 他地域から転入したくなるような町、転入して来て良かったと思われる町であってほしい。そのために、空地、空室、休耕地などを転用、活用し、企業誘致を行い、地元雇用を促進していけば人口も増えて行くと思う。
- 町民一人ひとりが、役場に、出向いたり、電話等での質問に対して、ホッコリするような答えがほしいな。
- バンバン電車が止まって桜見学や山歩きのハイカーであふれ返る町。
- 小さくとも、仲間がたくさんいるような町。行政・個人を問わず、他のところと協力して交流が活発になるといいな。
- 地方再生の要の企業誘致による若者の居住化。・都心から近い田舎生活（セカンドハウス）促進。
- 食べ物が好きなので、メディアで紹介されるような飲食店が1つあるといいなと思います。
- 直近でホームページがわかりにくいので、みやすく、調べやすくするか、公式 LINE などでも情報を発信してほしい。今ある SNS はあまり役に立っていません。
- ホットとできる田舎の良さを味わえる。
- 都心部とまではいかなくとも交通、買い物、医療など住んでいる町で、通常は足りる様になるとよい。高齢者の人々に配達サービスやオンラインでの買い物（町内で）が出来るとより住みやすくなると思います。
- 誇れる地元になっている。自然の良さ、伝統的な祭り、それぞれが衰退せず、良き文化のままで、若い人達がこんな田舎を早く出ていく。と言わない町でいて欲しい。
- こども達の遊ぶ声が聞こえ登下校する沢山の児童の姿がみられ、活気にあふれる町。空家をなくし、4m以上の道路の幅員を持たせた区画整理をし、若い世代が建物を建築できる様になれば人口増加に繋がるのではないのでしょうか。
- 鉄道の町山北だったので、蒸気機関車を何とか利用して観光復興ができないのでしょうか。国の助成金をお願いしたり、寄付をお願いしたりして、せめて軌道を東山北から山北駅位まで延伸させ、さくらの時期や大野山、酒水の滝、道祖神の祭り室生神社の大祭等のイベントなどに走らせ、インターネットで配信PRしたりして山北を知ってもらうのもいいと思います。
- R246のバイパスの実現へ。
- 太陽が12時間当たるといいな。
- いつでも老若男女の笑顔のある町、集まれる場所の充実。
- 近隣の町（松田町、大井町）が、小児医療費助成制度を高校卒業までとしています。山北町も18歳まで対象拡大されれば良いなと思います。
- 人口減少が何とかなりませんか。人は減っても、組織はそのままなので、自治会等いろいろな分野で無理な場面が見られます。〇〇委員等、他地区と合同でもいいのでは。人口1万人を切った数で人口10万人の地区と同じ組織の数というのは無理なのかな。特定の人に負担が重なっています。
- 高齢者が増え、交通手段が乏しいので病院や買い物などスムーズに行えるよう考えてほしい
- 野生動物との共生と、田畑の活用。
- もう少し山北駅前等に活気があればいい。テレビ等で月1度ぐらい、激安のお店があればいいのになと思います。例（100円セールとか）。
- すべてが「スマホ」で、や「デジタル化」となる時代が来るのだろうが現段階でもわからない事が多くついていけません。家族以外であっても色々な事が相談出来る人の育成や協力をお願いしたい。

- 自然と産業を両立させる町。
- すべての年代の人が楽しく安心して暮らせる町。町外の人にうらやましがられる町であるといいなと思います。そのために、今あるもののなかで、仕組みを変えるなどアイデアで解決できるものはたくさんあるのではないのでしょうか。“新たな何か”は、今必要な段階ではないと思います。
- 協力の名時代、協力できる時代になると良い。町会議員見本を見せてほしい。地域の為に、地域を良くする為になった方々ですから、町民に選ばれたのですから。
- J R御殿場線国府津から山北間 30 分間隔運転。災害のない町（火災、水害、交通事故）。倒壊恐れのある建物撤去（撤去後の固定資産税の据置き）。
- 若い人達の働き場所があって山北町から出なくても良い所に。豊かな自然環境を利用して多くの方が来てくれる町になれば良い。
- 人口商店増進。明るい町を望みます。
- 町民一人ひとりが健康で自立した生活ができるといいです。高齢者は近くなら移動可能なので、出前講座など企画して頂けたらなと感じます。
- コンビニのような店が2、3店あってもいいような気がします。
- 教育意識の高い町。子どもの個々の能力を伸ばし将来の選択肢を選べるような豊かな環境、山北町に育ったという誇りを持てる教育の町に。
- 今は運転ができるので、どこへ行くにも不自由はないが、運転ができなくなった時の買物、通院が不安なので、ワゴン車などの乗り合いバスなど、気軽に頼めるとよい。
- とにかく生活に不便（電車は本数がなく、食事をする所はなく、コンビニは少ない）。せめて開成町ぐらいになって欲しい。
- 山北地区にも商業施設ができると助かります。
- バスの本数が増えてもっとバスを気軽に使えるようになればいいと思う。
- 特徴のある町に人・地域・伝統等に行きたくなる住みたくなる町誇りに思う町に集いをつくる、育てる、一度は居たい場所にしたい「gathering」。
- 子どもや若者が、就職を考えた時に町外へ出なくても済むような移動手段がある町になると良い。
- 不必要な地域の関りを無くしたい。
- 町に乗合の小型車があって、希望する時間に病院に行けたり電車に乗れる駅に行けたりするといったと思います。ぜひかなえて下さい。
- 皆が住みやすいと感じる町。
- 現町長のもと皆様頑張られていると思います。住みやすいまちづくりに今後も期待しています。
- 循環バス必要ですか一日何人乗っていますか少し考えてください。
- 子育て支援 No 1 の町。
- 貴重な自然環境が残り、里山の面影も濃く未だに良い意味で田舎暮らしが可能な地だと思えます。交通インフラも整っており都市部への通勤も新松田や小田急等、東名を使用すればアクセスも良い立地を生かし、定住者を増やし、町を活性化すべき。
- 自然豊かな山北町の良さを生かしながら町民が住みよい生活ができるようこれからもよろしくおねがいします。役場窓口の方々の対応がとても明るく親切でいつもありがたく思っています。ありがとうございます。

- 山北町と云っても町内を中心としたアンケートの様ですがこれではちょっと不満です。三保・清水・共和この地区の事をもっと考えてもらいたい。アンケートをしてほしいですね。
- 老人と学童が共にすごせる施設を造り、老人は学童に自分の経験から伝えられる話をして、学業をサポートし学童からは老人に生き生きとした姿を見せるような、誰でも行ける、お茶の飲める場所が良いと思います。
- 駅集辺の活性化。
- 今の自然が多い状態で、駅前など緑の少ない所にスーパーなど、買い物が出来る場所のある住み心地の良い町。
- 高齢者の住みやすい町。町外へ出なくても生活できる町たくさん子どものいる町。
- 自然を大事にし、人口を多くふやせるような町にしたいです。
- 市外で子どもが楽しく遊ぶ声が聞こえ、高齢者は、自分の好きなことや特技を発揮できる場があると楽しいかな。
- 都市化を進めてほしい。飲食店を増やしてほしい。
- 必要なすべての買いものが町内でできてしまう。
- 他県、他国との積極的な交流があったらいい。
- 車の運転ができなくなった時、高齢者でも気軽に友達と出かけられる何かの手段があればいいと思う。
- 年をとっても安心して暮らせると確信できる町。
- 今ある町の自然は、ある程度残りつつも、生活するのに困らないようところどころに商業施設があり、買い物や通院する時に、コミュニティバスを利用でき（今よりも増便）、余暇を楽しめるよう、町の施設でいろいろな習いごとに参加できるといいな（今、すでに61歳なので今後を見据えて）。
- 歩道のない道路や横断歩道が消えかかっている場所があります。町民や観光客が安心して歩けるようにしてほしいです。
- ここに住むことで自分の得意なことで周りに喜んでもらえて、生きていけるような様々なあり方、生き方を町も人々も支援しあう地域であればいいと思う。ここにしかない農林業や水源や自然を生かしたまちづくりで魅力を生み出せたら、住みたい人も増えるのではないかな。
- フィンランドの様な（緑が多いが建物もちゃんとある）町並で、トルコの様に人や動物にやさしい（すべてに優しい）町になってほしいです。
- 老人が、歩いて地区（地区ごと）のスーパーに行ける事。
- 町民税が安い町になるといいと思います。
- 人口減少が見込まれるため、税収が減り、町民サービスが低下することが懸念されるので市町村が合併し、各市町村でサービスを受ける差をなくしてほしい。オンライン化を進め、人件費の削減、職員の資質向上を図っていただき税金を有効活用してほしい。
- 小学校、中学校、各学年2クラス（60人前後）の児童が続くのを望みます。子どもは宝です。
- 都心に近い田舎でリモートワークができながらも、都心までのアクセスも良い新たな町モデル。
- 新企業の定着化により財政が潤い、様々な形で町民のフィードバック（各種案件の充実）する町。
- 山北町にある自然を大切に、今現在住んでいる人達が、この先もずっと住み続けたいと思えるような、明るく安全な町であって欲しいです。

- 環境的にはとても住み良い街ですが、中心部には大型商業施設はなく、商店街はほぼシャッター通りになっている。町外の病院へ行くにもJR・バスなど本数が異常に少ない。高齢者にとってはとても大変な事です（大型商業施設1つでもあれば）切なる希望。
- 若い方から年寄まで安心して生活出来る町に。
- 人口が増え、山北駅前に明るい商店街が自然に出来るような山北町になって欲しいです。
- 数年前に農産物の賞（町長賞）をいただいたが、賞状のみで町長本人はもとより、町として何の感心を示さないため、若者は農業などしようと思わないのでは。
- 若い世代が（山北町）残りたくなる様に、子育て支援と高齢者の支援の充実に力を入れてもらいたいと思います。
- この様なアンケートもオンラインで実現できる体制が必要と思われる。「オンラインで出来ない」という人も無くす工夫も必要である。
- 物事、初めがあって終わりがある様に締を十分に検討してほしいです（町民のために）。山北は土地があるので東名のインター周りの発展を望みます。
- 活力ある世代の増加と、公共交通機関が充実し、住み良い町。
- 幼稚園または学校に教育を受けて、より良い環境により沿って、それなりに学校でより良い環境を目指していければ良いと思います。
- 自然が豊富な穏やかな町として四季折々の花を誰でも楽しみに来られる環境を、もっと新たに作ったら良いと思う。例えば、低木種のジャカラントの苗木を散策路等に並木として植えると、開化時期も長いので桜同様に楽しめます。
- みどり豊かな山北町、気軽にウォーキング、ハイキング、そしてドライブと楽しめる今のこの環境が続きますように。
- 日本一の美しい町。海外には世界一の美しい町などがある。
- 農業の活性化。高齢者と地域の人々との交流ができる機会があれば良いと思う。
- 瑞々しく美しい雑木林、森林や自然、多様な動植物、最良の水、明るく楽しい人々、そういうものをこれからの人は求めて山北にやってくる、住むようになっていきます。
- 自然を残しながらも、もっと生活（スーパー）や医療（病院）が受けやすい町になると、老若男女、皆が住みやすいのかなと思いました。
- 活気あるまちづくり。
- 高齢者の移動にやさしい健康づくり体操など、住居に近い所で参加し、コミュニケーションが活発にとれる機会がある所（町）。研究所など若い人が働く事が出来る施設があり若い家族が住まう町。
- 「芸術の町」「音楽の町」「歴史の町」「福祉の町」等山北町と言ったらこれだという1つでも良いから特徴のあるまちづくりを期待します。
- 子育て支援をして、若い人達（家族）からみて魅力のある町にし、人口を増加させる。高齢者施設を充実させ、町外に行かなくても安心して住める環境にして頂きたいです。
- 清水地区の発展をどうお考えか、町長に伺いたい。
- 関東でアウトドアといえば山北町というイメージになっていたらいいなと思う
- リモートワークが更に多くなってくると思います。この為は何をすれば良いか、ブレインストーミング等行い計画策定して欲しい。

- オンライン化、非接触型の手続き、会議等の推進で個々人の時間の無駄遣いを減らし、その分を本来に必要な活動に充てると良いと思います。このアンケートもオンラインで実施して集計にかかる時間を他の事業に充てると良いと思います。
- 交通の便を良くする。商店が段々少なくなり、年寄りや買物がとっても不便なので駅前には大きな商店（総合）をつくってほしい。そうすれば少しは住みやすくなるのではないのでしょうか。
- 車が運転できなくなっても、不便なく暮らせる。良い飲食店がある。観光地としての知名度が上がる。
- 人口増加（若い人、子ども）活気ある町、交通の利便性。
- 子どもたちがのびのびと走り回り、憧れの移住先としてもっと認知されていて欲しい。オーガニック給食や少人数クラス、学年をとびこえた縦割交流、自然の中での体育授業など特色のある教育をすすめて欲しい。0～15歳の一貫教育のわかりづらさはアピール力に欠ける。映画「夢見る小学校」のような学校法人を誘致するのも良いと思う。
- 山北町は社会資源が周辺の市町より少ないので、引きこもりが増えると思います。人口流出を防ぐためには、若い年齢の方が住めるまちづくりをしてほしいです。転入ではなく転出を防ぐ方策として企業誘致やスポーツができる施設を建てて下さい。今住んでいる町民に特典がなく、観光客や姉妹都市に恩恵があるのはおかしいので、町民のために山北駅周辺の大規模開発で便利な医療、商業、住まいなどの一体型施設を作して下さい。
- 川村城跡を早期に整備し、観光の目玉となるような桜や草花を植えたらどうでしょうか。
- レジャー施設（日本人が一度は遊んでみたいと思う魅力的な）。
- 働きやすくて住みやすい生活しやすいまちづくり。
- 活気のある町を期待。
- 鉄道公園沿いの桜等植物の手入れをきちんとしていただきたいです。病気の枝が残され、ツタもからまり、残念な姿になってきていると感じます。また、ライトアップもしっかり桜の花にライトが当たるようにしていただきたいです。酒水の瀧や川村城址、セラピーロードの整備も早急に考えていただきたいです。セラピーロードは一部藪になっていたり、路面も悪く、安全面が不安で再び歩きたいと思えません。
- 1人暮らしの高齢者が多くなるので、インターネット、パソコンを使いこなせない人が多いと思います。どのように暮らしていくか町政に参加できるか心配です。
- 児童、子どもへの福祉、支援が特徴的な町になってほしい。子どもをもつ家庭が移住したくなる環境、教育環境を作りたい。
- 二世帯で安心して暮らせる町（経済的、心ゆとりのある生活）。
- 運がよかったら50年後に見て見たい。
- 体育館や総合グラウンドの整備。町民のお金の町外への流出を抑え、町外の方のお金を町内に取り込む。
- 車がなくても、生活用品が買いにいける距離にお店がある。子どもが友達をさそって放課後にあそべる距離に公園や遊ぶところがある。
- わたしは山北町に住んでから何十年とたちますが、いまの山北町がいちばんみじめです。駅前には人がいません。買い物がしたくても出来ません。毎日が大変です。せめてもう少し楽しい町にしてほしいです。

- 自然豊かで東京にも近いトカイナカとして、テレワークをしながら東京と二拠点居住をする子育て世代、都会に時々お出かけに行きながら普段は自立して暮らしている高齢者が多く住む町。そのユニークな取り組みがメディアに取上げられ、移住者も増えている。「変わらないこと」を望むのではなく、「変わらないこと」＝周りや社会が変わっていくので、変わらないでいること自体が「変わる」ことであると認識し、新しいことにチャレンジし、新しいことをするには多少のリスクもあることをわかる町民が多い町。
- 伝統を大切にしつつ、それに囚われず、住民の実際の生活を安全かつ、生き生きしたものにする為、住民の声を大切にこれからも町政に取り組んで頂きたいです。また移住者にとって住み易い雰囲気である事は大変重要と考えます（地域の存続がかかっていると思います）。
- 活気があり、他の地域からも人が訪れる町になればいいなと思います。
- 犬の散歩は飼い主にとっては大事な事ですが、フンの始末が出来ない人、タバコを吸いながらの散歩、そのまま吸ガラ道へポン。人としてどうでしょう。しっかり考えてほしいです。
- 自然も豊か、産業も豊か、でバランスが良い住みやすい町ならいいなと思います。
- 野外のイベントがあっても面白いと思います。例えば野外で大きなスクリーンで映画上映とか。室内の大型無料遊び場がほしいです。（例）山形県のべにっこ広場、げんきっずという施設。小中学生の交換留学（他の市町村・都道府県）の実施。保育園・幼稚園に看護師を配置してほしいです。つぶらの公園でキッチンカーのイベント。つぶらの公園でナイトマーケット+ホテル観賞とか花火とか星とか。
- 若い人が働ける企業がたくさんあり、高齢者も病院や買物が楽に出来て、暮らせる町になって欲しい。そうすれば現在の空き家などに新しい住宅が出来て町外への人口流出は少なくなり、人口も増加して町が活性化すると思う。
- 自然は極力残しつつ公共交通機関、買い物のための施設を充実させてほしい。山北地区だけでなく、清水、三保、共和地区の生活がより便利になるような対策。
- 人口が増えてほしい。
- いじめのない町。
- 働く場所に困ることなく、安心して子育てができる町。
- 交通、医療、教育の充実化。
- 都心近郊の土地を生かして、自然と人間の調和がとれて自然環境のよい町。
- 災害等おきた時、安心安全な避難所。
- 住みたい町のランキングに上がるような町。年中とはいかなくても、観光先として名が挙がる町。
- 山北出身の若者が町外で学び、戻ってくる戻りたくなる郷土になっていただきたい。
- 隣近所でも若い人がみな家を出て行って高齢者ばかりの町になってしまっているの、若い人が家を継ぐ人がいないので何かいい方法はないですか。
- コストコや有名私立の学校があり、自然にも恵まれ、電車の本数も増え、暮らしやすい町、子ども達が住みたいと思う町。
- 山北町は「水源のまち」なので、この先もずっとキレイな水が守られていく事が大切だと思います。人材育成もとても大事なので力を入れてもらいたい。
- 自然と共に不便も楽しいと思える町。

- 交通の便が良く、生活必需品（若い人からお年寄りまで）もすべて地元で購入でき、安心して暮らせるといいなと思います。
- 日本全体で人口減少しているが山北町は子どもが増えて高齢者との交流が出来ている。自然も残っており、少し生活で不自由な点はあるが、それ以上に子育てがしやすい町。東山北周辺の開発、スクールバス、コミュニティバスの運行。
- コストコを誘致して欲しい。不便な御殿場線を何とかして欲しい。
- 子ども達が自由に遊べる場を増やして、自由にさせてあげたい。この町が楽しくて、ここに住み続けたいと思ってもらえるようなまちづくりのために、大人がきちんと自分の意思を持ち、楽しんでまちづくりができるようになるといいなと思います。
- 他に無い緑と水の町、ビルの無い町。
- 車が無くても、どこへでも行ける町。すぐに受診できる医療体制。自治会に縛られない生活ができる町。
- 子どもや若い人が多く住み、自然豊かな町。
- 駅前の現在の商店街を電線のない（埋設化）景観にし、駅舎も小さくても趣きのある、落ち着いた建物とし、ロータリーには中央に大きな1本の木を植え、その下にベンチを置く。
- 山北駅近くに大きなスーパーが欲しい。
- 自然がいっぱいで災害の無い（少ない）子どもから老人まで健康で明るく楽しく安全に暮らせる町造り。又、町会議員は日当で良いと思います。
- 子どもから高齢者まで安心して豊かに暮らしていけるよう、若者も積極的に町の行事に参加し活気ある町になるように。
- 良い環境で住みやすくなって欲しい。
- 山北駅、東山北駅前にいろいろなお店があったらうれしいですね。テレビやメディア等に積極的に酒水の滝など、熱海市をモデルに観光地を紹介してもらおう。
- 町の自然を活かした施設の拡充、集客。
- これ以上人工減少がなく、子どもから大人まで全員、安心、安全の生活ができること。
- 人情あふれ楽しい日々が送れる明るい町・まちづくりの問いではどこまで進んでいるかわからないので答えられません。高齢者にはむずかしい。
- 町内、町外交流の有るまちづくり。自然災害を防止するまちづくり。
- おいしい足柄茶を生産し、みんなでお茶を楽しむ。
- 県西地域で合併することを考えるべきではないか。
- ゴミが落ちていない町に。
- 広い土地のある山北町です。大学の研究所や大学の誘致等、人口増につながると思います。
- デジタル化が進み、人手不足が少しでも解消すればよいと思う。町外へ出なくても雇用、医療、福祉などが町内ですますことができる町がよい。
- 子どもがたくさん遊べる町。
- 河村城社を復元し、宿泊施設を造ってみてね。戦国体験など。
- 老若男女が参加して自治会の活動が活発に行われている。
- 免許返納しても安心して暮らせる町になって欲しいです。

- 私は夫と2人で暮らしています。この先、子ども達は帰って来るとは考えられません。自治会やその他の役が回って来た時、その役が出来るかどうか不安です。こんな事書いてもどうしようもない話ですが、年を取ったらのんびり暮らしたいです。尺里の方では歩く道が整備されていません。車道と歩く路が分けてあれば安心して歩けると思います。
- 私は長年ひきこもっていて、やっと町をとおして、あるボランティアに参加していますが、近所づきあいが（ひきこもっていることも有り）出来ません。防災訓練にも参加できません。人によってそっとしておいて欲しい人もいますが、私は声をかけて欲しいです。あいさつしても無視されてるようで、このごろはあいさつも出来なくなりました。
- いつでもすぐに乗れる無料、または格安のタクシーと、御殿場線の本数をもっともっと増えて、マイカーに頼らなくても外出が気軽にできる町。
- 若者の挑戦を応援する町。
- 昔の山北町のような活気のある町だったと思う。
- 「〇〇の聖地」といわれ県外から根強いファンの観光客が来るような町。子育てするなら手厚い支援が受けられると話題の町（兵庫県明石市のような）。
- 大型商業施設や学校の誘致を行い、若年層を定住させたい。
- 山北町に今ある、桜やセラピーロード、駅からのハイキングコース等を大切に使い、それらの保全や整備が行き届き、「使いっぱなし」になっていない町。
- 高松山や矢倉岳・酒水の滝・丹沢山・丹沢湖などにもっと観光しに来てくれる町。
- 高齢者の一人暮らしが増えていくと思うが、高齢者の技術を生かした生きがい作り、まちづくりに期待します。
- 町行政と町民との情報の共有・伝達、デジタル化の推進で情報に困る人がいない町。町民、特に子どもへのデジタル環境への補助。子ども（中学生・高校生）から大人（老人）へデジタル化を教えてもらえるような交流。
- 高齢者が元気で生き生きと生活している町。若い世代が子育てを楽しくして子どもを成長させる町。
- 交通の利便性（大都市へのアクセスの改善など）。子育て（教育、医療、商店の利便性）応援・企業の誘致と雇用の促進（半導体、通信等）土地の活用。
- 住み続けたい町、自然がたくさん残っている状態で若い世代が増える、子育て世代／働き世代になっても町外へ出なくても済むような町になるといいと思います。
- 子どもから老人まで皆が平等に生きられる様なまちづくり。
- このアンケートは難しすぎます。高齢者にはよくわかりません。
- 子どもも高齢者も住みやすい地域。
- 緑豊かで空気のきれいな、相互が尊重し合えるような町になりたい。今は”隣は何する人ぞ”の感じで交流もなく、接ながりが無い。孤立している感じがする。
- 現状維持で何ら変わらぬ姿であって欲しい。人は増えると思います。但し、働く所があることが大切です。
- コンビニがほしい。スーパーがほしい。飲食店がもっとほしい。カラオケ、ボーリング、ビリヤードなどあそべる所がほしい。
- 土地の有効活用をして、町全体の活性化を出来れば。若い人達も増加。

- 今後、少子化及び高齢化が進み、生産性人口が減少することが想定されています。その中で現状の生活以上が保たれるよう、まちづくりに邁進して欲しい。
- 未来は子ども3割、若い人3割、中年2割、老人2割（70歳以上）こんな風な人口比率で働き口もあり、自由な町になってほしい。ムリでしょうか。
- 山北町に住みたいと思ってもらうには利便性も重要であるが、ひとり一人の意識というか人間性が必要だと思います。言葉使い、教養を全国平均に近づける。もちろん素晴らしい方々もいらっしゃるけれどビックリする様な話し方に疑問すら持たない人が多すぎます。こんなお隣さんで良かったと思うことが山北を好きになるスタートの気がします。若い方の教育ですね。
- 町民一人ひとりが生きがいを持って暮らせるまちづくり。自然を活用した取り組みで他の県外から移住したいと思わせるまちづくり。
- だれもがイキイキワクワクする町。
- 大型スーパー（オーケーやコストコなど）を建てて、まわりの市から人を呼べるような活気あるまちになってほしい。
- 丸山の高さの半分がなくなり、大地に生活居住地区が出来ると楽しくなる。
- 登山、サイクリング、カヌー、施設充実、スカイスportsも。外国人移民反対。小田原百貨店は外国人客が多すぎ。治安最優先。ヘリコプターうるさい（米軍？）。
- 災害に強いまち。
- 小田急江ノ島線のように、小田急御殿場線となったらなど。大きな大会が出来る総合体育館があったらなど。
- スポーツ総合施設があったらいいな。コストコ。周辺の道路整備が大変そうだけど。
- 子育て世代所帯の経済支援の優先。就学前の幼児を安心して預けられる施設が少ない。保育園・幼稚園と医療施設との連携を進めてほしい。
- 安心して生活できるまち。駅からsuicaで利用できる日が来ますように。

職員の意見

- 移住者、特に若い移住者を求めるのであれば、自治会などは縮小し、町内の美化などは民間委託や「生きがいクラブ」、有償ボランティアにすべきと思う。参加したくない人、参加したくても核家族や独り家族が更に多くなるので（休日が日曜ではない）。
- 御殿場線の本数の増。
- 老若男女すべてが活躍できる機会を創出する社会の現実。
- 衰退する日本の中で人口が増えている町、あるいは発展している町になる事。
- 交通と買い物や娯楽施設などの充実。
- にぎやかな商業エリアと暮らしやすい住宅街の両立。
- 生産世代、子育て世代への施策に特化した町（明石市のような）。
- 人口の増減にとらわれない、町民が住みよいと感じる町。
- 地域住民の安定した生活を保ちつつ、都会からの移住者や環境客でにぎわう町。
- 駅周辺に飲食店が充実する活力あふれる町。

- 福祉、教育、医療の充実。
- 人口が増加し、山北町の魅力が全国に広まっている。
- 高齢化のスピードを抑えつつ、若者が住みやすい町がいい。
- 現状を維持している町であればよいと思います（現状維持もできず新しいことばかりに目を向けている状況は財政を圧迫していただけたらと思うので）。
- 子育て中の家族や若い世代の方々が歩いている町。
- 住みたい町No.1。
- 山北駅前がシャッター街なので、活性化できたら良いと思います。
- 多くの人を訪れ、活気あふれる町だったらと思います。電車の本数が多くなり、都心へのアクセスが良くなれば良いなと思います。
- 子どもがたくさんいるまちへ。
- 昭和の雰囲気を保つ。
- 高齢者の住みよいまち。
- 次の世代が幸せに暮らせるまち。町民・職員含めて、人を資源として活用し、大切に育てるまち。
- 人口は現状程度で良いので、活気のあるまちづくり。
- 健康寿命の延伸に向けた健康づくり活動がさかんな町。いつまでも生きがいをもって楽しく過ごせる町。
- 春夏秋冬それぞれに違った魅力がある町になっていること。
- 豊かな自然（四季折々）の中で、笑顔でコミュニケーションをとり、困ったことがあれば助け合っで生活をする。「3丁目の夕日」のような人々があたたかい町。
- 今の山北町の良さ（人が温かい、自然が豊か、歴史・文化が大事にされている）が大切にされ、各世代の構成が少しでもバランスよくなっているまち。
- 自然豊かな町。
- 自然を生かした産業や観光事業の推進により、駅前を中心に雇用やにぎわいがあり、交流人口の増により定住の基盤が築かれ、地域ではコミュニティ活動により、子供から老人までふれあい、支え合う風土が形成され、子育ての悩みや体調の変化など、気軽に相談できる町であること。
- いろんな年齢の人々とのかかわりが盛んに行なわれているまち。自然はそのままに利便性がより豊かとなっているまち。
- 山北に住みたい、働きたい、子育てしたいと思える町。コミュニティづくり。
- 公共交通の整備。
- 都心部の人々が山北町を目当てで訪れるまち。
- 若い人が多く活気のある町。
- 昔あった、だるま市があるといいなと思う。商店街が寂しくなった。
- 山北の豊かな自然を生かした産業を売りにした住みやすい町。
- 子どもが増えてにぎやかになっている。
- 子育て支援の充実したまち。
- 生活道路や公園が整備されたまち。

(47) 自由意見 総合計画で町が取り組むべき施策や提案したい事業について

Q：山北町第6次総合計画で町が取り組むべき施策や、提案したい事業（DX等含む）などがありましたら、意見や提案を自由に記載してください。 【町民一、職員Q21】

- 「町民一人ひとりが互いに協力して日々の暮らし～」もいいと思うが、「個人を互いに尊重しあえる」のが今そしてこれからの時代に大切ではないかと思い、また求められているのでは。町民としての誇りは自然な形で（これこそ理想論ではあるが）。
- 商業施設（大型ショッピングセンター等）を誘致して、活発な町を目指す。
- すでに現実となっている超高齢社会への対応（人口減少等の影響を受けた場合にも持続可能な町を実現していくための取り組みなど）。
- 行政手続きのオンライン化。
- 御殿場線の運行本数の増加。
- 低所得等へのお金のばら撒き政策ではなく、真に支援が必要な、働いている若者への支援を希望します。このままでは生活保護世帯や低所得者世帯だけが集まってしまうと思います。働いて税金を納めている世帯は時間もお金もなく、結婚や子どもなど考える余裕もありません。
- 人口減防止のための施策。
- 職員の能力向上、外部委託をし、役場機能の維持向上をはかってもらいたい。
- Wi-Fi 環境など、デジタル化を推進してほしい。
- 町の人口減少は、山北町に魅力が無いと思われていることが理由。しかし、山北町には魅力がないわけではなく、上手に活用できていない。農・林・環境に配慮した「サステナブル」なまちづくりを進めるべき。
- 町の施策についてのSNS配信が少なすぎる。
- 新東名のスマートICを活用した事業。子どもを安心して生み育てることができるまちづくり。
- 駅前の活性化に取り組んでほしい。本数は少なくとも鉄道がとおっていることと、山北に来られる（ハイカー、登山者、観光客の数を考えると、駅前の空間を現状行かせていないのは非常に勿体ない。ただ、予算を限定して場当たりな施策を打っても効果が期待できないので、本腰を入れて取り組む劇課題だと思う。そのためには、既存の事業、予算の見直し（廃止・中止）が必要とも思う。
- DXを活用したスマートシティ。
- DX、GX。
- それぞれの観光スポットを老若男女が楽しめる空間にしてほしい。
- 交通弱者のための対応を強化・充実する。